



貨幣法案

貨幣整理資金特別會計法案  
明治十七年第十八號布告兌換銀行券條例中改正法律案明治十八年第十四號布告中改正法律案  
明治十二年第三十五號布告廢止法律案

國稅徵收法案

震災地方租稅特別處分法案

同日本院ニ於テ修正議決シタル左ノ政府提出案ハ即日衆議院ニ回付シタリ

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲナスヲ要スル件(大藏省、拓殖務省、文部省所管)

森林法案

同日本院ニ於テ可決シタル衆議院提出鐵道敷設法中改正法律案二件ハ即日

内閣總理大臣ヲ經由シテ裁可フ奉請シ及可決ノ旨衆議院ニ通知シタリ

同日本院ニ於テ衆議院提出明治二十八年法律第四號中改正法律案ヲ否決シタル旨衆議院ニ通知シタリ

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領シタリ

國有林野法案

豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案二件

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲナスヲ要スル件(總追第五號所屬)

同日衆議院提出特許意匠及商標登錄取消ノ審判期間ニ關スル法律案ヲ受領シタリ

同日衆議院ヨリ政府提出臺灣銀行法案ヲ可決奏上シタル旨通牒ヲ受領シタリ

○議長(公爵近衛篤齊君) 明治三十一年度特別會計歲入歲出豫算追加案、特追第四號外四件ノ豫算ガアリマスルガ日程ニ入ル前ニ其審查期限ヲ定ムルト云

○議長(公爵近衛篤齊君) 午後五時マデニ報告スルト云フ豫算委員長ノ發議ニ御議ハゴザイマセヌガ

〔異議ナシ」ト呼フ者アリ〕  
○子爵谷干城君 唯今御宣告ニナリマシタル豫算追加ノ五箇條デアリマスガ是ハ最早期限モ切迫シテ居リマスルカラ午後五時マデニ本議場へ報告スルヤウニ致シテハドウデアラカト私ハ思ヒマス、此段ヲ……

○議長(公爵近衛篤齊君) 午後五時マデニ報告スルト云フ豫算委員長ノ發議ニ御議ハゴザイマセヌガ

〔異議ナシ」ト呼フ者アリ〕  
然ラバサウ云フコトニナリマス、是ヨリ本日ノ議事ヲ開キマス、第一、明治三十年度歲入歲出總豫算追加案、總追第三號、政府提出、衆議院送付、會議、豫算委員長報告

○子爵谷干城君「總追ダ總追ダ」ト述フ  
 イヤ誤リマシタ、總追第三號デス、是ハ衆議院ヨリ送付ニナリマシタル通モ修正ヲ加ヘマセズ異論ナシニ委員會ニ於テハ可決ニ相成リマシテゴザンスルカラドウゾ其御含デ御賛成アランコトヲ希望致シマスル、次ニ明治三十年度特別會計歲入歲出追加案特追三號是亦少シモ修正ガゴザンセズ此儘デ宜シイト委員會ニ於キマシテハ決議ニナリマシテゴザンスルカラ左様御承知ヲ願ヒマス、其次ガ豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ要スル件是ハ御承知ノ通大阪築港ニ附イテ政府ヨリ六百何十万圓ト云フ大金ヲ保護シテヤル、年限ヲ定メテ保護シテヤルト云フ件デゴザイマシテ最モ重大ナル件デアル、ソレ故ニ委員會ニ於キマシテモ餘程議論ガアリマシテ反覆討論ノ上遂ニ矢張可決スベキモノト云フコトニ委員會ニハ多數ガ決シマシテゴザンスル此件ニ附イテハドウゾ十分ニ諸君ノ御勘考ヲ願ハヌナラヌ最モ重大ナ件デゴザンスルカラ是ダケノコトヲ御報告致シテ置キマス、其次ハ明治三十一年度各特別會計歲入歲出豫算追加案特追第二號是ハ即チ……

(富田鐵之助君) 總追第二號デセウ「ト述フ」

惡ルウゴザイマシタ少シ前後シマシタ、今ノガハ誤リマシタ、明治三十一年度歲入歲出總豫算追加案總追第二號即チ臺灣ノ補助費デマリマスル是ハ衆議院ニ於テ餘程減額ニナツテ居リマスルガ斯ノ如キ減額ニナツテハ如何デアルカト云フコトヲ政府委員ニ問ヒマシタ所デ最早斯ク減額ニナツタ以上ハ致方ガハイカラ、イヅレニモ縁合セテ是デヤル積デアルカラ政府ニ於テモ差支ハナイトスウ云フコトデアリマシタ、ソレ故ニ委員會ニ於キマシテモ別ニ議論モゴザイマセズ濟ミマシテゴザイマスカラ左様御承知ヲ願ヒマスル、ソレヨリハ特追第二號所屬ト肩書ノゴザイマスル豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ結約ヲナスヲ要スルノ件、是ハ矢張臺灣ニ附帶致シマシタノガデ外國人ヲ雇入レル即チ其結約デアリマスル是亦委員會ニ於キマシテ少シモ異議ナク然ルベキコト、決シマシテアリマスルカラ其御含デ御決議ヲ願ヒマス○男爵伊達宗敦君 チヨウト委員長ニ伺フテ置キタイコトガゴザイマス、唯ナスフ要スルノ件、是ハ矢張臺灣ニ附帶致シマシタノガデ外國人ヲ雇入レルトスウ云フ論ガ大體ノ主意デゴザイマシテソレニ附イテハ色ニ論ガゴザイマスガ、イヅレ議事ニ上ボシマシタ際ニ私共又申上ゲルヤウニ致シマスアツタノデアリマスカ、ソレダケヲ御尋シタリ

○子爵谷干城君 大要御話申セバ今日ノ場合ニ斯ウ云フコトハスルニ及バストスウ云フ論ガ大體ノ主意デゴザイマシテソレニ附イテハ色ニ論ガゴザイマスガ、イヅレ議事ニ上ボシマシタ際ニ私共又申上ゲルヤウニ致シマス

○議長(公爵近衛篤齊君) 明治三十一年度歲入歲出總豫算追加案總追第三號本

案全部ヲ問題ニ供シマス歲入歲出ヲ合セテ、甲號ト云ノ分ダケヲ全部問題ニ供

シマス、朗讀ハ省略致シマス

(左ノ案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ此ニ載錄ス以下倣之)

甲號

歲入臨時部

第二款 雜收入 金百拾八萬參千貳百六拾六圓七拾六錢八厘

第二項 返納金 金百拾八萬參千貳百六拾六圓七拾六錢八厘

第八款 前年度綠入金 金拾萬貳千九拾六圓參拾七錢貳厘

第一項 前年度綠入金 金拾萬貳千九拾六圓參拾七錢貳厘

歲入臨時部合計金百貳拾八萬五千參百六拾參圓拾四錢

大藏省所管

第八款 會計檢查院 金參萬參千參百六拾六圓貳拾參錢

第一項 俸給及諸給 金壹萬八千五百八拾圓

第二項 腹費 金千四百丸拾壹圓

第三項 修繕費 金參百圓

第四項 旅費 金壹萬千四百五拾九圓六拾八錢

第五項 雜給及雜費 金千五百參拾五圓五拾五錢

文部省所管

第一款 文部本省 金參千貳百六拾四圓

第二款 第十三項 高等教育會議費 金參千貳百六拾四圓

第三款 諸學校及圖書館支出金 金千百參拾圓六拾六錢壹厘

第一項 帝國大學 金千百參拾圓六拾六錢壹厘

文部省所管合計金四千參百九拾四圓六拾六錢壹厘

歲出經常部合計金參萬七千七百六拾圓八拾九錢壹厘

歲出臨時部

內務省所管

第二款 土木費補助 金百貳萬七千八百四拾參圓九錢九厘

第七項 橫濱市水道費補助 金百貳萬七千八百四拾參圓九錢九厘

第三款 土木事業費 金六萬千五百七拾五圓四拾貳錢七厘

第十六項 富士川追加修築費 金四萬貳千五百七拾五圓四拾貳錢七厘

第二十五項 天龍川修築工修繕費 金壹萬九千圓

第七款 府縣 金九萬貳千八百參拾參圓九拾貳錢

歲出臨時部

歲出臨時部

文部省所管

第一款 文部本省 金參千貳百六拾四圓

第二款 第十三項 高等教育會議費 金參千貳百六拾四圓

第三款 諸學校及圖書館支出金 金千百參拾圓六拾六錢壹厘

第一項 帝國大學 金千百參拾圓六拾六錢壹厘

文部省所管合計金四千參百九拾四圓六拾六錢壹厘

歲出經常部合計金參萬七千七百六拾圓八拾九錢壹厘

歲出臨時部

第一項 災害諸費 金九萬貳千八百參拾參圓九拾貳錢

第八款 神戸港波止場增築費 金八萬四千百貳拾七圓九拾貳錢六厘

第九款 第一項 臨時沖繩縣地方費 金拾萬四千五百七拾五圓四拾貳錢六厘

第一項 地役人一時給與金 金拾萬四千五百七拾五圓四拾貳錢六厘

第九款 法典調查會 金參萬九千四拾圓

第一項 廬費 金千六百貳拾圓

第二項 修繕費 金百貳拾圓

第三項 雜給及雜費 金參萬七千參百圓

陸軍省所管

第二款 營繕費 金貳萬八千貳百七拾貳圓五拾錢

第五項 火災新營費 金貳萬八千貳百七拾貳圓五拾錢

第十二款 燃失品補給費 金貳萬七千六百貳拾五圓拾六錢五厘

第一項 燃失品補給費 金貳萬七千六百貳拾五圓拾六錢五厘

陸軍省所管合計金五萬五千八百九拾七圓六拾六錢五厘

司法省所管

第一款 營繕費 金參萬八百八圓五錢貳厘

第三項 修繕費 金參萬八百八圓五錢貳厘

文部省所管

第一款 營繕費 金四萬圓

第六項 帝國大學農科大學教室火災新營費 全四萬圓

第七款 諸學校臨時支出金 金壹萬圓

第七項 帝國大學農科大學燒失品調辦費支出金 金壹萬圓

文部省所管合計金五萬圓

農商務省所管

第十款 臨時外國行諸費 金壹萬八千百六拾八圓六拾錢

第一項 萬國地質學會議參會及賦 金壹萬八千百六拾八圓六拾錢

第一項 賽出總計金百六拾萬參千九圓七拾壹錢八厘

第一項 賽出臨時部合計金百五拾六萬五千參百四拾八圓八拾貳錢七厘

第一項 賽出總計金百六拾萬參千九圓七拾壹錢八厘

第一項 賽出臨時部合計金百五拾六萬五千參百四拾八圓八拾貳錢七厘

第一項 賽出總計金百六拾萬參千九圓七拾壹錢八厘

前記ノ工事ハ前掲ノ二箇年度ニ亘り繼續ト爲スヲ要ス但本年度ニ於テ  
要スル金額ハ之ヲ歲出臨時部第一款第六項ニ掲ク

帝國大學農科大學燒失品調辨費支出金

總額

金貳萬圓

年額

明治二十年度

金壹萬圓

明治三十一年度

金壹萬圓

說明

前記ノ費途ハ前掲ノ二箇年度ニ瓦リ繼續ト爲スヲ要ス但本年度ニ於テ

要スル金額ハ之ヲ歲出臨時部第七款第七項ニ掲ク

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（公爵近衛篤齊君）御異議ナケレバ原案ノ通ト認メマス次ニ表題ノ豫算ト云フ所ニ附イテ御異議ガナケレバ可決ト認メテ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

第一條 明治三十年度歲入追加額ヲ百貳拾八萬五千參百六拾參圓拾四錢歲出追加額ヲ百六拾萬參千九圓七拾壹錢八厘ト定ム其款項ノ金額ハ別冊甲號歲入歲出豫算ニ據ルヘン

第二條 明治三十年度歲出豫算追加中別冊乙號所掲ノ費途ハ各其規畫スル（特追第三號）

特別會計豫算

明治三十年度歲入歲出豫算追加額及其款項ノ金額ハ別冊歲入歲出豫算ニ據ルヘシ

文部省所管

帝國大學

歲入

經常部

第一款 帝國大學 金千百參拾圓六拾六錢壹厘

第一項 政府支出金 金千百參拾圓六拾六錢壹厘

合計金壹萬千百參拾圓六拾六錢壹厘

臨時部

第一項 農科大學燒失品調辨費受入金 金壹萬圓

歲出

經常部

款 諸學校臨時支出金

項 帝國大學農科大學燒失品調辨費支出生金

項 帝國大學農科大學燒失品調辨費支出生金

款 諸學校臨時支出金

項 帝國大學農科大學燒失品調辨費支出生金

第一款 帝國大學 金四千百八拾四圓九拾錢六厘  
第十三項 傭外國人諸給 金四千百八拾四圓九拾錢六厘  
臨時部

第四款 農科大學燒失品調辨費 金壹萬圓  
第一項 農科大學燒失品調辨費 金壹萬圓  
合計金壹萬四千百八拾四圓九拾錢六厘

○議長（公爵近衛篤齊君）然ラバ總追第三號ハ可決シマシタ、次ハ明治三十年度特別會計歲入歲出豫算追加案特追第三號、是亦全部ヲ問題ニ供シマス、表額モ併テ問題ニ這入リマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕  
（政府委員中村元雄君演壇ニ登ル）  
○政府委員（中村元雄君）唯今日程ニ上ボリマシタ所ノ大阪築港ノ問題ニ附イテ一言申シマス此大阪築港ノ問題ハ今日始リマシタコトデモゴザイマセンデ既ニ明治五六年ノ頃ヨリ是ガ経畫ニ著手フ致シマシテ種々考案ヲ要スル件ガ多々ゴザイマシテ漸ク昨年ニ至リマシテ其経畫ガ完了ヲ告ゲマシタヤウナ譯合デゴザイマス、固ヨリ工費ノ多額ヲ要シマスデ到底市ノ負擔ノミデハ堪ヘマセヌカラ相當ノ國庫ノ保護ヲシテ補助アランコトヲ今般稟請致シテ參リマシタコトデゴザイマス、然ニ此築港ノコトハ其利害關係ノ及ブ所ガ頗ル廣大ナルモノアリマスルデ篤ト調查ヲ遂グマシテ其結果經畫ニ幾分ノ變更ヲ加ヘマシテ漸ク茲ニ本案ヲ提出スルト云フヤウナ譯合ニナリマシタデ抑同市ハ御承知ノ通我帝國商業ノ中心ニ位シマシテ物貨ノ聚散ノ焼點地デアリマスルコトハ申スマデノコトデモゴザイマセス、殊ニ此地ニ於テ船舶ノ碇繩ノ便否ハ實ニ我國ノ商工業ノ消長ニ關係ヲ及シマスコトデアリマスカラ其建築ノ必要ナルコトハ諸君御熟知ノ通ノコトデアリマスルデ、就キマシテハ其工費ニ對シマシテ幾分國庫ノ補助ヲ爲シマスルハ實ニ當然ノコト、存ジマスコトデアリマスカラドウカ十分審議ヲ盡サレマシテ本案ニ御協賛アランコトヲ偏ニ希望致シマス、簡単ニ一言申シテ置キマス

○男爵伊達宗教君 内務次官ニ質問ガアリマス、唯今御述ベニナツ所ノ大阪築港ニ附イテ土地デ與ヘテヤル坪數八万二千四百五十坪ト云フノハ殆ド大坂市ノ全體ノ河岸地ノ（聽取シ難シ）サウデゴザイマスカ、ソレカラサウシマスト其中デ一番値段ノ高イ即チ最高價ノモノヲ見マスト凡ソ一坪幾デアリマスカ最下低ハドノ位ノ見込デゴザイマスカ其所ヲシテ  
○政府委員（古市公威君）私ガ御答致シマス  
○男爵伊達宗教君 内務次官ニ願ヒマスアナタ内務次官デスカ  
○政府委員（中村元雄君）私ハ御答致シマスデスガ主務ノ方ガ詳ハシウゴザ  
○政府委員（古市公威君）坪數八万何千坪ト申シマスルモノハ川岸地ノ官有地デ公用ニ供シテ居ラヌモノソレガ總體ニアリマス、ソレカラ其中ノ一番高

ク積マテ居リマスルノハ一坪ニ附イテ百五十二圓九十四錢八厘

○男爵伊達宗教君 モウ一遍……分リマセヌ

○政府委員(古市公威君) 一番高イノハ一坪ニ附イテ百五十二圓九十四錢八厘

○男爵伊達宗教君 モウ一遍……分リマセヌ

○政府委員(古市公威君) 一畠安イノガ五圓五十六錢一厘

○男爵伊達宗教君 モウ一應……ドウ云フ譯デ(聽取シ難シ)金デナシニドウ

○政府委員(古市公威君) 云フ譯デ地面デヤラネバナラヌカ

○政府委員(古市公威君) 是ハ元來此川岸地ト云フモノハ大阪ノ町ニ……大阪

ノ港ニ現今アルト言ウテ宜シイ御承知ノ通此豫算ニ河口浚渫費補助ト云フ

費目ガゴザイマス、アレハ川岸地カラ上ガリマスル借料全體デ支出シ來タ

ノデアリマス、中頃カラ其川岸地ノ借料ヲ國庫ノ收入ニシテサウシテ別ニ毎

年アノ協賛ヲ得テ居リマスル下付ヲヤリ來タ、第一ニアノ川岸地ト云フモノ

ハ大阪ノ港ニ緣故ガアル、ソレカラ此川岸地ヲ下グマスルト云フ例ガ東京ノ

市區改正ノ時ニ東京市ニ渡シタト云フ例ガアリマス、是ハ委員會ニ於テ富田

君ノ御質問モアリマシテ下ゲ方ハ違フ、コチラハ下ゲテ之ヲ賣ッテシマツタ、

段デアリマスルケレドモ政府ノ見マス所ニ據リマスルト是ハ寧ロ市ニ渡シテ

東京市ノ方ハ下ゲテサウシテ其收入ヲ別ニ市ノ收入ニスル其處分ノ仕方ハ違

ヒマスケレドモ下グルコトニ於テハ同ジデアリマス、之ヲ一方デ言ヘバ官有

地ヲ賣リハ賣クテシマフテサウシテ補助ノ方デ金デヤルト云フノモ一ツノ手

市ニ處分サレタ方ガ利益ダト政府ガ認メマシテサウシテ地ノ儘デ下グルコト

ニ致シマシタ

○男爵伊達宗教君 サウスルト八万幾ラト云フ地所ニ就イテハ今日マデ世人

ノ使用シテ居ル川岸地ハ……例ヘバ川ノ縁ノ家モ何モ建テ居ラヌヤウナ所

バカリアッテ他ノ川岸地ハ……

○政府委員(古市公威君) 皆貸附ケテアリマス

○男爵伊達宗教君 サウスルト便利ナト云フコトハドウ云フコトデアリマス

カ

○政府委員(古市公威君) 其川岸地ノ所有主ハ國デアル、ソレハ國ガ賣拂ッ

テシマツテサウシテ其金デ補助スルヨリハ市ノ手ニ任セテヤクテ市ニ處分サ

シタ方ガ利益ト云フノハ詰リ高ク賣レルト云フ見込デアリマス

○富田鐵之助君 御尋致シマスガ今マデノ貸賃ハドノ位政府ノ國庫ニ這入ッ

タカ

○子爵谷千城君 政府委員ノ答辯ガ……ドウゾ先キヘ出デ、シテ貰ヒタイト

思ヒマスガコハラヘハ一向ドウモ聽エマセヌカラ其御請求ヲ願ヒタイ

○議長(公爵近衛篤曇君) 承知シマシタ古市君登壇ヲ……

○政府委員(古市公威君) 極短イ

○議長(公爵近衛篤曇君) ケレドモ皆ニ分ルヤウニ

○政府委員(古市公威君) 今調ベテ……

○男爵小澤武雄君 本員モ少シ御尋シマスガ大阪築港ノ必要ナルコトハ先刻

政府委員カラ一應辯明ガアリマシタガ大阪灣ノ在ル所ノ近傍即チ攝津灣ノ中

ニハ神戸ト云フ是マテノ港ガ近クニアル、是モ幾分カ工事ヲ施サネバ極完全

ナ港トハ申セナインデゴザイマスケレドモ今日ノ有様カラ見テモ相當ノ港ニ

ナッテ居ル、其港ガ側ニアルニ拘ラズ莫大ノ金ヲ掛ケテ大阪ニシナケレバナ

ラスト云フ必要ガアルノデゴザイマセウカ、先刻ノ政府委員ノ説明デハソレ

○比較シテ斯ウ云フ必要ガアルト云フコトハナカツタ、ソレデ何等ノ點ガアツ  
テ大阪ニ新ニ鉅万ノ金ヲ掛ケテシナケレバナラムト云フ理由ハ御説明ヲ願ヒ  
タイ

(政府委員古市公威君演壇ニ登ル)

○政府委員(古市公威君) 大阪ハ此貨物ノ集散地ニアリマス、ソレデ其集散地ニアリマスルカシテ多量ノ貨物ガ一遍アソコヘ纏リマスル其纏リマスルノニ最モ廉價ニ纏メルヤウニスル、ソレカラ又大阪ノ地ヲ經マシテサウシテソレカラ散ジマスル、散ジマスルノニ最モ廉價ニ散ジマスルヤウニスルト云フノハ商工業上必要ノコト、考ヘマスル、詰リ或ル大阪ノ如キ商業ノ中心トシテ大キナ町ガアリマスルト成ルタケソレハ海ニ船ヲ近ク寄セヤウト云フコトヲ力メルノガ商業ノ發達上當然ノ仕事デアルト思フ例ヘバ米デゴザルトカソレカラ近頃ハ日ニ斯ウ製造所ガ殖エマスル其原料ナゾガ大阪ニ這入リマス、ソレヲ大キナ船デ持テ參リマシテ大阪デ便利ニ陸揚ガ出來テサウシテ又其製造シタモノガ便宜ニ船ヘ積込ミテサウシテ方々ヘ散ズルト云フコトニナレバ、自ラ物價ガ廉クナリマス、デ其生産ト費消トノ間ニ消費スルモノヲ成ルタケ減ズルニハ運賃荷役ニ要スル費用等ヲ成ルタケ減ジナケレバナラヌ、デ例ヘバ神戸ヘ參リマシテサウシテアスコテ荷役ヲシテサウシテ鐵道ニ積ンデ大阪ヘ持テ來テ大阪ノ手ヲ經マシテ又再ビ鐵道ニ載ツテ神戸デ荷役ヲスルト云フヨリハ今日ノ港ノ近傍ニ製造所ガ出來又鐵道ニ乗ラズニ川船ニテ港カラ製造所ヘ通ズルヤウニナリマスレバ運賃ニ於テ著シイ省略ガ出來マスシ荷役ニ於テモ亦幾分ノ省略ガ出來マスル、デ是ハ小澤男爵モ御承知デゴザイマセウガ、隨分他ニ例ガアル海ノ奈イ所デサヘモ商業ノ中心デアル時ニハソコヘ船ヲ海ノ船ヲ近寄セル、成ルタケ近寄セタイ、畢竟其考カラ先刻中村政府委員モ申述ヘタヤウナ工合ニ古クカラ此大阪ニ築港シヤウト云フ考ガアリマシタノデアリマスガ始終調查ヲ要スル次第ガアッテ今日マデ後レテ居ツカ、今日ノ情況ハドウデアルカト云フト先ヅ遠クカラ參リマス船ハ商船會社ノ五六百噸位ノ蒸氣船、ソレガドコニ繫ツテ居ルカト云ヘバ、安治川ノ兩岸ニ繫ツテ居リマスガ、ギッシュリデ殆ド動キガ附カヌ位ニ繫ツテ居リマス、サウ云フ仕末デアリマスカラ其繫船ヲ便ニシ荷役ヲ便ニシ港ヘ倉庫ヲ備ヘテ置イテ直ニ倉庫デ大キナ取引ガ出來ルヤウニモナリ又港ニ深サヲ加ヘテアレヨリ一層大キナ船ガ出入スルヤウニナルト大阪ノ商業ノタメニ大變利益ニナリマス、其利益ニナルノハ其大阪ノ商業ガ勵キマス所ハ獨リ大阪アノ地方ニ止ラズシテ是ハ九州ノ端マデモ大阪ニ貨物ヲ仰イテ居ル所ハ幾ラモアリマス次第デアリマスカラ詰リ影響スル所ハ餘程廣イ、シテ見マスト是ハ其利害ノ及ス所ハ大阪近傍ニ止ラズシテ餘程日本ノ大部分ニ及ブ所デアリマスルカラ、日本全國トマデハ申切レヌニシテモ大部分ニ影響ヲ及スコトデアリマスカラシテ即チ國ノ目カラ見テモ餘程利益ガアル工事ト考ヘマス、ソレ故ニ恰モ好シ、大阪デ大イニ奮發シマシテ公債ヲ起シテ工事ヲスル、テ今政府カラ其中ノ一部分サヘ補助シテ下サレ、サスレバ其工事が成立ツト云フコトニナリマスカラ此時ニ方ヲテ工事ヲ成立セル考カラ補助スルコトニ決定シタノデゴザイマス

- 子爵谷干城君 政府委員ハコチラへ出テ貴ハヌトドウモ聽エマセヌ  
○議長(公爵近衛篤齋君) 今政府委員ハ多分出ルデセウ  
○男爵藤村紫朗君 大阪ノ盛衰消長ニ關係スルモノデアルト云フ御話デアリ  
マスガ此點ニ少シ疑ガアルカラ御尋致シマス、盛衰消長ニ關係スルト云フハ  
此築港ガナケレバ大阪ガ衰微スル此築港ガナケレバ大阪ガ起ラスト云フヤウ  
ナ意味ニ聽エルヤウデアリマスガ、我ミノ視ル所デハ今日港ガナクシテ大阪  
ノ商工業共ニ長足ノ進歩ヲ爲シテ居ルヤウニ思ハレル、或ハ我ミノ見ル所ガ  
違ウカ知レスガ此築港ノ有無ニ依ツテ盛衰消長ニ關スルト云フ現象ハ何ヲ以  
テ仰シャルノカ、細カニ其點ヲ伺ヒタイ、我ミハ築港ナクトモ寧ロ大阪ハ非  
常ニ發達シテ行キ居ルト思フ、盛衰消長ニ關スルト云フコトハ築港ガアレバ  
興リ築港ガナケレバ衰微スルト云フコトデアラウト思ヒマスガ、現象此ノ如  
ク我ミハ見ナインデアルガ、内務次官ハドウ云フ現象ヲ以テサウ仰シャルカ、  
ソヨニ細カニ説明ヲ願ヒマス
- (政府委員中村元雄君演壇ニ登ル)
- 政府委員(中村元雄君) 藤村男爵ニ御答致シマス成ル程盛衰消長ニ關係ス  
ルト云ヘバ少シ語弊ガアルヤウデハゴザイマスガ元ヨリ大阪ハ今般ノ築港ヲ  
爲サズトモ全國ノ商業ノ中心殊ニ近年ニ至リマンテ工業モ益々盛ニナリマス、  
自然ニ隆盛ニ赴クコトハ例ヘ築港ガナクツテモナンデゴザイマスルコトデア  
リマスルガ全國ノ商業ノ中心工業ノ中心タル場所デゴザイマスルカラ此積年  
計畫ヲ致シテ居ル所ノ築港ヲ爲シマシテ爰ニ十分ニ船ノ出入リ又碇繩ノ便利  
ヲ得ルヤウニナリマシタラ、益々盛シニナリマセウ、其盛ニナル上カラ見マ  
スレバ出來ナイ時分ハ其進歩ガ遅カテウト云フ言葉ノ意味ト御聽ヲ願ヒタウ  
ゴザイマス
- 男爵藤村紫朗君 大阪ヲ益々富メルヤウニスルト云フ御見込テ此補助ヲ爲  
セラウト云フ、斯ウ云フ御主意デスナ
- 子爵曾我祐準君 内務次官ニ御尋致シタウゴザイマス、全國一般ノナンニ關係ガゴザ  
ナサル
- 政府委員(中村元雄君) 東京ノ築港ハ當時調査中デ未ダ調査ガ結了致シマ  
イマスカラ……
- 子爵曾我祐準君 左様デゴザイマス、全國一般ノナンニ關係ガゴザ  
ナサル
- 政府委員(中村元雄君) 東京ノ築港ハ當時調査中デ未ダ調査ガ結了致シマ  
イマスカラ……
- 男爵藤村紫朗君 大阪ヲ益々富メルヤウニスルト云フ御見込テ此補助ヲ爲  
セラウト云フ、斯ウ云フ御主意デスナ
- 子爵曾我祐準君 内務次官ニ御尋致シタウゴザイマス、東京ノ築港ハドウ  
ナサル
- 政府委員(中村元雄君) 東京ノ築港ハ當時調査中デ未ダ調査ガ結了致シマ  
イマスカラ……
- 子爵曾我祐準君 ドレ位御調査ガ出來テ居リマスカ、是モ隨分古イコト、  
思ヒマスガ、大阪ノ歴史ヲ引イテ此築港が必要ナリト仰セラルレバ、決シテ東京  
ノ首府デアル、此事ニ附イテ如何ナ御調査ガナツテ居ルカ、是ト連帶シテ承  
リ工業ノ興ル土地デアルカラ此築港が必要ナリト仰セラルレバ、決シテ東京  
ハ多ク譲ルマイト思ヒマス、其必要ノ點ニ於テハ、且ツ輦轂ノ下デアル全國  
ハリタイノデゴザイマス、此議案ヲ決スルニ附イテハ尤モ必要ナル引合セ物  
ダラウト思ヒマス
- (政府委員古市公威君演壇ニ登ル)
- 政府委員(古市公威君) 私カラ御答致シマスガ、調査ノ程度ハ、東京築港  
調査ノ程度ハ如何ナツテ居ルト云フ御尋デアリマスルト思ヒマスガ、是ハ東  
京市區改正ノ事業ニ伴フモノト致シマシテ市區改正委員會ヲ其調査ヲスルコ  
トニナツテ居リマス、ソレデ大體ニ於キマシテノ計畫ハ今デハナインデスガ

- 二ツ三ツアリマシテ一ツハ臺場ノ沖ヘ直グニ入口ヲ設ケルト云フ案、ソレカ  
ラ一ツハ羽根田ノ口ヘ設ケルト云フ案、ナドガアリマスガ、其調査ノタメニ  
度ニ市區改正委員會デ調査委員ヲ置キマシタガマダ何レニトモ決定セズニ居  
ル、ソコデ之ヲ細カク大阪ト比較シマシテ其商工業ノコト如何ト云フコトハ  
今御話ヲスルダケノ材料ヲ持ツテ居リマセヌ、何シロ製造所ノ數、物貨集散  
ノ多寡ナドニ於テ見マスルト町トンテハ東京ノ大キイコトハ勿論ノコト又  
鞆轂ノ下ト云フ關係モアリマスルケレドモ其商工業ノ方ノ物貨集散ノ點カラ  
言ヒマスト今日ノ所デハ餘程大阪ノ方ガ築港ノ必要ニハ迫ツテ居ルト本員ナ  
ドハ考ヘテ居リマス
- 子爵谷干城君 是ハ何カ軍事上ニモ必要ナルヤウニ衆議院ノ委員會ノ速記  
錄ナドヲ見テ見マスルトアリマスガ陸軍ノ方ニモ餘程關係シテ居ラル、ヤウ  
ニアリマスガ其陸軍ニ就イテノ利益ト云フモノハ政府委員モ出テ居ラル、ヤ  
ウデアリマスカラ輪明ヲ承リタイ
- 議長(公爵近衛篤齋君) 今出席シテ居リマセヌカラ呼ビニヤリマス  
○磯邊包義君 私モ内務次官ニ御尋致シマス、今御述ベニナリマシタ大阪ノ  
築港ハ數年前ヨリ計畫ニナツテ居ル、甚ダ必要デアル、如何ニモ其通デ大阪ニ  
於キマシテハ必要デゴザイマセウ、必要デゴザイマセウガ片一方ノ神戸ハ如  
何ナル御見込デアルカ、神戸ハ即チ日本ニ於テ貿易港トシテ之ヲ築港シナケ  
レバナラズ外ニ横濱モ貿易港トシテアリマスケレドモ船ノ輜輶外國人ノ居留  
ノ一番多イ所ハ横濱神戸ニアル、サウシテ此神戸ト云フモノハドウデアルカ  
ト申シマスルト横濱ヨリモウ一層海上ノ荒レガ甚ク年々之ガタメニ船舶ノ沈  
没破壊其他平常ニ於テモ少シク風波ガアルトキニハ船ニ乘降リスル所ノ危險  
ガ屢々アル、最モ是ハ外國交際上ニ於テモ十分ニ政府ハ此港ヲ安全ニシテ置  
カナケレバナラヌモノデアラウト本員ハ考ヘマスルガ是ハ内務次官ハ如何ナ  
シテ此際ハシテアトノ六ツハイツ出來ルカ分ラナイ、此港ハ段々進行シテ來タ  
ナラバ之ヲ搭ヘヤウト云フコトヲ承フテ居リマス、サウシテ見マスルト大阪ノ  
築港ノ中ニハ船ヲ繩ダ船渠ト云フモノガ八ツ出來ル、其八ツノ中ノ唯二ツダ  
ケ此際ハシテアトノ六ツハイツ出來ルカ分ラナイ、此港ハ段々進行シテ來タ  
ナラバ之ヲ搭ヘヤウト云フコトヲ承フテ居リマス、サウシテ見マスルト船渠ニ  
於テハ四分ノ一搭ヘテ四分ノ三ハ先ダ搭ヘズニ置ク、其搭ヘルモノハ外圍七  
カラ搭ヘテ置カナケレバナラヌ、ソレガタメニ六百五十五万圓ト云フ公債ヲ  
起サナケレバナラヌ、或ハ大阪ノ市ニ於テハ今日ノ所デハ此二ツノ船渠ダケ  
アレバ大阪ノ今日ノ希望ハ満足ニ達スルデアラウト存ジマス、サウシテ  
スト是程大ナル入費ヲ掛ケスト此際ハ宜シイカト考ヘマスルガ此邊ハ如何  
ノ内務次官ハ御見込デアラウカ、其要領ヲ承リタイ
- (政府委員中村元雄君演壇ニ登ル)
- 政府委員(中村元雄君) 御答致シマス、唯今ノ第一ノ御問デゴザイマス神  
戸ノ築港ノコトハ既ニ市ヨリモ申立テマシテ先頃内務大臣ヨリ土木監督署ノ  
方ニ命フ下シマシテ調査ニ着手致シテ居リマス、此調査結了ノ上ハ其時機ノ  
模様ニ依リマシテ財政ノ許ス限ハ又再ビ案ヲ具ヘマンシテ提出致シマスルコト  
モゴザイマセウガ當時調査中デゴザイマス、第二ノコトハ私ニハ少シク御答  
ガ出來兼ネマスカラ古市政府委員ヨリ御答致シマス
- (政府委員古市公威君演壇ニ登ル)
- 政府委員(古市公威君) 第二ノ御尋ハ船渠ヲ八ツ搭ヘル計畫ニシテ今ニツ

シキヤ 持ヘナイ、アレヲニツニ限<sup>ツ</sup>タナラバモット工費ガ安クナリハセヌカ  
ト云フヤウナ御尋ノヤウニ聞キマシタガ果シテサウデゴザイマスカ

○磯邊包義君 左様デゴザイマス

ガ大變ニ繁昌シテ、繁昌シテサウシテ今ノヤウナ荷役ノヤウナ仕方デハイケ  
ナイ、モット敏活ナ荷役ヲシテ、サウシテ例ヘバ上海ヘ行シテ來ル船ガ一箇  
月……二箇月ニ三回キヤー出來ナイヤツヲ、二箇月ニ四回位スルヤウニ敏活

二万二千二百餘圓

〔富田鐵之助君「平均ノ貸下料デスカ」ト述フ〕  
二十六年二十七年二十八年ノ三年平均ノ貸下料デアリマス  
〔富田鐵之助君「ソレハ國庫ニ這入ッテ居マスカ」ト述フ〕

サウデス、國庫ニ這入ッテ居マス  
〔富田鐵之助君「矢張歲入ノ豫算ニ這入テ居ルノデスカ」ト述フ〕

サウデス、國庫ニ這入ッテ居マス  
〔富田鐵之助君「矢張歲入ノ豫算ニ這入テ居ルノデスカ」ト述フ〕

〔政府委員古市公威君演壇ニ登ル〕

○村上桂策君 チヨット質言ヲ……質問ヲ致シマス、埋立地ハドノ位坪數ガアリマシテ、其凡ソ坪數ノ價格ハ政府ハ如何ナル御見込デアリマスカ、就イテハ又其地ハ官有ノ御見込デアリマスカ、大阪市ノ權利ニ屬スルノ御見込デアリマスカ、一應伺ヒマス

〔政府委員古市公威君演壇ニ登ル〕

○政府委員（古市公威君）埋立地ノ總坪數ハ百四十九万坪バカリノ積リデアリマス、其内十萬坪ハ陸軍ノ用地ニ取ッテ置ク積デアリマス、ソコデアト百三十九万坪ヲ斯ウ云フ工合ニ處分ヲ致シマス、三十八万坪……其百二十九万坪ノ内ノ三十八万坪バカリト申シマスルモノハ、是ハ其將來ノ船著キノ附屬地、船渠ノ附屬地ニナルノデアリマス、是ハ其市ニヤツテサウシテ市ニ處分權マデ與ヘナリ自由ニ處分サセナイ、市ノ共有ノ市有ノ土地ニハシマスケレドモ

自由ニ處分サセズニ市ニ持セテ置クスウ云フ積デス、此土地ト云フモノハ何ニナルカト申シマスルト御承知ノ通り船ガ著キマストスグ傍ニ幾ラカ平地ガアル、其平地ハ荷車モ通リ又鐵道モ敷キ荷坂ヲスル面積モアル、ソレカラ一ツ倉庫、倉庫ノ敷地ガ出來ル、ソレカラ倉庫ノコチラニ又鐵道モ敷キ荷坂場ナドガ出來ルコトニナツテ居リマス、サウ云フ土地デアリマスカラ、之ヲ自由ニ賣拂ハセズニ市ノ所有地ニシテ置ク方ガ宜イト云フ考デ其土地ハ三十八万坪許……其三十八万坪ニ附イテ尙ホモウ一ツ説明シテ置カナケレバナラヌコトガアル、此ノ中ニハ今ノ計畫デ倉庫ガ出來上リマストスグニ勧キ出ス地面ト云フモノハ十八万坪……殘リノ二十万坪ト云フモノハ先刻磯邊君カラ度々御話ニナツタ今漸次擴張スルコトニナツテ居リマスカラ此計畫通出來上ツタ有様ハドウカト云フト唯浚渫シタ泥ガ上ツテ水面ヨリ高イ地面ガ出來テ居ル計リデマダ本當ニ勧カナイ、唯今ノ三十八万坪ヲ減グト百一万坪ト云フモノガ殘ル、其内ノ二割五分ト云フモノハ道路敷溝渠敷ソレカラ又イクラカ公園地トカ云フヤウナモノニ充ツルタメニ差引キマシテ残リ七十五万坪ト云フモノガ賣レルノデス、夫ハ市デ賣ル積ニナツテ居ル、其金額ガ八百四十萬五千圓ト云フ見込デゴザイマス

○村上桂策君 一坪ナシボニ當リマスカ  
○政府委員（古市公威君） 一坪平均致シマスルト十圓六十何錢ト云フモノ  
○村上桂策君 其十圓ト云フノハドウ云フ所カラ御積ニナリマシタカ、ソコハ今日ノ大阪ノドノ位ノ地ニナツテ……現今大阪ノ地ガドノ位ニナツテ、凡ソ十圓ト云フノハドウ云フ所カラ十圓ト云フ價格ヲ御定メニナリマシタカ如何ニモ十圓ト云フノハ非常ニ廉イヤウニ思フ、如何ナル御積カラシテ十圓ト云

フ所ノ算出ヲセラレマシタカ、大阪現今ノ地ノドコラ邊リノ比例ヲ以テ十圓ト云フ御積ニナリマシタカ、ドウモ其算出ト云フモノハ甚ダ受取ラレヌ……

○政府委員（古市公威君） 是ハ其餘程價格ヲ積ルノハムツカシイコトデスト云フモノハ此港ハ十分繁昌スルマテヲ待ツテ賣リマスルト云フト餘程價值ガ出ルト思ヒマスガサウ致シマスルト市ノ公債ノ利子ガ堪マラナクナクナヅテ來バ、デアリマスカラ出來上リマスト是ハ直グニ手放サナケレバナラヌ處アル、其出來上ツテスグニ手放スト云フ場合デアリマスカラ大變繁昌シテ居ル土地ヲ以テ比較スルコトハ逆モ出來マセヌ、ソレデ是ハ見込ノ付カヌコトデアリマスケレドモ茲ニ御注意ヲ乞ハナケレバナラヌノハ船著ノ極ク接シテ居ル八十間ト云フモノハ前段ニ申シタ通沿岸地トシテ取ツテアル、ソレカラ内ニ這入ツタ分デス、サウシテ其第一著ニモウ賣ルト云フ部分ガ三千万坪許アル、出來上ル始ノ年ニ賣ル積リ、其三十万坪ヲ三等ニ分ケテ其一番港ニ近イ所一坪二十圓夫カラ下ツタ所ヲ十五圓極隅ノ所ヲハ圓、斯ウ積リマシタソレカラ第二ニ又出來上ル、段々木津川ノ方ニ寄ツテ來マスガ第二ニ出來上ル所ノ二十四万坪是レ亦三等ニ分ケテ十二圓、八圓、六圓、ソレカラ其次ニ出來上リマス處ガ二十一万坪餘リデアリマス、是モ三等ニ分ケテ十二圓、八圓、六圓、段々木津川ノ方ニ寄ルニ從ヒ又地方ニ寄ルニ從ヒ直段ヲ下ゲマシテサウシテ積リマシタ平均ガ今ノ十圓六十何錢ト云フモノニナリマス

○村上桂策君 之ヲ賣ランナラヌト云フ理由ハドウ云フ處カラ出來上レバランナラヌ、之ヲ賣ク置ケバ餘程值ニナル、値ノ出ルマテ待テナシ、ソレカラ六圓トカ十何圓ト云フノハドコノ比例ニ據ツタモノデアルカ、唯一番下等ガ六圓デアル、真イ處ガ十圓デアルト云フノハソレハドンナ政府ノ御考デアリマスカ、大阪ノコハラノ比例アルト云フコトヲ伺ヒマセヌテハ分リマセヌ、最早出來タナラバ格別手ノ要ラヌモノト思ヒマスガソレヲ賣ランナラヌト云フ理由ヲ……アノ地ガ六圓ヤ十圓トハ思ヒマセヌ、ドウ云フ所ノ例カラ今急ニ廉ク賣ランナラヌト云フノハ何カ仔細ガアルノデゴザイマスカ

○政府委員（古市公威君） 早ク賣ルト云フノハ公債ノ元利ヲ償却シナケレバナラヌ、サウシマセヌト利息ガ莫大ノ金ニナリマス、ソコデ當初ノ豫算ハ八年デ國庫ノ補助ヲ貰ツテ八年デ工事ヲスル積デアリマシタ所ガ財政上ノ都合カラ十四年デヤルコトニナリマシタ、十四年ニ對スル元利ヲ償却ノ計算ト云フモノハ確定シタモノデアリマセヌケレドモ凡ソ七十年モ掛ルダラウ、然モ毎年市カラシテ二十万圓ゾハ始終支出スルモノトシテソレニスルノニ元金ヲ減ジテ、スグ出來タ片端カラ賣ツテ元金ヲ減ジテ置イテサヘソレデゴザリマス、サウセヌト利子ニ對シテ大變金ヲ拂ハシナラヌト云フコトニナリマスカラ金額ガ非常ニナル、ソレハドウモ堪ヘヌ……

○村上桂策君 シマスルト計算上カラ賣ツテ元金ヲ減ジテ置イテサヘソレデゴザリ價格ニナル、ソシマデドノ位利子ガ掛ル、ト云フ政府ノ御計算ヲ……何年スレバ出來上ツタナラバ其地ガ或ハ百五十圓ナリ或ハ二百圓ナリ……ソレマデノ利子ヲカケテ或ハ平均十二圓ナリ十圓ナリカケルト何年經ツテ百圓ニナル何箇年間持タナケレバナラヌ差引スウ云フ勘定ニナルト云フコトヲハツキリ御説明ニナラヌト其仰ツシヤル所ガ分ラヌ、分ラヌカラ私ハ大ニ疑フノデアル、政府ガドウシテモ答辯ヲセヌナラヌ、唯空漢ナコトヲ云フコトヲハツキリコトニ至ツテハ本員等ニハ受取レヌノデ、或ハ五百圓……或ハ十圓ノモノモア

ルカラ何年ノ利ヲ掛ケタラ百圓……市ニ金ガ這入ルカ、然ルニアレヲ賣レバ利益ガ増セバ……十圓ノガ百圓ニナルトカ或ハ百五十圓ニナルトカドウシテモ、二百圓ニナルトカ云フ其利子ノ所ノ計算ヲシマセヌデ、唯空々漢々トシテサウ云フ説明ヲシテ御シマヒナサルト云フノハ如何ニモ粗漏ナ御答辯デハゴザイマセヌカ

○政府委員(古市公威君) 御答致シマス、土臺始メノ其利子ヲ拂フノニ困ルノデスヨ、利子ハ現ニ二十万……大阪ノ市ハ御承知デハゴザイマセウガ隨分負擔ガ重イ、今ニシテハ水道モアリ……

○議長(公爵近衛篤曇君) チヨット御待チ下サイ

○村上桂策君 迫モ要領ヲ得マセヌカラ宜シウゴザイマス、分ラナインデアル

○政府委員(古市公威君)

ソレデハ宜シウゴザイマスカ

○久保田讓君 私ハ此補助ノ方法ニ就イテ御尋ラシタイ、是ハ餘程弊害ノアル補助ノ方法デハナイカ、ソレカラ今マデ政府ガ補助ヲ致シタコトニ斯様ナ方法ヲ執ラレタコトハナイ、即チ此水道、築港ヲ補助スルニ地面ヲ以テ金ニ換テ詰リ地面ト金ト差繼ヲシテ補助ヲスルト云フ方法デアルガ、是ハ其會計法ナドノ精神カラ言ツテモ甚ダ不都合ナコトデハナイカト思フ、斯ウ云フコトニハ大層其便宜ナヤウデアルケレドモ、斯ウ云フ便宜ナコトニハ又非常ナ弊害ガ附イテ來ル、先刻來モ段々此議場ニモ御疑ガアルヤウダガ、即チ此地面ヲ以テ金ニ差繼グト云フヤウナコトデアルカラ此間ニ大イニ世間デ疑惑ヲ抱イテ居ル、甚ダ是ハ疑ハシイコト、云フノデ、皆疑ツテ居ル、ソレヲ明ニ説明ヲ請ヒタインデアリマスガ、全體會計法ナドモ其邊ノコトニハ餘程取締ヲ嚴重ニシテ品物ヲ以テ金ト差繼イダリ、ソレカラ物ヲ買タリ建築ヲ致シタリスル時ニモ品物ト金ト混同シテ差繼グト云フヤウナコトハ餘程嚴禁シテ居ル、ソレデ政府ガ賣拂フモノハ賣拂ツテソレカラ新ニ買フモノハ買フ、斯ウ云フコトニナツテ居ル、ソコデ此地面ハ故政府ガ賣拂フコトが出來ナシ、會計法ノ手續ニ據ツテ公賣ニ付シテソレヲ賣拂フコトが出來ナイカ、之ヲ政府ガ會計法ノ手續ニ據ツテ賣拂ヘバ當然其手續ニ據ツテ金ヲ收入スルコトが出來ル、其收入ノコトニ就イテ果シテ之ガ安イカ高イカ分ラナイ、假令安クナッテモ世間デハ疑ハヌ、又弊害モナイノデアル、ソレカラ果シテ政府ノ御意見ノ通ニ是ダケノ價ニ拂フコトが出來レバ即チ其金ヲ持ツテ大阪ノ築港ヲ補助サレテモ一向差支ハナイノデ……

○議長(公爵近衛篤曇君) 久保田君、久保田君……

○久保田讓君 理由ヲ明ニ承リタイ  
○議長(公爵近衛篤曇君) 久保田君、久保田君……  
○久保田讓君 何故ニ相當ノ手續ニ據ツテ地面ヲ賣拂ハヌ……

○議長(公爵近衛篤曇君) 久保田君、久保田君  
(政府委員古市公威君演壇ニ登ル)

○政府委員(古市公威君) 政府ノ見ル所ニ據リマスト詰リ此方ガ國ノタメニト云フコトガアルカモ知レマセヌケレドモ、此直段ニ就イテ當否ハ是ハモ

ウ皆サンノ御考トシテ市ニ處分サセタ方ガドウシテモ能ク賣レル、國ガ公賣ナドヲシタヨリハ市ニツレヲサセタ方ガ利益ダト云フ考ヘデ、此位ナラバ……今ノ直段位ナラバ市ナラバヤリ切レル、國デ競争入札ヲサセルト逆モアレダケノ金ハ得ラレヌト云フ考デアリマス、ソレ故ニ市デヤシテサウシテ市ニ處分サセルト云フ方針ヲ執リマシタ

○久保田讓君 ソレデハ尙ホ伺ロマス、政府ハ矢張商賣的ノ考ヲ以テ此事ニ限ツテエライ商賣的ノ考デアルヤウデ、サウ云フ不都合ナコトヲ致シテ居ル、平日會計法上總ベテ政府デ賣ル物ハ安ク賣リ、買フ物ハ割合ニ高ク買ハナケレバナラヌト云フコトニナツテ居ルケレドモ、ソレハ商人ガ巧ニ自分ノ利益ノタメニ此賣買ヲ致スニハサウ云フ巧ミナコトモ功ヲ奏スルガ、却テ政府デサウ云フコトヲスルト弊害……

○議長(公爵近衛篤曇君) 御意見デアルナラ通告ガアリマス、其後トニ願ヒ

○議長(公爵近衛篤曇君) ハイ……  
○久保田讓君 議論ハ申シマセヌ、質問ノ譯ヲ申シテ居リマス

○議長(公爵近衛篤曇君) 宜シウゴザイマス

○久保田讓君 (ドウモ) 會計法ノ精神ガ潰レマシテ今後是ガ例ニナリマシテ斯

勿論デス、勿論デスガ議論ニ涉リマスト通告ガアリマスカラ……

ス

○議長(公爵近衛篤曇君)

御意見ナラバ通告ガアリマスカラ其後トニ願ヒマ

ス

○久保田讓君

ス

○久保田讓君 (ドウモ) 會計法ノ精神ガ潰レマシテ今後是ガ例ニナリマシテ斯

ウ云フコトノ續々補助ノ法ガ起シテ來ヤウト思ヒマス、我ニハ今日ノ會計法ノ精神ハ宜シイト思ヒマシテ固ク維持シタト思ヒマスカラ御尋申スノデ是ハ

壞ハレハシナイカト思ヒマス、ソレデ古市君ハ唯今ノヤウナ御意見デアルガ大藏省ナドハドウ云フ御意見デゴザイマスカ、會計法ノ精神ガ是デハ壞ハレヤシナイカト思ヒマスガドウカ其處ヲ明ニ御答辯ヲ願ヒタイン古市君デモ

宜シイ、御答辯ニナレバ誰レデモ宜シイ

(政府委員松尾臣善君演壇ニ登ル)

○政府委員(松尾臣善君) 唯今ノ地面ヲ……地面デ讓ル、讓リ渡スト云フコトニ就イテ弊害ガアルヤナシヤ大藏省ノ意見ハ如何ト云フ御問デゴザイマ

スガ、大藏省ニモ地面デ渡サレルコトニ就イテハ別ニ弊害ガアルコト、ハ認メマセヌカラアノ案ヲ提出ニナリマシタコト、承知致シテ居リマス

○久保田讓君 ソレデハモウ斯様ナ例ヲ御開キニナツテソレデ弊害ガナイト云フコトデアルベ今後トモ補助法ハ斯様ナコトガ行レルト思ヒマスシ、ソレカラ又會計法ヲ施行スル上ニ於テ斯様ナコトヲ往々ナサル御考ト見テ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(松尾臣善君) 會計法ニハ唯今ノヤウナコトハ規定シテゴザイマセヌ、此地所ノ處分ノコトハ即チ勅令デ以テ別ナ規則ガ立ツテ居リマス、其別ナ規則ノ範囲ニ據ツテ取扱ヒヲ致シマスルニハ別ニ會計法ニ違ヒマスル場

合ハゴザイマセヌ

○久保田讓君 唯今ノヤウナ代言的ノヤウナ御答辯デハ困ル、本員モ地所ノ處分ノコトガ勅令デ出テ居ルト云フコトハ承知デアル、會計法ノ精神、會

計法ノ精神ヲ申スノデ、サウ云フコトニナシテ居ルト確信シテ居ル、總じテ賣ル物ハ公ケノ入札デ賣リ、買フ物ハ公ケノ入札ヲ以テ買フト云フ會計法ノ原則ニアラウト思フ品物ヲ以テ金ニ繼グト云フコトナラバ此物ト云フモノハ唯隨意ニ賣ルノデ決シテ公ニ賣ルノデハナイ、加之ナラズ此金デ差繼イデ之ヲヤルト云フコトデアルナラ餘程會計法ノ精神ニ明ニ矛盾シテ居ル、其邊ハ

○政府委員(松尾臣善君) 今御尋ノハ地面ヲ賣ルノデハナイ、地面ヲ市ニ譲リ渡スノデ、ソレデ會計法ノ範圍デ處分スペキ部分デバゴザリマセヌ……

(久保田讓君) 同ジコトデハゴザイマセヌカ賣ルト言ッテモ 謂ルト言ッテモ」ト述フ

ソレデ斯ウ云フ例ハ始終是カラ先キ開クカト云フコトデゴザイマシタガ、ソレハ其事ニ據リ物ニ當シテデゴザイマセヌケレバ豫メ以後ノ事ハ斯様ニ致スト云フコトハ申上兼ネマス

○久保田讓君 モウ議論ニナリマスカラ止メマス

○男爵藤村紫朗君 此築港ヨリ生ズル埋地十万坪ヲ陸軍ノ用地トシテ取ツテ置クト云フ御話デアリマシタガ、ソレハ無代價デ取ラレルノカ又ハ相當ノ直段デ買上ラレルノデゴザイマスカ、ドウ云フコトデゴザイマスカ

○政府委員(古市公威君) 無代價デゴザイマス

○男爵藤村紫朗君 市ノ事業デ其地面ガ出來ル、ソレヲ無代價デ取ラレルト云フノハドウ云フ理由デゴザイマスカ、一方デハ築港ヲ補助シ一方デハ其築港ヨリ生ズル地面ヲ十万坪無價デ取ラル、ドウモ誠ニ分リ兼ネル、デ矢張政府ハ非常ニ商賣的ノ考ヲ持ツテ居ラレルノデハナイカ、前ノ御話デハ一坪十圓位ノ積ト云フコトデアルガ、ソレハ埋立テ、直ニ賣ツタラ十圓カ十二三圓ノ安イモノカモ知レナイガ、併シ築港ガ成立ツタ以上ハ其土地ハ一坪五十圓ニナルカ百圓ニナルカ分ラヌ、サウスレバ十万坪ハ五百万圓ノ價ガアル譯デアル、一方デハ補助シテ一方デハ五百万圓ノ地所ヲ唯取ルト云フノハエライ差引勘定シタヤウナ話デアルガ少シモ分ラヌ、其地所ヲ陸軍ノタメニ無價ニテ取ラル、位ナラバ補助シナクテモ宜イカモ知ラヌ、補助ヲセズニ其時ニ至ツテ相當ノ直段デ買上ラレタラ宜カラウト思ヒマス、一方デハ其築港ヲ補助シテ一方デハ政府ヘ唯取揚グラレルノハドウ云フ 理由デアルカ分ラヌ、ドウカ其邊ヲ能ク御説明ヲ願ヒタイ

○政府委員(古市公威君) 詰リ十万坪ノ土地ガ入用デアルカラシテ其十万坪ヲコチラノ用地トシテ取ツテ置クト云フ條件附テ補助ヲスル考ニ過ギヌノデスカラ其陰ニナル所ハ水ガ濶ム、水ガ濶ムニ從ツテ其所ハ沙ニナシマフト云フアリマス

○武井守正君 チヨシト御尋シマス、此築港ハ沙デ埋メラレテシマフト云フシテ港口ヲ堵ヘルト云フ御考デアラウケレドモ、段々埋メテ突堤ヲ築キ出スノデアリマスカラ其陰ニナル所ハ水ガ濶ム、水ガ濶ムニ從ツテ其所ハ沙ニナシマフト云フコトハ蓋シ政府デモ御承知ニ相違ナイ、澁心マデ突堤ヲ築キ出スノデアリマスカラ其陰ニナル所ハ水ガ濶ム、水ガ濶ムニ從ツテ其所ハ沙ニナシマフト云フコトハ云フコトハ云フマデモナイ、已ニ沙ガ溜レバ其洲ガ段々先キニ寄ツテ港口ニ至ルト云フコトハ是亦観易イ道理デアルト思ヒマス、ソレデ長ク鼻ヲ突キ出テ行カウト云フ御考デアラウケレドモ、段々埋メテ突堤ヲ堵ヘルト共ニ其地面ガ埋テ行クノデアルカラ間モナク港口マデ沙ガ押寄セテ船ノ出這入りガ出来ナイト云フコトニナルノハ是ハ早イカ遅イカ必ズアルコトニ相違ナイト

思ヒマス、百世ノ港デナイト云フコトハ云フマデモナイガ、本員等ノ見ル所デハ突堤ヲ築ク所ハ直ニ埋ルト思フ、サウスレバ工事落成ノ後十年間或ハ十五年間ハ用ヲ爲スデアリマセウガ決シテ三十年五十年ノ用ヲ爲ス港デハアルマイト思ヒマス、政府ハドレ程ノ年數此港ガ港トシテ用ヲ爲スト云フ御見込デアルカ

(政府委員古市公威君演壇ニ登ル)

○政府委員(古市公威君) 此アーチ云フ土地ニ出來マス港ノ維持ノ困難ナルコトハ武井君ノ述ベラレル通デアリマス、政府ハ今武井君ノ述ベラレルヤウニ早ク港ノ埋マルト云フ懸念ハナイト考ヘテ居ル、其譯ハ空ニ考ヘタノデハナリ、其譯ハ其武庫川以南ノ潮流ト云フモノハ緩慢ナルニ拘ラズ同ジ方向ヲ取ッテ流レテ居ル、北カラ南ヘ始終一定ノ潮流ガアラズ其潮流ガ港口ニ竝行シテ居ル、港口ニ竝行シテ居ル潮流ト云フモノハ港口ヲ維持スルコト恰モ川ノ中ニ水羽根ヲ堵ヘテアノ動キヲスルノト同ジコトデ、尤モ此潮流ハヒドイ潮流デハナリ、ヒドイ潮流デハアリマセヌケレドモ此水制ト云フモノニ川ノ中ニ堵ヘル此水制ノヤウナモノヲ突出スト其所ヘ潮流ヲ集メルカラ今日ヨリハ強クナル考デアル、デ丁度水制ノヤウナ動キ爲スヤウナコトデアリマスルカラ其水制ニ依ツテ港口ヲ維持シテ居ル例ハ隨分今日見ル所デアル……

(子爵谷干城君) ドミニアル「ト述フ」

夫ハ有名ナルきんぐすどんト云フ港ガアリマス、其きんぐすどんト云フ港ハリーフスルモ、一ト云フ沙濱ノ所ヘ出シテアル、ソレガ宜イ鹽梅ニ維持シテ居ル、

是ハ矢張潮流ガ港口ニ竝行シテ流レテ居ル、ソレカラ最モ甚シイノハ北海ノ海岸ヘマルデ一直線ノ砂濱ヘ二本突堤ヲ出シテアル為心するだむノ港、是ハ成ル程武井君ノ云ハレル通突堤ノ陰ニハ洲ガ附キマス洲ガ附キマスルケレドモ水制ニモ矢張アノ屢々御覽ニナル川ノ中ニアル水制ノ様ナ工合ニ陰ニ洲ガ附イテ頭ノ方ハ深クナシテ居ル、其動ニ依ツテ港口ノ維持が出來ル、ソレダケノ力ヲ當テニシテ將來決シテ是デ埋ラヌト云フコトヲ斷言スルコトハ出來マセヌケレドモ、其力ヲ借りリ若シソレデマダ足リナクナリマシタナラバ港外浚渫デ行ク、此港外浚渫デ港口ヲ維持シテ居ル所モアル、ソレデイカナクナシタラ頭ヲ延バス、ソレマデ行ク積ナラバ百年位ハ決シテ差支ナイト云フ考デゴザイマス

○子爵谷干城君 陸軍ノ政府委員ハ出ラレマセヌカ

○議長(公爵近衛鷲磨君) 陸軍ノ政府委員ハ出テ居マセヌサウデアリマスカラ唯今呼ビニ……唯今出ラレタサウデゴザイマシタナラバ港

タウト思ヒマス

(政府委員古市公威君演壇ニ登ル)

○政府委員(男爵兒玉源太郎君) 唯今谷子爵カラ御質問デゴザイマス、陸軍ニ附イテノ利益ノ點ハ先づ第一ニ營營ノ便利、ソレカラ物品ノ供給ノ便利、ソレカラ大阪ハ御承知ノ如ク諸方ヨリ鐵道ガ大分集ツテ居リマス、大阪以東ノ軍隊ヲ大阪へ召集スルノ便利、殊ニ此度ノ築港ノ計畫デゴザイマスルト蒸氣船ヲ機橋ニ横附ケニシテ機橋ヨリ船ニ乗リ且ツ船カラ機橋ニ上ル便利ガア

ル、是ハ他ノ港ノ幹カラ見マスルト非常ナ便利デゴザイマス、斯ノ如キコトガ陸軍ニ取テノ便利ノ最モ重ナル點ト考ヘマス、ソレノ種々ノ調査ハゴザイマスルケレドモ大概其邊ハ御分リニナツチ居ラウト考ヘマス、唯今申上げマス點ガ陸軍ニ於テ最モ必要ト看認メタ點デゴザイマス

○子爵曾我祐準君 舍營ノ便利トハ何デアリマスカ海ノ中ニハ舍營サレマセスガ

○政府委員(男爵兒玉源太郎君) 卽チ大阪ハ御承知ノ通大キナ都會デゴザイマス、殊ニ澤山ノ軍隊ガ舍營サレマス是ガ舍營ノ便利デゴザイマス

○子爵曾我祐準君 ソレハ港ノ便利デハナイ

○政府委員(男爵兒玉源太郎君) 卽チ港ト市ト關係ガ直接シタ地デアル、其大阪市ヲ舍營ニ用ヒテ此所ニ舍營シテ居ル所ノ軍隊ガ直ニ港ニ行クテ船ニ乗リ或ハ下リマスノデ

○子爵谷干城君 サウスルト何デスネ、陸軍ノ當局ノ御考デハ若シ萬一ノコトガアツタトキニハ各師團ヲ皆一時ニ大阪ニ集メテ置イテ……

○政府委員(男爵兒玉源太郎君) 皆一時ニ集メテ置クト限クタコトハゴザイマセヌガ兔ニ角大部分ノモノハ集メ得ラレマスノデ、即チ其時船ニ乘セマセウト云フ必要ナ分ニ十分大阪ナラバ集メラレマス

○子爵曾我祐準君 大阪ヘ八師團トカ這入ルト云フコトデアリマスガ、一師團八十艘トシテ八八六百四十艘ノ船ガ此港ニ集メラレマスカ

○政府委員(男爵兒玉源太郎君) 此港ハ唯今デハ六万噸デアリマスカラ凡一千噸位ノモノト見テ二十四五艘ノモノト考ヘマス

○子爵曾我祐準君 然ラバ一師團ソコニラシカ乗セラレス、ソレデ八師團ノ營ヲ求メテモ仕方ガナイ

○政府委員(男爵兒玉源太郎君) 港ノ力ニスレバ舍營ノ力ガ非常ニ増シテ居リマス、併ナガラ此六万噸ノ船ガ一日ニ一回シカ乗セラレヌト云フコトハアリマスマイ、或ハ二回乗セラレマスカ、モット能ク行ケバ二回モ乗セラレマス、實ハ棧橋ヨリ澤山ノ兵ヲ乗セタ經驗モナイカラソレハ御答ハ出來マセヌガ計算ニ依レバ少クトモ三回位ハ出來マセウト考ヘマス、殊ニ一ツノ品物ノ重イモノ即チ大砲ノ如キモノ或ハ馬ノ如キモノハ船カラ出ルノト棧橋カラ出ルノトデハ非常ニ速力ガ違フダラウト考ヘマス

○子爵曾我祐準君 大阪デモ大阪デナクテモ棧橋ノ便利ハドコデモ同シデゴザイマセウナ、神戸ノ棧橋デモ……

○政府委員(男爵兒玉源太郎君) ソレハ同ジデアリマス

○子爵曾我祐準君 ソレデハ大阪ノ利益デハ無イ、棧橋ノ利益デアリマセウハ全クノ商業港デアルガ、ソレハ逐出シテシマフ方法ガ附クノデアリマスカ

○政府委員(男爵兒玉源太郎君) ソレハ勿論附キマス

○子爵谷干城君 大阪ノ港ハ御承知ノ通今マデ日本船ガ大分居ルガ帆前船ナトハサウ急ニ出帆モ出来ルモノデハナイ、凡ソ軍隊ヲ繼グト云フコトニナレバ商賣船ノ傍ニ碇泊スル軍港トスレバ片ツ方ニ專ラノモノヲ作ブテ置カヌト、港ヲ出タ時ニドウスルカ仕方ガナイ船ガアリハシマセヌカト思ヒマス、ドウ

云フ風ナ方法デアルカツレヲ伺ヒタ

○政府委員(男爵兒玉源太郎君) 無論陸軍ノ専用ノ港ヲ作レバ是ヨリ上ノコトハアリマセヌガ、ソレハ中ニ經濟上許サヌ所デアリマス、ソレ故ニ成ルベク平常ハ經濟ノ便利ヨリシ戰時ニナリマシテ其港ヲ軍人ノ乗船上陸スル所トシテ使フヤウニシタイト考ヘマス、ソレ故ニ陸軍デ使フ船ガ悉ク機橋ニ著タト云フ譯モナク機橋以外ノ所ニ著クコトモアリマセウガ、機橋ヲ重ニ陸軍デ使フトスレバ、ソレニ邪魔ニナラヌヤウニ商船ガ他ニ碇泊スルハ差支ヘナイ、併ナガラ之ヲ軍人ノ輸送ノ港トシタ時分ニハ碇泊シテ居ル商賣船ガ其所ニ居シテハ運送船ノ出入ニ妨ゲヌスルカラ是非他ニ碇泊地ヲ變ヘテ其港ニ居レナイヤウニスル都合ガ隨分附カウト思ヒマス

○子爵谷干城君 隨分附クト仰シヤリマスガ併ナガラ是カラ條約改正等ニモナリ外國人モ雜居スルコトニナツテ來ル、ソコデサウナツテ來マスト大阪築港ニ於テモ必ズ港稅或ハ船ノ噸稅ヲ取ル、ソレニ手順ヲ立テ、カラニ稅ヲ拂フト見タトキニハ、ドウシテモ逐出スコトハムツカシカラウト思ヒマス、陸軍ノ方デ此港ハ必要デアル若シ戰時ニ於テ必要ノトキハイツデモ取上ゲルト云フ何カ條件アモ附イテ居ルコトデアリマスカ、ソコヲ伺ヒタ

○政府委員(男爵兒玉源太郎君) ソレハ別段條件ヲ附ケル必要ハナイト考ヘマスル、戰時ニ至シテ其港ヲ使フ法令ヲ要スレバ其時ニ其法令ヲ出シテ宣シイト考ヘマス、又内地雜居ニナツテ條約改正後ニナリマスレバ尙ホ更ソコノ船モ皆日本ノ法律ノ下ニ服從シナケレバナラヌノデアリマスカラ詰マリ其港ヲ或ル區域ヲ限シテ徵發フシテ使ツテ差支ナイト考ヘマス

○子爵曾我祐準君 政府ニ政府ニ政府ニハナイ陸軍デハ下ノ關輸出港ヲ開クト云フコトデサヘモ戰時ニ關係アルタメニ御不同意ト云フコトヲ承シテ居マシタガ、今ノ所デ大阪デモ戰時ノタメニ差支ナイト考ヘマスレバ無論下ノ關ノ方ハ陸軍ハ兩手ヲ舉ケテ御同意ナサルデアリマセウナ

○政府委員(男爵兒玉源太郎君) 下ノ關ノ特別輸出入港ニ不同意ト申シマスルノハ戰時ニアレヨリ軍需品ヲ積出スタメニ不同意ト云フ點テハゴザイマセヌ又此點ニ附キマシテハ陸軍省デハ未だ全ク不同意トハ申シテ居リマセヌ、種々ナ唯今此外國船ノ出入ニ關シマシテ要塞ノ總テノ取締ノ事ニ附イテ唯今調査中デゴザイマス、不同意ノ方ニ傾イテハ居リマスルケレドモ、マダハシキリ不同意ト申シタ譯デハゴザイマセヌ、唯今調査中デゴザイマス

〔子爵曾我祐準君〕積出シノ不便ノタメデナイト仰シヤレバ何ノタメデス」ト述フ)

左様デゴザイマス別ニ要塞ハ置キマセヌ積……

〔子爵曾我祐準君〕今有ルチヤアリマセヌカ」ト述フ)

是ハ取毀ハシヲサレマスノデアリマス

○子爵谷干城君 ソレナレバ一部分ヲ徵發スルト云フコトニナルト全ク追拂フテシマフ譯デハナイ、サウスルト詰リ神戸モ同クニ神戸カラモ矢張其機橋デモ搭ヘレバ外國……他ヘ出テノ戰爭ニハ少シモ差支ナコトハ明白デア

ラウト思フガサウスルト大阪ノ方ニ陸軍ノ入用、必要ト云フモノハボンノ神戸ナリ宇品ナリノ其補ヒトホカ見エヌヤウデアリマスガ皆徵發シテ追出シテシマフト云コトノ出來ナイコトハ政府委員ニモ認メラレテ居ルヤウデアリマスガ其通デアリマスカ

○政府委員(男爵兒玉源太郎君)一部份ト申シマスルノハ即チ必要ニ依テハ全部ヲ徵發スルカモ知レマセヌ、必シモ其一部分ハ商賣船ノ這入ル所トシテ残シテ置カナクテハナラスト云フコトハ認メマセヌ、即チ必要ノ度合ニ依テハ其港全部ヲ徵發スルカモ知レマセヌ、ソレデモ一向差支ナイ積テス、ソレヨリシテ大阪ハ宇品神戸ノ補助チャト云フ御説デゴザイマスルガ即チアフコヘ港が出來マスル以上ハ即チ反對ニナリマシテ大阪ガ重ニナリマシテ無論宇品ハ大阪以西ノ軍隊ノタメニ宇品ノ方ガ却テ補助ノ形ヲ爲スデアラウト考ヘマス、ソレカラ神戸ニ橋橋ガ出來テ港が出來タラ同ジデハナイカト云フコトデアリマスガ是ハ棧橋ト云フ即チ曾我子爵ノ御考ニ附イテハ同様ドコニ出來マシテモ同ジデスガ唯神戸へ行キマスト大阪程無論軍隊ノ舍營ノ地ガゴザイマセヌ軍隊ヲ舍營サスコトガ非常ニ力ガ達ヒマス、加フルニ此大阪神戸ノ間ト申シマスルモノトソレカラ神戸カラ以西ト申シマスルモノ、陸上ノ運搬ハ矢張依然トシテ一本ノ鐵道ニ頼ルヨリ外ニ手段ハナインデアリマス、ソレ故ニ陸上ノ運送ノ力ガ大阪以西ニ於テ神戸へ參ルダケノ力ガ減ズル、斯ウ云フコトガ生ジマスル、ソレ故ニ神戸ヨリハ大阪ノ方が宜シト認メテ居リマスノデ、加フルニ此品物或ハ糧食品デゴザイマス、糧食品ナドハ即チ日清ノ戰役ノ例ニ依リマシテモ大部分ハ大阪デ調製が出來マスノデ是ハ神戸ヘ船ヲ著ケテアソコカラ積卸ヲスルト申シマスト矢張大阪カラ神戸マデ更ニ持ツテ行カナケレバナラスト云フ不便ガアリマス、大阪ナレバ直ニ物品ヲ買集シ直ニ其物ガ船ニ積卸シガ出來ルト云フ便利ガゴザイマス

○議長(公爵近衛篤曇君)チヨダト休憩シテハ如何ト存ジマス御質問ハ午後ニシテ

○議長(公爵近衛篤曇君)左様デゴザイマスカト述フ

午後零時五分休憩

○議長(公爵近衛篤曇君)是ヨリ報告ヲ致シマス

(有賀書記官朗讀)

本日丸山作樂君、根岸武香君ヨリ三十四名ノ賛成ヲ以テ神祇ニ關スル官銜設置ニ對スル質問書ヲ提出セラレタルニ依リ直チニ政府ニ轉送シタリ唯今衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領シタリ

明治三十年度歲入歲出總豫算追加案(總追第四號)

明治三十年度各特別會計歲入歲出豫算追加案(特追第五號)

(子爵谷干城君)

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲナスヲ要スル件(特追第五號所屬)

委員長副委員長左ノ適當選セラレタリ

砂防法案特別委員會

委員長伯爵大原重朝君

副委員長松岡康毅君

明治二十三年法律第五十號民事訴訟法施行條例中削除法律案特別委員會 委員長子爵鍋島直虎君 副委員長子爵本莊壽臣君 鐵道敷設法中改正法律案(衆議院提出案)特別委員會 委員長子爵曾我祐準君 副委員長子爵堀田正養君

○議長(公爵近衛篤曇君)是ヨリ午前ニ引續イテ會議ヲ開キマス

○子爵谷干城君通告ハ餘計ゴザイマスカ

○議長(公爵近衛篤曇君)贊成ガ二人反對ガ四人ゴザイマス

○子爵谷干城君私モ申上ゲテ置キマシタガ其中ニ載テ居リマス

○議長(公爵近衛篤曇君)其第一番ニ載テ居リマス

○子爵谷干城君議長

○議長(公爵近衛篤曇君)谷子爵

(子爵曾我祐準君)子爵谷干城君ト談話ス

○子爵谷干城君私ハ後ニシマス……議長

○子爵谷干城君曾我君……

○子爵谷干城君演壇ニ登ル

○子爵谷干城君諸君、此議案ニ於キマシテハ本員ハ全然ノ反對デアル抑

メテ居リマスノデ、加フルニ此品物或ハ糧食品デゴザイマス、糧食品ナドハ

即チ日清ノ戰役ノ例ニ依リマシテモ大部分ハ大阪デ調製が出來マスノデ是ハ

神戸ヘ船ヲ著ケテアソコカラ積卸ヲスルト申シマスト矢張大阪カラ神戸マデ

更ニ持ツテ行カナケレバナラスト云フ不便ガアリマス、大阪ナレバ直ニ物品

ヲ買集シ直ニ其物ガ船ニ積卸シガ出來ルト云フ便利ガゴザイマス

○子爵谷干城君演壇ニ登ル

○子爵谷干城君諸君、此議案ニ於キマシテハ本員ハ全然ノ反對デアル抑

メテ居リマスノデ、加フルニ此品物或ハ糧食品デゴザイマス、糧食品ナドハ

即チ日清ノ戰役ノ例ニ依リマシテモ大部分ハ大阪デ調製が出來マスノデ是ハ

神戸ヘ船ヲ著ケテアソコカラ積卸ヲスルト申シマスト矢張大阪カラ神戸マデ

更ニ持ツテ行カナケレバナラスト云フ不便ガアリマス、大阪ナレバ直ニ物品

ヲ買集シ直ニ其物ガ船ニ積卸シガ出來ルト云フ便利ガゴザイマス

○子爵谷干城君演壇ニ登ル

○子爵谷干城君諸君、此議案ニ於キマシテハ本員ハ全然ノ反對デアル抑

メテ居リマスノデ、加フルニ此品物或ハ糧食品デゴザイマス、糧食品ナドハ

即チ日清ノ戰役ノ例ニ依リマシテモ大部分ハ大阪デ調製が出來マスノデ是ハ

神戸ヘ船ヲ著ケテアソコカラ積卸ヲスルト申シマスト矢張大阪カラ神戸マデ

更ニ持ツテ行カナケレバナラスト云フ不便ガアリマス、大阪ナレバ直ニ物品

ヲ買集シ直ニ其物ガ船ニ積卸シガ出來ルト云フ便利ガゴザイマス

○子爵谷干城君演壇ニ登ル

スルガ宣イ、我ミノ考デハ大阪ナラバ出來ルト思フ、殊ニ此港が出來タ以上  
ハ鄰港ノ神戸ノ利益モ大阪へ吸取ル譯デアル、サウスレバ愈以テ是ハ自ラヤ  
ラネバナラヌ、神戸ノ利益ヲ吸取ルタメニ政府ガ之ヲ保護シテヤラスト云フ  
コトハ是ハ驚入ツタ話デ、委員會デモ申シタ通股ヲ裂イテ口ニ充ツルノ例ヘト  
同ジコトデアル、總テ斯ウ云フ商業上ノ必要カラ起ル所ノモフハ決シテ此北  
千島ノ果、南ハ沖繩ノ果マデノ人民ノ頭ヘ掛ッタ所ノ此辛イ稅ヲ以テ大阪  
ノ如キ金持ノ輜輶シテ居ル自由ナル所ヘ保護スルト云フ道理ハ萬々ナイ、況  
ヤ今日今申シタ通國家ハ金ガ澤山アルカト云フノニナイノデアルカラシテ皆  
借錢デヤツテ居ル、借錢ヲシテマデ大阪ノ金持ノ商業ヲ助ケテヤランナラヌ  
ト云フ國家ニ義務ハナイ、是ハ古イ論デ諸君ハ御笑ニモナリマセウガ所謂魯  
ノ孔丘ガ謂フ窮ニ周ウシテ富メルニ繼ガズ、大阪ハ誠ニ其富ンデ居ル所  
デアル、デ良シ之ヲ助ケベキトシタ所ガ斯ノ如キドコモ其金持ノ住マツテ居  
ル立派ノ所ヲソレヲ助ケルト云フノハ即チ富メルニ繼グト云フモノデアル、  
是モアリ餘ツタ金ナラバマダ宜シイガ今云フ通借錢ヲシテ殊ニ地方ノ人民ヘ  
ハ辛イ稅ヲ掛けテ居ル、又是カラシテドウ云フ形況デ稅モ増サネバナラヌト  
云フコトニナルワレニ貧乏ナ者ノ金ヲ絞上ゲテ多數富豪ノ占メテ居ル土地ヲ  
保護シテヤルト云フハ天下天下斯ウ云フ道理ハナイ、之ヲ助ケヤウト云フコ  
トハ何カソコニ怪シイコトガアルニ相違ナイ、ソレカラシテ大阪港ハ軍事ニ  
必要動ミトモスレバ今日ハ其軍事ヲ先鋒ニ使フ、軍事ト云ツチャ一抵抗ヲ得  
セヌカラ皆軍事ガ先鋒ニナル、又大阪ガ軍事ヲ先鋒ニ持出ス、今ノ軍事ノ當  
局者ハイザ知ラズ是カラ先キ段々進ンデ來タ所デハ我ミハ決シテ大阪カラシ  
テ軍隊ヲ積マウトハ思ハナイ、先ヅ古イ歴史カラ考ヘテ御覽ナサレ豊公ノ朝  
鮮征伐ヲシタトキハドコヘ持出シタ、即チ九州ノ名護屋ヘ持出シタデ軍事ノ  
大計畫ヲスルニハドコカ此靜ニシテ全體ノ戰時準備ト云フモノハ祕密ニ屬ス  
ルモノデアルカラシテハ成ルタケ遠ウガカリ得ル所デヤルガ宜シイ、船ノ出  
入カラ何カラ益密ニセネバナラヌ、サレバ今後ハ我ミハ斷ジテ宇品ガ宜イ  
ト思フ、ナゼ宇品ガ宜イカト云フト是ハ即チ吳ノ軍港ノ防禦線内ニ在テ決シ  
テ他國ノ船舶ノ出入スペキ所デナイン、詰リアスコヘ運送船モ何モ吸集シテ置  
イテアレデ十分ノ計畫ヲシテ置イテソレカラ押出スト云フコトニ必ズナルデ  
アラウト思フ、ソレカラシテ陸軍ノ當局者ノ云フ所ニ據レバ今日大阪ニ持ヘ  
ルト云フ所ノ商賣ノ港ヲ軍事ノ必要ト云フコトニツラ直ニ徵發シテカラニ  
之ヲ引上げテシマフコトガ出來ル斯ウ云フ説明デアル、是ハ無理ヲスルナラ  
バ出來ヌコトモナイカ知ラヌケレドモドウモ全クノ商賣港ト爲ッテ  
居ルモノヲソレヲ必要デアルカラト云フテ各國カラ來テ居ル所ノ商船ヲ追出  
シ又我沿岸カラ、碇泊シテ來テ居ル大和船ト云フモノハ夥シイモノデアルガ  
是モ驅逐シテシマフテサウシテ陸軍用ノ運送船ヲアレヘ引込マウト云フノハ  
唯言フベクシテ決シテ行フベカラザルコトデアル、言フベクシテ行フベカラ  
ザル事柄ヲ看板ニ掛け此議案ヲ通過サ、ウト云フコトハ是又我ミノ甚ダ怪  
ム所デアル、併シ陸軍ノ當局者ノ代表シテ言ハル、所ニ據レバ下ノ關モ未ダ十  
分ニ決シテ輸出港ヲ拒絶シテシマフト云フコトニ極シテハ居ラナイ、斯ウ云  
アヤウナ話デアル、成ル程サウ云フ御考ナラバ我ミト考ノ違フノモ尤ナ  
話デアル、抑々下ノ關ト云フ所ハドウ云フ所デアルカラト云ヘバ露西亞デ云ヘ  
バコーンすたつど或ハ土耳其ノだるだねる、ぼすぼらす又志ぶらるたるト云

フヤウナ實ニ必要ナル所デアル、其必要ナ防禦線内デ外國ノ船ヲ入レテ商賣  
ヲシヤウト云フヤウナ考ヲ持テ居ラル、ナラバ或ハ大阪ノコトモサウ云フ  
考テ居ラル、カモ知レナイ、ドウモ甲冑ヲ著テ商賣ヲスルト云フヤウナ餘程  
オカシイ論デ下ノ關ナドト云フモノハアレデ商賣ヲ許スヤウニナレバ丁度  
ろんすたつどノ臺場ノ下デ交易ヲスルモ同ジコトデアル、ドウモサウ云フ當  
局者ノ御論デハ我ニ到底是ハ軍事ノコトニ附イテハマル反對ニナルカラシテ  
議論ガ出來ナイ、併シマーサウ云フヤウナコトデ陸軍ガ贊成ニナッテ陸軍ガ  
即チ看板ニナッテ居ル、實ニ是ハ薄弱ナル考ト思フ、今申ス通此港ト云フモノ  
ハ船ノ即チ泊ル所ノ宿デアル、萬里ノ波濤ヲ隔テ、商賣ニ來テ居ル者ガ其  
國ト戰争デモ起シタナラバ免モ角モ掛ケモ構ハヌ戰爭ガ起シタ、ソレガタメニ  
スルノデアル、ソレデ商賣港ノ傍ニ必要ガアレバ露西亞ノをでつさ如キ一方デ  
ハ商賣ヲスル一方デハ軍港ヲチャント計畫ヲシテ拵ヘテアルドウモ昔ノ町人  
此商賣港ノ船ヲ皆逐出シテシマフナドト云フコトハ到底是ハ出來ナイ話、ソ  
レガタメニ此何レノ國デモ軍港ト云フモノヲ拵ヘテ出師準備ハ大抵軍港カラ  
テ居ル所ノ要スルニ大阪ノ築港ハ國家ノ利益ニナル、之ガタメニ即チ國中ニ賣  
ダケノ力デヤルナラバ是又結構ナコト感心ナコト、言ハナケレバナラヌケ  
ト士トチヤンポンニヤラウト云フヤウナコトハ今日ハムヅカシイ、ソレカラ  
シテ最モ此必要々々ト言ハル、點ハアスコヘ出來タナラバ費用ガ減シル、大  
變運搬ノ費用ガ減ズルカラ品ガ安ウナルト斯ウ云フコトデアリマスガソレハ  
安ウナリモシマセウ、併ナガラ僅ニ此神戸ノ間ノ哩數ト云フモノハ分り切ッ  
タ哩數デアル、又日本船ヲ以テ大抵是マデ送ツテ居ル所デモカツヽ事ハ足リ  
チ水道ノ如キモノ、水ノ改良又ハ各地ノ水害ノ如キモノスウ云フコトハ所謂  
同胞相憐ムノ狀デ一地方ニ水害ガアツタナラバ國中共ニ是ハ稅ヲ以テカラニ  
ヲ以テスルト云フコトハ誠ニ道理ニ適フタ事柄デアル、サウ云フモノデアル  
カラ之ヲ要スルニ大阪ノ築港ハ國家ノ利益ニナル、之ガタメニ即チ國中ニ賣  
ダケノ所ノ物ガ安クナルト云フハ單ニ此大阪ノ利益ヲ保護スルノ口實ニ止マル  
譯デアル、ソコデ此傍ラニドウカト云ヘバ神戸ト云フ立派ナ開港場ガアル是  
ハ或論者モ言ハレタ通東ニ横濱西ニ神戸實ニ御一新ノ始ヨリ嚴然ト立ッテ居  
ル所ノ港デアルカラシテ此不完全ナル所ヲ救フト云フハアリ餘ル金ガアレ  
或ハ是ハ國ト國トノ交際上亦幾分カ補助スルコトモ敢テ非トセヌ、ソレト雖  
モ今日ノ國家ノ財政ノ上カラ云フテハ我ニ神戸ト雖モ然ルベカラズト云フ考  
デアル、況ヤ大阪ニ於テヲヤ、ソレカラシテ淀川ヲ改築シタナラバ底カラ上  
ゲタ土モ出來ルシ又淀川ヲ改築シタナラバ即チ大阪ニ新ニ港ヲ拵ヘタ所ガ決  
シテ其砂ノ埋マルヤウナ憂ハナイ餘程鞏固ニ出來ルト云フヤウナ說モ聽イタ  
ヤウデアルガ是レ又本員ノ敢テ信ジナイコトデアル、總テ此淀川ノ改築ト云  
フコトニ我ニハ信ヲ措カナイ、ソレデ歐羅巴アタリノ河ト違シテ日本ノ河ト  
云フモノハ御承知ノ通即チ國ノ骨即チ山、其山ノ間カラシテ注ギ出ル河デ殊  
ニ距離ハ近シ非常ニ速力モ強イ、ソレ故ニモウ其平生ノ水勢ト洪水ノ時トハ  
誠ニ驚ク程ノ勢デアルト云フコトハ諸君ノ御承知ノ事柄デアル、又其淀川ト  
云フ河ニシマシテモ何千年來チャント道ニナッテ來テ居ル河デアル、假令ソ  
レヲ土ノ方ヲ真直クニ蓄ブタ所ガ下ハ依然トシテ河千年來水ノ歩行イタ所ノ

道ニナシテ來テ居ル、ソレデ非常ナ洪水ガ來タトキニハ必ズモトノ道ノ通ニ行クノデアル、ソレデ是等ノ所カラ考ヘテ見マシテモ矢張大阪ノ港ハ行々次第次第埋テ來ルニ相違ナイ、卽チ政府委員モ若シ埋タトキニハ之ヲ先ニ突出ス、斯ウ御論デアツタ段と突出シテ海ヲ向フヘ追出スト云フヤウナ理窟ニナル是ハ自然ノ數ダラウト思フ、ソレ故ニ我ミハアレヘ拵ヘタ所ガ拵ヘテモ直グニ埋ツテ來ルヤウニナル是モ不同意ノ一箇條デアルケレドモソレハ人民ガソレナラバ兔モ角モ勝手ニ先ヅヤツテ見ルガ宜イ、ケレドモ前ニ述ベマシタル通一地方ノ經濟ハ一方ノ者ガ持タネバナラヌ、唯大阪ガ大都府デアル、サウ云フコトデカラニ決シテ保護スベキモノデナイ、ソレデ若シ大阪ニシテ眞正ニヤル積ナレバ大阪ノ金持ガヤレバ出來ヌト云フ道理ハナイ、彼處ヘソレダケノモノヲ拵ヘタラ其地方ニ在ル所ノ大阪ノ金持ノ持ツテ居ル田地ト云フモノハ夥シイ價ニナシテ來ル、サウ云フ方ノ利益ヲ見積シテ大阪ノ豪商ガ連合シテヤツタレバ豪商ノ力デ、數人ノ力デモ或ハ出來ルカモ知レヌト思フ、ソレヲ何ゾヤ此窮迫ナル國庫ノ中カラシテ六百万圓モ金ヲ出スト云フコトハ實ニ驚キ入ツタコトデアル、ドウ云フ考デ思ヒ附イタカ、我ミハ一向分ラヌ、デ詰リ種々ノソノ何トカカントカ理窟ヲ附ケラレルノハホンノロ實ニ止シテ大體ニ於テ考ヘテ御覽ナサレ、決シテソノ補助スル道理モナシ又補助スル必要モナイ、之ヲ補助スルト云フコトニナシテ來レバ他ニ補助スルコトガ澤山アル、ソレガ段々出来マスガ、ソレハ御承知カ、ソレデ衆議院ハ色ミノ事情モアリマセウ、サウ云フコトカラシテ斯ウ云フ不都合ナ議案モ成立ツデアラウガ貴族院ハ決シテサウ云フ事情ノアル道理ガナイ、殊ニ四千万人ノ頭ヲ張ツタモノ金ヲ以テカラニ富豪第一ノ土地タル大阪ノ商人ノ利益ヲ保護シテヤルト云フヤウナ事柄ハ貴族院諸君ノ爲スニ忍ビザルコト、又爲スベカラザルコトト本員ハ深ク信ズル、金ガアリ餘シテ仕様ガナイトキハ兔モ角モデアルケレドモ、始終是ハ借シテ來テ是カラ先キ我が財政ハドウナルカト實ニ心配ニ堪ヘヌ所デアル、我ミ深ク信ズル、衆議院トハ違シテ本院ニ於テハ必ズ此ヤウナ不都合千萬ナ其議案ハ忽チニ排斥セザルベカラザルコト、思フ、ドウゾ諸君御同意ニナシテ此ノ如キ議案ハ門前拂ニナルコトヲ希望致シマス

○兒島惟謙君 諸君、私ハ此原案ニ贊成ヲ致シマス、一人デアリマス、今谷君  
ガ此案ニ就イテ反対ノ御演説ガアリマシタ、ソレニ就イテ聊カ私ノ贊成ヲ致  
シマス、理由ヲ申述ベント欲シマス、暫時御清聽ヲ煩シマス、唯今谷君ノ反対ノ  
御演説ハ段々アレ是ト御述ベニナシタナンデアリマスガ、ヤア柄木ノ縣下ノ  
鑛毒ノコト、或ハ臺灣ノ處分ニ就イテ金ガ要ルノ或ハ何ニ就イテドウト、斯  
ウ色ニ御述べニナリマシタガ、皆此本案ニハ少シモ關係ノナイコトデアル、  
柄木縣下ノ如キ鑛毒ヤ何カアルナラバ是以テ政府デ爲スペキコトナレバ勿論  
助ケテヤラナケレバナラヌ、又臺灣ノ如キ其他ノコトニ就イテ金ガ要ルナラ  
バソレハ政府ノ爲スペキコトナレバシテヤラナケレバナラヌコトハ知レタコ  
トデアル、何ゾ大阪ノ築港ノコトニハ少シモ關係ノナイコト、思フ、詰ル所  
谷君ノ反対ノ御演説ト云フモノハ大阪ト云フ所ハ富豪ノ多イ所デアル、此國  
家多端ノ際ニ方々テ其富豪ノ多イ所ニ何モ補助スルコトハナイ、シテ宜イナ  
ラバ即チ其富豪ノ者皆寄シテ彼地ノ者ガスルガ宜イ、詰リ此築港ト云フコトハ

誠ニ私ハ國家ノ美事ト思フ、然ルニ谷君ノ先刻以來ノ御演説ノ端ミチヨイ  
チヨイト残ル言葉ヲ私ハ耳ニシテ居リマスガ、此ノ如キ金ノアル大阪ニ國家  
多端ノ時ニ政府カラシテスル所以ハ是ニハ何カ仔細ガアルダラウ、又之ニ同  
意スル諸君ハ何カ疑ハシイスウ云フ言葉ガ残ツタヤウニ私ハ耳ニシテ居ル、  
是ハアナタ方ノヤウナ何ナラサウ云フ不潔ナ御積ガアルガ知レマセヌガ満場  
ノ諸君ハソンナコトハ決シテアルマイト思フ……

〔子爵曾我祐準君「アル、アル、大アリ」ト述ヘ子爵谷干城君「アル、アル」  
ト述フ〕

況ヤ政府ニ於テオヤ、アルナラドウカソレヲ擧ゲテ貴ヒタイト思フ……

〔夫ガ困ルノデス」其辯護ハ止メタ方ガ宣イ」「大阪ノ金持ニ賴マレタ  
人ガアル」ト述フル者アリ〕

……ソレハアルデセウ、宜イコトナラ賴マレテ受ルガ宜イ、惡イコトナラ退  
ケルガ男子ノ道デアル……

〔子爵曾我祐準君「世ノ中ハ聖人君子バカリデアルカラ大丈夫デゴザイ  
マス」ト述ヘ又「感服シテ居リマス」ト述フル者アリ〕

……モウ長イコトハナイ、長クナルト御倦キガ來ルニ依ツテ止メマス、又ア  
トニ追ミ反対者ノ通告モアリマスシ餘程長ウナリマスカラ私ハ此位デ止メテ  
置イテモ宜ウゴザイマス、ソコデ今前々申上ゲル通アレ此レノ得失ガアル、  
ソコデ先刻谷サンガ御演説中ニ神戸が現在傍ニアルモノノラ大阪テ持ツテ行ッ  
テ此ノ如クスルモノハ股ノ肉ヲ取ツテ食フヤウナモノデアルト仰セラレタガ、  
是ハ成ル程神戸ト大阪ハ大ニ違ツタ土地アリマスカラ、ソレデ神戸モ私ハ  
スルノハ惡イト言ハナイ、神戸モスベキ理ガアレバスルガ宜シイ、況ヤ政府  
委員ヨリ先刻演説ニナリマシタ通今神戸ハ設計中デアル今取調中デアルト云  
フ、他日セニヤナラヌ時ガ來レバ勿論スル積……神戸モスルガ宜イ、又谷君  
ノ御郷國ノ土佐國ノ港ナドモ風ガ荒イカラ彼處ヲモ出來ルナラバ政府ガ補助  
シテヤルガ宜シイ、ソコハドウジ御安心ナスフテ御贊成アランコトヲ希望シ  
マス、最早是キリニシテ置キマスカラドウゾ諸君御贊成ヲ希望致シマス  
〔久保田譲君演壇ニ登ル〕

○久保田譲君 私ハ此問題ニ附イテハ絶對的ニ反対デハナイ、大阪ニ港ノ出  
來ルコトハ無論必要ノコトデアル、併ナガラ私ハ此政府案ニハ方法ガ宜クナ  
イカラ反対ヲスル、モウ少シ能ク取調ヲシテサウシテ御出シニナラ宜シカ  
ラウ、サウシタラ喜ンデ贊成スル、詰リ一年延バスト云フコトニナル其コトハ  
二箇條アル、一ハ政府ノ取調ハ未タ十分行居イテ居ラヌト思フノト今一つ  
ハ補助ノ方法ガ宜シクナイ、此二點ニ歸スル、ソレデモウ唯今マデ色ミ御話  
ノアブタコトニ附イテハ一言モ云ハナイ、成ルベク避ケテ云ハナイ積デアリマ  
ス、ソレデ先刻政府委員モ述ベラレマシタヤウニ神戸港ノ築港ノコトモ夫々  
取調ニ著手シテ居ルト云フコトデアル、ソレカラ人民ニ於テモ神戸港ニ於テ  
追ミ調査致シテ居ル盛ニ調査致シテ居ルノデアル、ソレデ此神戸築港ヲ主張  
スル者ノ考ハ甚ダ規模ノ大ナル考ヲ以テ觀察ヲ致シテ居ルヤウデアル、丁度  
此大阪ヲ中央トシテ南ハ堺西ハ神戸ニ至ル攝津灣一帶ノ地ヲ以テ考ヘテ居  
ルヤウデアル、此地ハ即チ中央ノ要地デアル、西ノ方貿易上商業上必要ノ地  
デアル、サウ云フ觀察ヲ以テ大ナル考ヲ以テサウシテ將來此港ト云フモノニ  
附イテ考ヲ極メナケレバナラヌト云フ規模ノヤウデアル、ソレハ甚ダ宜イ考

ト思ツテ居ル、政府ハ此築港ト云フモノハ唯今兒島君モ云ハレル通十數年來  
汲々トシテ考ヘテ居ル、如何セン大阪ハ大阪ノ商業地ダケヲ見テ居シテ廣ク  
考ヘテ居ナイ、サウ云フコトデアルカラ或ハ御手落が出來ルノデアル、其實  
例ハ諸君モ御承知デアリマセウ、横濱築港ハ如何ニアリマシタマダ僅カ二三  
年前ニ出來上リマシタガ併ナガラ今日ハ殆ド其用ヲ爲シテ居ラヌ、即チ計畫  
規模ノ小ナルガタメ却テ港ヲ築カレテ甚ダ因テ居ルト云フコトデアル、出來  
タ計リデアルノニ其通デアル故ニ今度新ニ大阪築港ノ計畫ヲスルナラ願クハ  
國家百年ノコトデアリマスカラ宜シク其大イナル考ヲ持テ十分ニ研究ヲサレ  
タイ、之ガ即チ一ノ私ガ一年延バシタイトト云フ所ノ理由デアリマス、ソレカラ  
今一ツハ補助ノ方法ト云フコトデアリマス是ハ甚ダ弊害ノアル方法デアル、  
ソレハ先刻モ申シ述ベタ通ニ會計法ノ精神ニ悖シテ居ル、即チ品物ヲ以テ金  
ニ引繼イテサウシテ補助ヲスルト云フ方法デアル、是ハ其未ダ曾テ政府ノ補  
助ノ方法トシテナイ方法デアル、若シ斯様ナコトガ續々行レマシタラバ我  
邦ノ會計法ト云フモノハモウ原則ヲ亂シテシマツテ會計ノコトハ甚ダ紊亂ス  
ル、從ツテ非常ノ弊害ヲ及スノデアリマス、古市政府委員ハ之ヲ説明シテ  
故ニ斯様ナコトガ必要デアルカト云フ問ヒニ答テ曰ク、是ハ政府デ賣ルヨリ  
モ大阪デ賣ツタ方が割合ニ高ク賣レル、ソレ故ニ斯ノ如キ方法ヲ執ツタノデ  
アルト云フコトデ是ハ皆大阪ノ商人ガ政府ニ申立ツタ言葉デアル、成ル程  
大阪ノ方カラ申シタナラバ此地面ヲ取ル方が餘程利益デアル、先刻政府ノ答  
ニ一坪平均十圓デアル、是ハ我ミガ開ク所ニ據ルトナカク十圓所テハナイ、  
若シ此港が出來タ既ニハ非常ナ價ニナル、之ヲ若シ深ク立入ツテ申スト世  
間デハ大阪ハ補助ヲ受ケルノデハナイ之ガタメニ金ヲ儲ケル、此地面ガ港ノ  
出来タ既ニ非常ナ價ニ爲ツタナラ政府ノ補助所デハナイ、大阪ハ大變金ヲ儲  
ケル、斯ウ云フコトヲ申シテ居ル、ソレハ果シテ事實デアルヤナシヤ本員ハ  
存ジマセヌ、決シテソシナコトハナイカモ知レヌ、併ナガラ是ハ何故ニ會計  
法ト云フモノニ據ツテ公ケノ入札ヲヤラナイノデアルカ、公ノ入札ニ據ツテ  
ドンくは賣上ゲルガ宜イ、サウシテ補助ヲスル途ハ途デ金ヲ以テ補助ヲ  
スルガ宜イ、何ヲ苦シデ斯様ナコトヲスルカ、甚ダ其處ニドウモ疑ヒヲ抱カ  
ナケレバナラヌ、ドウカ政府ガ斯様ナ不都合ナコトハ止メテ私ハ補助ヲスル  
ナラバ絶對的ニ反対スルノデハナイ、來年マデ能ク御考ニナリ宜シキ方法ニ  
據ツテ正シキ方法ニ據ツテ補助ヲナサルガ宜イ、ソレ故ニ本員ハ延期ヲスルト  
云フ精神ヲ以テ之ニ反対スルノデアル  
○議長(公爵近衛篤爵君) 松岡康毅君  
(松岡康毅君演壇ニ登ル)  
○松岡康毅君 諸君、本員ハ此原案ニ徹頭徹尾贊成ノ説ヲ抱イテ居ルノデ  
ゴザイマス  
〔久保田譲君頼マレタデセウ」ト述フ〕  
是ハ私ハ賴マレルヨリカ有體ニ申スト此經畫ハ殆ド私ガシタ位ノコトモアル  
ノデゴザイマス、サウスルト大變御感シガ惡ルイカ知レマセヌガ……  
〔子爵曾我祐準君「松岡君ハイツ工學士ニナリマシタ」ト述フ〕  
トヲ一應申述マシテソレカラ自分ノ考モ尙ホ少シ申シ述ベタイト存ジマス、  
此反対ニハ色ミ御説ガアリマス、第一番ニ谷子爵ノ御説ハ元來一地方ノ港デ、

地方ノコトハ地方デ自ラヤルガ宜イ、政府カラスルニ及ハヌ、四千万ノ膏血ヲ絞ッテ大阪ノ金持ヲ助ケテヤルニ及バヌ、是ガ一番ドウモ御議論ノ骨子ノヤウニ認メマシタガ、本員ノ見ル所デハ強チ大阪ト云フモノハ一地方ノ港灣ニ止ラヌ、日本全國ノ商業ノ中心トナツテ東西集散ノ是ハ焼點アル、ソレデ各見ル所ニ據ッテ人ハソレゾレ説ノ違フノハ已ムヲ得マセヌガ、先達ッテ新聞ノ上ニモ見マシタ、大隈伯ガ大阪ヲ通過シタ時分ニ是ハ補助ヲ請願ノ何ノト云フコトハナイ、政府ガ爲スベキモノノデアルカラ大隈ノ市民ハ政府ニネダツテ行ク権利ガアルト云フコトヲ言ハレタト云フ新聞ガアリマスケレドモ、是ハ大隈伯ノ見マシタ所デ、谷子爵ノ見ル所デハ一地方ノコトデアルカラ何モ構フニハ及バヌ、併シ北海道ハ是ハ別段デアルト云フ御取除ガアリマシタガ……

〔子爵谷平城君〕北海道モ臺灣モ特別デ貧乏ナ所ハドウシテモ仕方ガナ

〔イ〕ト述フ  
ソコデ此大阪ノ如キハ全國ノ中心デ今申ス通物貨集散ノ燒點ニモナル位ノコトデゴザイマス、實ニ日本ノ商業ニモ工業ニモ關係ヲ以テ其處ノ便否ト云フモノガ全國ヘ物價ノ高低ニモ關係ヲスル位ノモノデゴザイマス、併ナガラ幾ラカ谷君ノ御説ニ地方ハ地方デスルベキモノダト云フコトハ私共モ御同感デアル、ソコデ又ル、政府ニシテ貰ハウ、請願ヲシヤウト云フコトニ至ッテハ本員ナドモ反對ヲ致シマスケレドモ、大阪ヘハ先づ此デ豫算デ見マシテモ三分ノ二以上ト云フモノハ大阪ガ負擔ヲスルノデゴザイマス、デ九千八百万圓デ、ソレカラ其償却ヲシテ行カウト云フ工事中ノ市公債ノ利息ヲ合セマスト一千百幾ラト云フコトニナル、其所ヘ對シテ六百六十万程ノ補助ヲ遣ル、ソレハ三分ノ一程ノ先づ比例デゴザイマス、是ハ珍シイコトデハナイ、既ニ函館ノ築港ニ就イテモ凡ソ三分ノ一ノ補助ト云フモノが出来居リマス、又長崎ニセ……

〔子爵谷平城君〕函館ト大阪ト貧富ハ如何〔ト述〕  
ソコデゴザイマス、アレハ貧乏デアルカラ助ケル、金持デアルカラ一切助ケナイト云フ政府ノ今マデノ補助ノ比例ヲ見マシテモ、サウ云フ片寄ッタモノニナツテ居ナイ、矢張公衆ノ利益ト云フモノトドウ云フ關係ヲ持ッテ居ルト云フノガ主意デゴザイマス、ソコデ愛知縣ニ宮ノ近傍ニ築港ヲ致ス、是モ何デモ百万圓近クノ築港ヲスル、ケレドモ是ナドハ外國ノ船ガ餘リ多ク出入リスル譯デモナク、又内國ノ船ト雖モアノ土地ハ開港場ノヤウニ廣イモノデハナイノデゴザリマスカラ此補助ト云フモノハ拒絕ヲシテシマタノデアリマス

〔運動ガ足リナカツタラウナ〕ト述フル者アリ)  
ソコデアナタ方ハ運動ガ利クカハ知ラヌケレドモ政府ハサウ云フコトハ眞逆アルマイト思フ、ソコデ先づ免モ角モ大阪ト云フモノ、港灣ハ決シテ一地方ト云フノニ限ッテシマフハ宜シクナイト云フコトヲ御了解下サルト早イノデゴザイマス、サウカト申シマシテマルマル之ヲ國カラ爲スベキ義務モアルト云フコトデハナイ、是ガ先づ第一番ニ谷君ノ御説ニ對シテ申シ上ゲマス、實ニ必要ト云フコトハ最早申スマデモアリマセヌ、工業ハ日本デ第一番ニ發達シテ居リマス、煙突ノ數デモ凡ソ千位ハアリマスル……

〔分ッタ〕ト呼フ者アリ)

神戸ノ港ガアル、神戸ノ港デ揚ゲ卸シヲスレバ大阪ノ築港ハ不用デアルト云フ御説ガアリマスガ、是モイカスト云フコトハ昨年水害ガアツタ時分ノ實況ヲ御承知ニナツタ御方モゴザイマセウ大阪ノ川口ガ土沙デ埋レマスト出入ノ貨物ヲ取ルコトガ出來マセヌ、ソコデ外カラ來ルモノハ據ナク神戸カラ揚ゲテ大阪ヘ引取ラウ、其中ニ丁度鐵道ノ損ジタコトモアリマス、ソレカラ色ニシテ直ニ大阪ヘ來ルベキ物ヲ神戸ヘ揚ゲサウシテ大阪ヘ引込ムマデニハ最遠方カラ來ル運賃ト神戸ヘ揚ゲテ大阪マデ取ッテ來ンナラヌト云フ其間ニ要スル費用ト殆ト似ダヤウナモノニナツタ云フ實話モアルノデゴザイマス、ソレ故ニ神戸ニ港ガアルカラ大阪ノ大都府ハ神戸ノ港一ツヲ賴ミマシタラ宜カラウト云フコトハ是ハ如何ニモ氣ノ長過ギタ話デ、草鞋ヲ穿イテ東海道ヲ歩イタ時ノヤウナ考デアズテ、今日ノ商業ハ中々左様ナ遲鈍ナコトヲシテ居カトスウ云フ有力ナ御質問……御詰問ノヤウナコトモアリマシタガ是ガデス、一地方モノカ天下ノ者カト云フコトガ要用ニナツテ來ル、大阪ハ如何デアルカト申セバ御承知ノ通此事ノ起リテヨリ以來久シイコト、即チ前ニ兒島君ガノ彼ノ歴史ヲ述ベラレマシタ如クニ久シイ間届セズ撓マズシテサウシテ今日ニ至ッテ此千何百万圓ト云フ所ノ大數ノ金ヲ引受ケテサウシテ遣ッテ行カウト云フ此熱心ト數年ノ勇氣ト云フモノヲ以テソコデ此補助ト云フモノデ成立ツ、東京ニ於テハ調査委員ヲ設クト云フコトサヘモ此間何カ新聞ニ見エマシタガ、ソレモ成立タナカツタ云フ位、是ハ決シテ全國中ノ港灣ト云フモノガ同ジ熱心テ同シ調査設計デ成立ッテ始テ手ヲ下サナケレバナラムト云フコトハナイ、能ク順序ガ立チ設計ガ整ウテ見込ガアルナラバツコカラ遣ッテ行クガ宜シイ、必ズ東京ガスルマデ待ッテ居ルト云フコトニナツタライソノコトカ今カラ期スルコトハ出來マセヌ、ソレカラ此尙ホ又經畫ノ事ニ附キマシテ段々世間ニモ御論モ……說モゴザイマスルシ久保田君カラデゴザイマシテカ抑々規模ガ小サイ斯ウ云フ……久保田君ノ規模ノ大キナコトニハ驚キマスガ久保田君ノ御議論ニスルト何カ神戸ノ何カカラ私モ受取ツタカト思ヒマスガ頓トアノ邊カラ堺ノ邊マテ攝河泉ヲ一ツノ町ニスルヤウナ案デゴザイマシテ是ハ大キ過ギル、左程ニ大キクシマセヌデモ唯今ノ經畫ニ於テ已ニ直ニ御隣席ノ磯邊君デアツカドナタカハ却テ大キ過ギルト云フ御説ガアツタ、八ツどくヲ持ルニ今ニツデ六万噸ノモノヲ持ヘル、アトノ六ツハシナイ、サウスレバ外回リヲ縮メテ置クト云フ御説ガアツタ、然ルニ片一方デハ規模ガ小サイカラ大キクシテ西ハ一ノ谷カラシテズット回ツテ泉州カラ殆ト紀州ノ境マデ遣レト云フノハ是ハ餘リ大キ過ギル、ソレハ急ニ行カヌ、サウナレバ結構デス、併ナガラワレガ一ツノ市街ヲ成スト云フ位マデニ彼地ガ繁華ニナルナレバソレハ矢張船ノ著ク所ハ一箇所デハイカヌ、矢張二ツモ三ツモ要ルカモ知レマセヌ、サウナツタレバ今日デモ一ツデハイケナインデスカラ之ヲ小サイト云フ御説ハドウモ餘リ大キ過ギル、又大キ過ギルト云フ御説モアリマシタガワレハ政府委員ガ辯ジマシタ如ク外ノ波除ヲソソナニ縮メテ小サ

クシテ置ク譯ニハイカヌ、必ズ船渠ヲ爲スベキ餘地ヲ殘シテ置クト云アノデ

アリマスカラ今ノ設計ニ於テハ成ル程批難スペキコトハナカラヴ、ソレカド

尙ホ沙デ埋ツテシマフ長ク持ツモノデハナイ、斯ウ云フ御説ガゴザイマシタ

又既ニ昨日私ノ受取ツタ何ニモ大阪ノ古イ圖面ヲ始テ貰ヒマシタ珍ラシイモ

ノヲ貰ヒマシタ、其所デハ唯今ノ大阪ナドバ餘程三百年前ニハ川ガ多クツテ

地面ガ少イ所ノ圖ガ見エル、成ル程三百年立チマシタナラバ此設計モ大ニ變

更シテ來ル譯デアリマセウ、殆ド陸地バカリニナツテシマフカモ知レマセス

ケレドモ彼ノ大阪ノ市街カラ天保山近傍ニ對シテノ川ノ左右ニ在ル新田地ノ

成立ツタ所ノ年代ト云フモノハ大抵皆サン御承知アリマセウガ中ミ一ツノ

新田ト云フモノガ二十年ヤ三十年デサウドンノ張出シテ來テハ居ラヌノデ

ゴザイマス、ソコデ先ヅ之ヲ短ク極早ク突堤ノ口マデモ新街地ニナル……新

田ニナルデアラウト云フコトヲ短ク積リマシテモ百年以上ハ掛カル、ソレデ

アリマスカラ是ハ今カラ此追ニ總テノ事業ガ發達シテ來テ、サウンテ百年モ

後ニナリマスレバモウチツト今拵ヘルヤウナ組末ナノデナクシテドンナ結構

ニナルカモ知レス、ドウゾサウナリタイ、凡ソ今カラ百年モ此港ガ用ヲ爲セ

バ十分デアル、ソレヨリ二十年ヤ三十年デ船ノ出入ノ出來ヌヤウニ土砂デ埋

マルコトハナカラウト云フノハ是ハ私ガ云フノデハナイ技術家ガ十分調査シ

タ上デ申スノデアリマスカラ、技術ノコトニナリマシテハ素人ガ彼是申シテ

モ致シ方ガナインデゴザイマス、ソコデ是ハドウ云フコトアタクカト申セ

バ御承知デモゴザイマセウ政府ニ雇フテアル技術師、土木ノ方ノ技師、外國

人、是ガ大阪ノ方ノ囑託ニ依シテ歲月ヲ費シテ能ク調査ヲ致シマシタ、所ガ

此一人ノ外國人位デハ當ニナラヌト云フコトモ多ク今マデモ既ニ横濱ノ築

港ニモ前轍ノアルコトデゴザイマスカラ、ソコデ大學ヲ始メ各省ノ内ノ技術

家其他皆關係ノアル所ノ委員ト云フモノヲ召集セラテソコデ十分ノ調査ヲ遂

ゲマシタ、所ガ多少其元ノ設計ニ對シテ修正ノ意見等モ加ヘマシタ、又陸海

軍ノ方ノ必要カラシテ詰リ千四百何十万圓ト云フ要求ノ所ヘ規模ヲ大キク致

シマシタ、其他修正ヲ加ヘルガタメニ千八百何十万ト云フモノユナツタノデ

アリマス、此大阪市民ノ希望スル設計ハ元ト千四百何十万圓ニアリマシタ、

是ガ陸海軍ノ必要ダメ又外ノ技術ノ修正等ノタメニ是ガ增額シタノデアリマ

ス、所ガ谷子爵ハ何カト云ヘバ此陸海軍ナドコトヲ擣キ出シテドウスウト

云フ御論ガアリマス、且ツ古イカハ知リマセヌガ豊公ガ兵ヲ出サレタノハ名

護屋ヨリ云ケト云フヤウナ御主意ノコトヲ承ッタヤウデゴザイマスガ此戰術

ノコトニ至リマシテハ本員ナドハ素人デ何レガ本當ヤラ何レガ良イヤラ分リ

マセヌガ併シ素人ナリノ考ニ依リマシテモ豐公ノ朝鮮征伐ヲレマシタ時分ユ

ハ船ト申シマシテモ御承知ノ通ニ帆前ノ小サイ船ヨリ外ニナイ、又戰ニシテ

モ向フノ土地ニ五日モ七日モ坐リ込シテ殆ド屯田ノヤウナ有様デヤツタラウ

(「簡單ト呼フ者アリ」)

總テノ事柄ガ今日トハ違フ、ソコハ谷君ノ如キ戰ノ名人人ナ御方が仰シヤルコトハ宜シイガ併シ本員ノ見ル所デハ前ノ時分ニ戰ヲシタ人ヨリ新シイ戰ヲシタ人ノ方ガ宜インダラウト思ヒマス、是ハ矢張戰ノタメニ六万噸ノ船ガ二十

幾艘、二千噸三千噸ノ船ガ二十幾艘一時ニ積卸ガ出來ルトスウ云フコトニナ

ルト

(子爵谷干城君「實際行ヘヌ話ダ」ト述フ)

〔子爵曾我祐準君「モウ宜イ、分クタ」ト述フ〕  
〔子爵曾我祐準君「モウ宜イ、分クタ」ト述フ〕

居ル、右ノ如キ例ガアルカ無イカト云ヘバ 東京ニ例ガアル議會ノ協賛ヲ經テ……

……疑フベキコトハナイ  
〔子爵曾我祐準君「モウ宜カラウ」ト述〕

〔男爵船越備君「モウ宜イ」ト述〕

〔村田保君「澤山アトニ支ヘテ居リマスカラ……」ト述〕

〔三浦安君「ドウゾ十分ニ盡スコトヲ希望致シマス」ト述〕

〔贊成致シマス「ト述フル者アリ」〕

〔贊成致シマス「ト述」〕

併シ大事ノ問題デ、餘り長イト折角ノ贊成ヲ失テハ困リマス、ソレデマダ申スコトハ幾ラモアリマス、色ニ非難スル所モアリマスガ、餘り長イト折角贊成ノ人マデ退屈シテ逃ゲルト云フ不利益ガアリマスカラ……、併シ此ニ申述ベタイコトガアル、ト云フハ大阪ノ築港ト云フモノニ對シテ神戸ノ築港ノ方デ餘程ノ運動ガアル、ソレハアナタ方家ニモ私ノ家ヘモ運動ノ人モ來テ居ルシ書面モ來テ居ルガ、是ハ少シ了簡違ヒラシテ居ルコト、思ヒマス、大阪ノ築港が出來タカラ神戸ノ築港ハ決シテ許サヌト云フコトニ事實ガ定シテシマフナラ無理ハナイケレドモ、規模ノ大ナル論者カラシテ見レバ大阪ノ築港が益盛ニナツテ來レバ神戸ハ西ニ這入り大阪ハ中ノ方ニ、ソレカラ南ノ方ニモ出來テ……

〔子爵谷干城君「皆ヤルガ宜カラウ」ト述〕

ソヨデ免モ角モ先刻申シマシタヤウニ全國ノ百貨輻輳シテ集散スル所ニ、十何哩隔ツテ居ル神戸ノ港デ出來スト云フハ不便利千萬デ、商業工業總テ發達サセルト云フノデ現在航海ノ船ニハ獎勵ノ補助ガシテアル位デアルカラ此方ニモ設備ガ出來テ宜イト云フコトハ言フマデモナイ、マダ澤山アリマスガ長タナリマスカラ……飽クマデモ私ハ贊成ト云フ意志ヲ明ニシマス、諸君モドウ御贊成下ラヤウニ……

〔久保田讓君「チヨウト質問ガアリマス」ト述〕

〔子爵曾我祐準君「發言ノ許可ヲ求ム」〕

○議長(公爵近衛篤齊君) 質問デスカ

〔久保田讓君「ヤメマス」ト述〕

○子爵曾我祐準君 チヨウト唯今演壇ニ出マスル前ニ一箇條政府委員ニ伺ヒタコトガアリマス、此説明書ニ據ルト三十年度ヨリ三十三年度マデハ地面ノ方ヲヤル、サウシテ三十四年度ヨリ先キハ金デヤルト云フ案ニナツテ居リマスガ、大阪ノ地面ハ日々騰ガルニ相違ナイガ政府ハ如何御認メニナリマスマニシテ七八年ガ間金ヲヤッテ後ニ地面ヲヤルト云フコトニナツタラバ非常ナ差が出テ來ルト思フガ如何デアリマスカ

○政府委員(古市公威君) 三十四年度カラ現金ヲ支出スルト云フノハ是ハ其都合ハ大藏省ノ政府委員ニ御尋ヲ願ヒタイ、唯私カラ御答申シテ置クコトハ詰リ財政上ノ都合デ現金ハ三十四年度以後ニ致シタトイ云フノデ地面ノ方ヲ先ニヤルコトニ……而シテ地面ノ中ノ先ヅ大抵ト云フモノハ此三十年度デ契約ガ切レルコトニナツテ居ツテ其都合カラ云フト初ニヤツタ方ガ都合ガ宜イ子爵曾我祐準君 何ノ契約

○○政府委員(古市公威君) 貸地ノ契約デス  
○議長(公爵近衛篤齊君) 曾我子爵

(子爵曾我祐準君演壇ニ登ル)

ハ申シマセヌ兒島君ノニ對シテ反對ヲ致シマス、御議論ニ對シテ反駁ヲ致シマス、兒島君ハ餘程長ク大阪ニ入ラシヤック御方デ自ラモ述ベラレタ通大阪ハ蓋シ兒島君ノ第二ノ故郷ニアラウト思フ、人一生ノ青年ノ時分、最モ面白イ時世、人間一代ノ面白イト云フ時世ハ恐ラク兒島君ハ大阪デ御暮シニナツタラウト思フ、今ハハヤ御老衰ト申シテハ失敬ダガ、大分御年モ寄ツタガ人ハ故郷ヲ愛スルノ念ガアルカラ兒島君ガ大阪ノ事ヲ仰シヤルノハ或ハ宇和島ノ事ヲ御語リニナルヨリマダ厚イカモ知レヌト思フ、勿論故郷ノ事ヲ語ルノガ惡ルイト云フノデハナイガ兒島君ハ果シテ其通ニ相違ナイト思フ、又ソレト同時ニ大阪ノ事ハ御詳シクモアリ又御知ル邊モ澤山アラウト思フノデアル、併シ兒島君ノ仰セラレタ所ハ何カト云フト到頭築港ノ歴史デ何年頃ニハドウダタ何年頃ニハドウナツタ或ハ経畫ガ大キカツク小サカツト云フ築港ノ歴史デアル、第二ニハ唯運輸ノ便ト云フコトデアル、誰モ運輸ノ不便ト云フコトハ言ハナイ我ミ反對論者ト雖モ不便ト云フコトハ認メナイ、便利ニハ相違ナナイ、ソレデ運輸ガ便ニナレバ物價モ從ツテ安クナルニ相違ナイトソレハ物價ガ高クナルト云フ論者ハ一人モ居ラヌ、不便ト云フ論者モ一人モ戸ニモ築クガ宜イ、土佐ニモ築クガ宜イ、宇和島ニモ築クガ宜イト云フ御論ダラウト思フ、宇和島ハ仰シヤラヌガ……成ル程築クガ宜カラウ唯築ケルナラバ僕モ大贊成ダ、兩手ヲ舉ゲテ贊成スル、所ガ如何セン唯ハ築ケヌ是ガ困難ル、我ミモ唯築ケルナラバ大贊成ダ決シテ反對ハセヌノデアル、ガ如何センハ相違ナナイ、ソレデ運輸ガ便ニナレバ物價モ從ツテ安クナルニ相違ナイトハレタ通今ハ中ミサウ云フ時期デナイト云フノ一點デアルソレデ兒島君ノ御論ト云フモノハ運輸ノ便ニナルト云フノト歷史トソレトドコモカシコモ金ガアツタラ築ケト云フノデアルカラ自分等ハ外ニ打チヤウガナイノデアル、モウ是デ盡キタリト思フ、ソレカラ松岡君ノハ焼點タクト云フノガ一番議論ノ焼點デアツタ思フ、唯大阪ハ商業ノ焼點デアル物貨ノ集散スル所ダト言ハレタ是ハ誰モ非難ハシナイ勿論其通デアル、ソレカラモウ一ツハ三分ノ一分ノノ補助ハ相當デアル外ニ例モアルト仰シヤツタガ、相當デアル例モアルト云フ斷定ヲ下サレタト同時ニ熱田ハ排斥シタト仰シヤル相當ナラバ熱田モ三分ノノ補助ヲヤツテ相當デアリサウナモノダ金高ハ達フガ百万圓位ノ補助ハ相當デアル、果シテ三分ノ一給スルガ相當ナラバ熱田モ亦名古屋ノ者ニ言ハセタナラバ相當ノ所デアル、矢張アノ地方ノ集散ノ地デアルニ相違ナイ唯大小ガ達フダケデアル金高ハ同シデナクテ宜シ、例ヘバ名古屋ハ大阪ノ十分ノ一集散力デアルナラバ大阪ニ六百万圓補助スルモノナラバ六十萬圓位ノ補助シテ宜イト云フコトニナル、是モ少シモ分ラナイ一ハ排斥シタト云フノハ譯ガ分ラナイノデアル、ソレカラ大阪ハ勉強ト精神デ成立ツタ成ル程大阪ノ人ハ勉強ト精神デ此築港ヲヤリマシタラウ是ハ私モ疑ハヌ、ガ勉強ヨリハ寧ロ金力カモ知レヌ、併シ谷サンノ金力トハ達フ私ハ大阪ハ金ガ多イノデハナ或ハ運動ノ金力デアラウカト思レル、ソレカラ久保田君トノ間ニ港ノ大小

ノ議論ガアツタ是ハ私ハドッテニモ加ハラヌノデアリマス、大概議論ハ分ツテ居ル、尙ホ松岡君ノニ大ニ打タナクテハナラヌ箇條ガ一箇條アル、東京府ノ貸地拂下ヲ以テ之ヲ例セラレタ、是ハ大ナル間違アル松岡君ハ先頃マデ内務次官デアツタガドウシテコンナ間違ヲ仰シャツタカト思フ、此案ハ如何デアリマス、此八万二千坪ノ地面ト云フモノハ築港ノ場所デアルニ依ツテ築港ノ爲ニヤルト云フノデハアリマセヌゾ、八万二千坪ノ地面ヲヤルカラソレヲ賣レ、其金デ造レト云フノデアリマス、極ク之ヲ極端ニ言ヘバ蝦夷デ千万町歩ヲヤルクレヲ賣ッタ金ヲ大阪ニヤル、ソレヲ以テ造レト云フコトニナル、併シソレハ大阪ニ在ル地面デアルガ築港ノ部分ノ所ニ在ル地面デハナイトケモノ一里モ二里モ離レタ上流ノ方ニ在ル地面デアル、而シテ其地ハ如何デアルカト云フト二十圓ト云フコトデアツタガ大阪ハ大變地面ノ高イ所デ甚シイ所ハ百圓モ百五十圓モスルト云フコトデアル、私ハ斯ウ云フコトニハ極疎イ人間デゴザイマスガモウ四五年經タラバ私ハ此八万何千坪ノ地面ガ百九十万圓ニ價スルト云フ位ノコトデハアルマイト思フ、明年ハ三百万圓明後年ハ四百万圓ニモ上ルト云フコトハ此道ニ賢イモノナラバ疑ハヌト云フコトハ此議院ニ出マシテカラモ伺ヒマシタ、而シテ此東京ノ地面ヲ例ニ御引キニナッタガ是ハ東京府デ持ツテ居ルノデ三浦前ノ東京府知事ニモ確メマシタガ東京府デ持ツテ居ルノデ決シテ賣ッテ使フノデハナイ、是ハ松岡君ガ故意ニ御能辯デ御言回シニナラタカ、或ハ偶然ナラバ松岡君ノ愚ニハ及バヌ、若シヤ知ラヌナラバ其愚ニハ及バヌト斷定スルノデアリマス

〔討論終結ト呼フ者アリ〕

〔松岡康毅君「チヨット一言辯ジテ置キマスガ東京デハ決シテ……」ト述フ〕

〔討論終結ト呼フ者多シ〕

○議長(公爵近衛篤齊君) 松岡君モウイケマセヌ討論終結ノ動議ガ出マシタ、討論終局ノ動議ガ成立チマンダ、討論終局ノ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(公爵近衛篤齊君) 多數ト認メマス、討論ハ終局ニナリマシタ、採決ノ方法ニ附キマシテ二箇ノ要求ガアリマス、一ハ記名投票一ハ無記名投票デス、無記名投票ハ竹内子爵外二十名ノ諸君ノ要求アリマス、記名ノ方ハ堀田子爵外二十名ノ諸君ノ要求アリマス、無記名ノ方ガ先ニ出テ居リマスカラ無記名ノ方カラ先ニ決ヲ採リマス、記名無記名兩方アリマスカラ何レカニ決スルニハ起立ニ問ハナケレバナラスト思ヒマス、無記名投票ノ決ヲ採リマス、無記名投票ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(公爵近衛篤齊君) 少數ト認メマス

〔宣告ガ分リマセヌト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤齊君) 無記名投票ニ賛成ノ御方ハ起立ヲナサイト云フコトトヲ申シマシタチヨツト暫ク其儘……少數デゴザイマス

〔多數ト呼フ者アリ〕

○三浦安君 異議ノ申立ヲ致シマス

○議長(公爵近衛篤齊君) 然バ氏名點呼ヲ行ヒマス、チヨット諸君ニ御注意申シテ置キマスガ往々、御怠リナサル譯デハゴザイマスマイガ立タズニ後ニ賛成ト云フ御方ガアリマスル、サウ云フコトハ隨分困ル話デアリマスカラ其邊ハドウゾ十分御注意ヲ願ヒタス

〔男爵伊達宗敦君「今一旦立ツテ坐ツタ人モアル」ト述フ〕

〔氏名點呼ヲ行フ〕

〔男爵伊達宗敦君「今一旦立ツテ坐ツタ人モアル」ト述フ〕

〔氏名點呼ヲ行フ〕

〔氏名點呼ヲ行フ〕

○議長(公爵近衛篤齊君) 氏名點呼ノ結果ヲ報告致シマス、出席總員百六十二人無記名投票ヲ可トスル人七十七人、否トスル人八十五人、即チ無記名投票ハ否決トナリマシタ、是ヨリ記名投票ヲ行ヒマス、チヨット御注意マデニ宣告致シマスルガ即チ本案ヲ可トスル諸君ハ白票、否トスル諸君ハ青票、是ハ當リ前ノコトデアリマスルガ念ノタメニ申シテ置キマスドウカ名前ヲ御書キ下サイ……是ヨリ氏名點呼ヲ行ヒマス

〔氏名點呼ヲ行フ〕

○議長(公爵近衛篤齊君) 是ヨリ開函致シマス

〔書記官投票ヲ點検ス〕

○議長(公爵近衛篤齊君) 記名投票ノ結果ヲ御報告致シマス出席總員百六十人白色票百六、青イ票五十五即チ本案ハ可決ニナリマシタ、此際報告ヲ致スコトガアリマスカラ書記官ヲシテ朗讀致サセマス

〔有賀書記官朗讀〕

一 戰器火薬類取締法案  
一 保安條例廢止法律案  
右法律案ハ議院法第二十七條但書及第二十八條但書ニ依リ議定相成度此段及請求候也

明治三十年三月二十四日

貴族院議長公爵近衛篤齊殿 内閣總理大臣伯爵松方正義

右ハ緊急事件トシテ議決相成度此段及請求候也

明治三十年三月二十四日

貴族院議長公爵近衛篤齊殿 内閣總理大臣伯爵松方正義

○議長(公爵近衛篤齊君) 唯今報告ヲ致シマシタ通戦器取締ノ法案ガ出マシタガ、緊急事件ト云フコトデアリマスカラ直ニ此際議シテハ如何デゴザイマセウカ、チヨツト御相談致シマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○子爵曾我祐準君 豫算ダケヲ御終ヒニナツテハ如何デス

○議長(公爵近衛篤齊君) フレハ如何ヤウデモ宜シウゴザイマス

○子爵曾我祐準君 豫算モ政府案デアリマスカラ豫算ダケ濟ンダ方ガ宜シイト思ヒマス

〔賛成タクト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤齊君) フレデハ豫算ガ濟ンデカラ之ヲ議スルト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ) 然ラバ サウ云フコトニ致シマス、ソレカラ先刻又朗讀致シマシタガ矢張豫算ガアリマスガ、明治三十年歲入歲出豫算總追第四號外二件是ハ今朝決定ニナリマシタ外デ後トカラ又回付ニナシタモノアリマス、此案モ矢張豫算ノコトニアリマスカラ、期限ヲ極メルト云フコトヲ此際議シテハ如何デアリマスカ御異議ガナクバ左様致シマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○子爵谷干城君 発ニ尤モ緊急ナル豫算ト認メルモノガアリマスガ……○議長(公爵近衛篤脣君) 谷子爵ニチヨウト申シマスガ唯今滿場ノ容ル、所トナシタノハ總追第四號臺灣鐵道ノコト、此期限ヲ定メルト云フコトニアリマスカラ、是ガ濟シテアリマスカラ……

○子爵谷干城君 決ヲ御採リニナルノデスカ

○議長(公爵近衛篤脣君) 決ヲ採ルノデハナイ、期限ヲ定メルコトヲドナタカ御發言ニナシテ其事が濟シテ御發議ヲ願ヒタイ

○子爵谷干城君 左様デゴザイマスカ宜シウゴザイマス、ソレナラ唯今ノ期限ハ本日中ト致シマシテ

○子爵曾我祐準君 贊成

○議長(公爵近衛篤脣君) 唯今谷子爵ノ發議ハ御異議ハゴザイマセヌカ

○子爵谷干城君 決ヲ御採リニナルノデスカ

○議長(公爵近衛篤脣君) 決ヲ採ルノデハナイ、期限ヲ定メルコトヲドナタ

○議長(公爵近衛篤脣君) 谷子爵ニチヨウト申シマスガ唯今滿場ノ容ル、所

○議長(公爵近衛篤脣君) 左様デゴザイマスカ宜シウゴザイマス、ソレナラ唯今ノ期限ハ本日中ト致シマシテ

○子爵曾我祐準君 贊成

○議長(公爵近衛篤脣君) 唯今谷子爵ノ發議ハ御異議ハゴザイマセヌカ

○子爵谷干城君 決ヲ御採リニナルノデスカ

○議長(公爵近衛篤脣君) 決ヲ採ルノデハナイ、期限ヲ定メルコトヲドナタ

○議長(公爵近衛篤脣君) 谷子爵ニチヨウト申シマスガ唯今滿場ノ容ル、所

○議長(公爵近衛篤脣君) 左様デゴザイマスカ宜シウゴザイマス、ソレナラ唯今ノ期限ハ本日中ト致シマシテ

○子爵曾我祐準君 贊成

○議長(公爵近衛篤脣君) 唯今谷子爵ノ發議ハ御異議ハゴザイマセヌカ

○子爵谷干城君 決ヲ御採リニナルノデスカ

○議長(公爵近衛篤脣君) 決ヲ採ルノデハナイ、期限ヲ定メルコトヲドナタ

○議長(公爵近衛篤脣君) 谷子爵ニチヨウト申シマスガ唯今滿場ノ容ル、所

○議長(公爵近衛篤脣君) 左様デゴザイマスカ宜シウゴザイマス、ソレナラ唯今ノ期限ハ本日中ト致シマシテ

○子爵曾我祐準君 贊成

○議長(公爵近衛篤脣君) 唯今谷子爵ノ發議ハ御異議ハゴザイマセヌカ

○子爵谷干城君 決ヲ御採リニナルノデスカ

○議長(公爵近衛篤脣君) 決ヲ採ルノデハナイ、期限ヲ定メルコトヲドナタ

○議長(公爵近衛篤脣君) 谷子爵ニチヨウト申シマスガ唯今滿場ノ容ル、所

○議長(公爵近衛篤脣君) 左様デゴザイマスカ宜シウゴザイマス、ソレナラ唯今ノ期限ハ本日中ト致シマシテ

○子爵曾我祐準君 贊成

○議長(公爵近衛篤脣君) 唯今谷子爵ノ發議ハ御異議ハゴザイマセヌカ

○子爵谷干城君 決ヲ御採リニナルノデスカ

○議長(公爵近衛篤脣君) 決ヲ採ルノデハナイ、期限ヲ定メルコトヲドナタ

○議長(公爵近衛篤脣君) 谷子爵ニチヨウト申シマスガ唯今滿場ノ容ル、所

○議長(公爵近衛篤脣君) 左様デゴザイマスカ宜シウゴザイマス、ソレナラ唯今ノ期限ハ本日中ト致シマシテ

○子爵曾我祐準君 贊成

○議長(公爵近衛篤脣君) 唯今谷子爵ノ發議ハ御異議ハゴザイマセヌカ

○子爵谷干城君 決ヲ御採リニナルノデスカ

○議長(公爵近衛篤脣君) 決ヲ採ルノデハナイ、期限ヲ定メルコトヲドナタ

○議長(公爵近衛篤脣君) 谷子爵ニチヨウト申シマスガ唯今滿場ノ容ル、所

○議長(公爵近衛篤脣君) 左様デゴザイマスカ宜シウゴザイマス、ソレナラ唯今ノ期限ハ本日中ト致シマシテ

○子爵曾我祐準君 贊成

○議長(公爵近衛篤脣君) 唯今谷子爵ノ發議ハ御異議ハゴザイマセヌカ

○議長(公爵近衛篤脣君) 是ハ一番仕舞デゴザイマスガソレハ期限ガ遅ル、カモ知レマセヌ五時マデニ豫算ガ出来ルノデアリマスカラ其一番仕舞……○伯爵正親町實正君 ソレマデニ報告ニナルト云フノデゴザイマスカ

○議長(公爵近衛篤脣君) ソレハ報告ガナケレバナラヌ、併シ其時ニナシテ見ナケレバドウナルカ分リマセヌ

○子爵谷干城君 成ルタケヤリマス、若シ行ケザツタトキハ又御断リヲシマス

○議長(公爵近衛篤脣君) 唯今谷子爵カラ要求ガアリマシタ、特追第四號ハ貨幣問題ニ關係シタル豫算デアリマスガ是ハ唯今此日程ノ中ニハナインデ即チ今期限ヲ定メル分ノ中ニアリマスガ委員會ハ濟ミマシタノデゴザイマスガ此間ニ議スルト云フコトニ御異議ガナクバ……

(「異議ナシ」ト呼フ者多シ)

○議長(公爵近衛篤脣君) 然ラバ 直ニ取掛リマス、明治三十年度特別會計歲入歲出豫算追加特追第四號、全部ヲ問題ニ供シマス、朗讀ハ省略致シマス

○議長(公爵近衛篤脣君) 「左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス以下之ニ倣フ」

特別會計豫算 明治三十年度大藏省所管造幣局歲入歲出豫算追加額貨幣整理資金歲入歲出

豫算額及其款項ノ金額ハ別冊歲入歲出豫算ニ據ルヘシ

大藏省所管 (「異議ナシ」ト呼フ者多シ)

### 造幣局

第一款 造幣局作業收入 金九百萬圓  
第一項 造幣局作業收入 金九百萬圓  
第一項 造幣局作業收入 金九百萬圓

第一款 造幣局作業費 金八百拾壹萬五千五拾七圓九拾四錢壹厘  
第七項 雜給及雜費 金壹萬參千七百五拾貳圓

第八項 作場費 金參萬九千九百八拾六圓四拾七錢

第九項 材料素品購買費 金八百六萬千參百拾九圓四拾七錢壹厘

### 貨幣整理資金

歲入

第一款 地金賣拂代收入 金千萬圓  
第一項 地金賣拂代 金千萬圓

第一款 貨幣交換金支出 金千萬圓

第一項 貨幣交換金

第一款 別段委員長ノ報告ハアリマセヌカ

第一項 別段委員長ノ報告ハアリマセヌカ

第一項 別段委員長ノ報告ハアリマセヌカ

第一項 別段委員長ノ報告ハアリマセヌカ

第一項 別段委員長ノ報告ハアリマセヌカ

第一項 別段委員長ノ報告ハアリマセヌカ

第一項 別段委員長ノ報告ハアリマセヌカ

付……唯今宣告ヲ致シマシタガ議事日程第五ノ方ヲ先キニ議シマシテソレカ  
ラ第四ノ方ニ戻ルノガ順序デアルノデアリマスカラ日程ノ變更ニ御異議ガナ  
クバ其通致スコトニ致シタイト思ヒマス

然ラバ明治三十年度各特別會計歲入歲出總豫算追加案特追第二號此方カラ始  
メマス、全部ヲ問題ニ供シマス

〔異議ナシト呼フ者多シ〕

各特別會計豫算  
明治三十年度大藏省所管特別資金歲出豫算追加額拓殖務省所管臺灣總督府  
歲入歲出豫算額及其款項ノ金額ハ別冊歲入歲出豫算ニ據ルヘン

大藏省所管

特別資金

歲出

第一款 特別資金支出 金五百七拾八萬貳千七百九拾八圓參拾壹錢七厘  
第一項 歲入臨時部繰入 金五百七拾八萬貳千七百九拾八圓參拾壹錢七厘

拓殖務省所管  
臺灣總督府

歲入

經常部

第一款 臺灣歲入 金八百拾壹萬貳千貳百六拾四圓九拾壹錢  
第一項 內地稅 金五百九拾九萬八千七百拾四圓九拾六錢參厘  
第二項 海關稅 金五拾八萬貳千八百九拾八圓六拾七錢六厘  
第三項 官業及官有財產收入 金五百四拾五萬貳千六百六拾六圓參拾九  
錢四厘

第四項 雜收入 金七萬七千九百八拾四圓八拾七錢七厘

臨時部

第一款 臺灣歲入 金九千貳百四拾圓

第一項 官有物拂下代 金九千貳百四拾圓

第二款 補充金 金五百七拾八萬貳千七百九拾八圓參拾壹錢七厘

第一項 補充金 金五百七拾八萬貳千七百九拾八圓參拾壹錢七厘

臨時部合計金五百七拾九萬貳千參拾八圓參拾壹錢七厘

歲出

經常部

第一款 民政費 金五百貳拾八萬八百八拾八圓拾八錢八厘  
第一項 俸給及諸給 金五百九拾七萬五千六百七拾六圓五拾八錢八厘

第二項 廉費 金五拾貳萬四千貳百四拾貳圓貳拾八錢九厘

第三項 修繕費 金拾參萬參千六百拾七圓

第四項 賦賞費 金千四百七拾四圓七拾壹錢四厘

第五項 死傷手當 金參千八百五拾貳圓五拾錢

第六項 恩賜及救助費 金五千八百七拾九圓七拾壹錢四厘

第七項 難破船費 金千圓

裁判費

金壹萬九千百貳拾九圓九拾四錢

第九項 在監人諸費 金五萬五千五百六拾貳圓參拾八錢壹厘

第十項 賠償及訴訟費 金六百拾八圓

第十一項 旅費 金八拾參萬參千六百拾參圓六拾錢

第十二項 雜給及雜費 金百四拾貳萬五千八百八拾五圓七拾參圓參厘

第十三項 學生費 金七萬五千九百八拾參圓貳拾貳錢九厘

第十四項 編書費 金壹萬圓

第十五項 街庄社總代費 金拾六萬四百九拾貳圓五拾錢

第十六項 機密費 金四萬八千五百六拾圓

第十七項 傭外國人諸給 金六千圓

第一項 稅關費 金貳拾萬九千七百七拾壹圓貳拾壹錢

第二項 廳費 金參萬七千六百貳拾九圓六拾八錢

第三項 修繕費 金八千百貳拾五圓

第四項 從價稅品買上代 金千圓

第五項 死傷手當 金五圓

第六項 賠償及訴訟費 金參百圓

第七項 旅費 金七千四百五圓四拾七錢

第八項 雜給及雜費 金七萬九千六百拾圓六錢

第九項 遞信費 金百五拾八萬千四百六拾四圓五拾九錢

第一項 体給及諸給 金四拾參萬九千八百七圓參拾參錢參厘

第二項 廳費 金六萬五千拾貳圓四拾七錢五厘

第三項 修繕費 金貳萬八千貳百貳拾八圓五拾錢

第四項 死傷手當 金貳千貳百八拾圓

第五項 遞信事業費 金九拾萬千貳百八拾五圓九拾五錢貳厘

第六項 電信技術練習費 金貳千五百圓

第七項 修繕費 金貳萬八千貳百貳拾八圓五拾錢

第八項 賠償及訴訟費 金百八拾圓

第九項 旅費 金九萬參千貳百四拾參圓九拾四錢

第十項 雜給及雜費 金四萬七千百四拾六圓參拾九錢

第十一項 製藥所費 金貳百八拾四萬六千八百六拾六圓七拾七錢

第十二項 体給及諸給 金貳萬參千五百壹圓

第十三項 廳費 金四萬七千參百拾九圓八拾貳錢

第十四項 修繕費 金貳千圓

第十五項 死傷手當 金拾圓

第十六項 賠償及訴訟費 金貳拾圓

第十七項 旅費 金壹萬千四百六拾七圓五錢

第十八項 阿片購買及調製諸費 金貳百七拾萬六千參百四拾圓六拾五錢

第十九項 諸拂戾及缺損補填金 金貳萬貳千圓

第二項 缺損補填金 金九百九拾五圓四拾七錢五厘

第三項 豫備金 金參拾萬圓

第四項 第一豫備金 金五萬圓

第一項 第二豫備金 金貳拾五萬圓  
經常部合計金千貳拾四萬九百九拾圓七拾五錢八厘

## 臨時部

第一款 事業費 金參百參萬八千貳百八拾壹圓九拾錢九厘  
第一項 備給及諸給 金八萬六千六百七拾八圓貳拾錢

## 臨時部

第一項 雜給及雜費 金四萬五千八百拾圓參拾九錢

## 臨時部

第三項 死傷手當 金千圓  
第四項 賠償及訴訟費 金五拾圓

第五項 旅費 金五萬六千百參拾七圓四拾九錢

第六項 雜給及雜費 金壹萬貳千七百七拾參圓拾貳錢

第七項 營繕及土木費 金貳百五拾六萬六千貳百六拾貳圓七拾錢九厘

第八項 燈臺及電信建設費 金貳拾六萬九千五百七拾圓

第九項 調査費 金七萬五百參拾圓五拾六錢

第一項 調査費 金七萬五百參拾圓五拾六錢

第三款 移民費 金

第一項 移民費 金

第四款 衛生費 金四萬圓

第一項 衛生費 金四萬圓

第五款 補助費 金五拾壹萬四千五百圓

第一項 補助費 金五拾壹萬四千五百圓

臨時部合計金參百六拾六萬參千參百拾貳圓四拾六錢九厘

合計金千參百九拾萬四千參百參圓貳拾貳錢七厘

(政府委員男爵北垣國道君演壇ニ登ル)

○政府委員(男爵北垣國道君) 唯今提出ニナリマシタ此特追第二號臺灣總督

府ノ豫算デアリマスガ是ハ午前ニ豫算委員長カラ報告ニナリマシタ通衆議院

デ削減ニナリマシテ其削減ノ通ニ又豫算會ニ議決ニナリマシタ趣ヲ御報告ニナリマシタ次第デアリマスカラ大略其理由ヲ述ベマス

〔男爵尾崎三良君モウ少シ大キイ聲ヲシテ下サラメト分リマセヌ〕ト  
述フ

其臺灣ノ特別會計豫算ニ於キマシテハ經常部總額金千五十二万四千四十圓八

十七錢一厘是ガ經常費ノ總額デアリマス、之ヲ前年度ノ經費ニ比較シマスト

前年度ハ五百九十二万八千七百五圓二十一錢三厘之ニ對シマシテ増額ハ金

四百五十九万五千三百三十五圓六十四錢八厘トナリマス、是ハ金二百四十一萬三千三十六圓七十四錢ト云フ

第一款ノ民政費デアリマス、是ハ地方行政機關及警察ノ擴張ニ依リマシテ斯ノ如ク增

額ヲ致シマシタ、第三款ニ於キマシテハ遞信費ノ總額金八十四万三千六百四

十圓七十四錢二厘是ハ實際郵便電信ノ頻繁ヲ増シマスニ從シテ斯ノ如キ結果

ニナリマス、第四款製鹽費金九十九万三千八百十四圓七拾七錢是ハ前年度ハ

半年分ヲ豫算シマシテ當年ハ全年分ヲ豫算シマシタカラ斯ノ如キ増額ニナリ

カラ臨時部ノ方ニ於キマシテハ總額金四百一萬七千七百九十四圓四十七錢是

ハ前年度ノ金額ハ四百六十九万二千八百二圓九十七錢二厘、ソレヲ比較シマ

スルト、六十七万五千零八圓五十錢二厘是ガ減額ニナッテ居マス、臨時部

ノ方デハ斯ノ如ク減額ニナッテ經常部ノ方デハ斯ノ如ク増額ニナッテ居リマス、此增額ガ千四百五十四万三千八百三十五圓三十四錢一厘、前年度ノ額ガ千三百九十二万零三百二十七圓十四錢六厘、是ダケノ増額ニナッテ居ル、經常部デハ増シマシテ、臨時部デハ減シテ居リマスガ、經常部ノ先刻申シマシタ第一款、第三款、第四款、第六款ハ増額ノ重ナモノニアリマシテ、其他モ増シタモノモアリマス、デ之ニ對シマシテ、衆議院デ削減ニナリマシタノハ斯様ナ削減デアリマス、向フノ希望ガ經常部ノ民政費中ニ於キマシテ俸給及諸給、之ヲ減シマシタコトガ十三万二千二百三十四圓八十五錢八厘、廳費デ減額ガ一万八千三百九十七圓零三錢四厘、修繕費ニ於キマシテハ減額ガ二千圓褒賞費ニ於キマシテハ減額ガ五百四十八圓二十八錢六厘、死傷手當ニ於キマシテハ、減額ガ二百圓、恩賜及救助費ニ於キマシテハ減額ガ二千二百七十圓二十八錢六厘、旅費ニ於キマシテガ、減額ガ二万八千七百三十九圓二十八錢、雜給及雜費ニ於キマシテガ、減額ガ九万八千六百六十六圓三十六錢九厘

〔久保田讓君チヨット申シマスガ、數字ハ印刷デ能ク分ッテ居リマス〕ト述フ

宣シウゴザイマス、モウ少シデアリマス  
(「モウ止シマラ宣カラウ、否決スル……」ト述フル者アリ)

○政府委員(男爵北垣國道君) 皆名ハアリマスケレドモ何分三千四千ト云フ  
経常部ノ合計ガ二十八万三千零五十一圓十一錢三厘、臨時部ノ合計ガ……  
(「異議ナシト呼フ者アリ」)

○久保田讓君チヨット質問ヲ致シマス、先達テ豫算委員會ノトキニ質問ヲ或人カラ致サレテ臺灣總督府ニハ官人ガ幾人アルカト云フコトヲ質問致サレマシタ、然ル所ガ名ノアル官吏ハ三千幾人、名ノナイ官吏ガアルガソレハ分ラスト云フコトデアツテ、ソレヲ御調べニナル譯ニアツタガ、其名ノナイ官吏ハドウ云フ役人デアルカ、且ツ幾人デアリマスカ

○政府委員(男爵北垣國道君) 皆名ハアリマスケレドモ何分三千四千ト云フコトデアリマスカラ、此處デ名前ヲ御答スルコトハ困リマスガ、悉ク名ハアリマス

○久保田讓君サウデハナイ、名ノアル官吏ガ三千何人アル、名ノ分ラストカ、名ノナイ官吏ガ何人アルトカ云フコトデアツタ、三千幾人ト云フモノハソレハ名ノアル官吏、ソレカラ名ノナイ官吏ガアルト云フコトデソレヲ御調べニナッテ詳シク御示シニナル管アリマシタガ

○政府委員(男爵北垣國道君)ソレハ調書ヲ差上ゲタ旨アリマスカ  
(「異議ナシト呼フ者アリ」)

○久保田讓君一向参リマセヌ  
(「モウ止シマラ宣カラウ、否決スル……」ト呼フ者アリ)

○政府委員(男爵北垣國道君)ソレデハ後刻差上げマス  
(「モウ止シマラ宣カラウ、否決スル……」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤齊君)本案ハ御異議ハゴザイマセヌカ  
(「モウ止シマラ宣カラウ、否決スル……」ト呼フ者アリ)

○久保田讓君一向参リマセヌ  
(「モウ止シマラ宣カラウ、否決スル……」ト呼フ者アリ)

○政府委員(男爵北垣國道君)ソレデハ後刻差上げマス  
(「モウ止シマラ宣カラウ、否決スル……」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤齊君)本案ハ御異議ハゴザイマセヌカ  
(「モウ止シマラ宣カラウ、否決スル……」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤齊君)モウ今決シマシタ、議事日程第四ニ戻リマシテ、

○議長(公爵近衛篤齊君)モウ今決シマシタ、議事日程第四ニ戻リマシテ、

明治三十年度歲入歲出豫算追加案總追第二號政府提出、衆議院送付、是亦全  
部ヲ問題ニ供シマシテ朗讀ハ省略致シマス

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス以下倣之)

明治二十年度歲入追加額ヲ五百九拾八萬四千參百七拾貳圓七拾四錢參厘歲  
出追加額ヲ五百七拾八萬貳千七百九拾八圓參拾壹錢七厘ト定ム其款項ノ金

額ハ別冊歲入歲出豫算ニ據ルヘシ

歲入經常部

第四款 雜收入 金壹萬八千參百貳拾四圓九拾四錢七厘

第五項 官吏遺族扶助法納金 金壹萬八千參百貳拾四圓九拾四錢七厘

歲入臨時部

第四款 製艦費補足金 金拾八萬參千貳百四拾九圓四拾七錢九厘

第二項 納付金 金拾八萬參千貳百四拾九圓四拾七錢九厘

第九款 償金繰入 金五百七拾八萬貳千七百九拾八圓參拾壹錢七厘

第一項 償金繰入 金五百七拾八萬貳千七百九拾八圓參拾壹錢七厘

歲入臨時部合計金五百九拾六萬六千四拾七圓七拾九錢六厘

歲入總計金五百九拾八萬四千參百七拾貳圓七拾四錢參厘

歲出臨時部

拓殖務省所管

第十二款 臺灣經費補充金 金五百七拾八萬貳千七百九拾八圓參拾壹錢七厘

第一項 臺灣經費補充金 金五百七拾八萬貳千七百九拾八圓參拾壹錢七厘

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤磨君) 本案ハ別ニ御異議ハゴザイマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

然ラバ本案モ可決ト認メマス、次ハ豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲナス  
ヲ要スル件特追第一號所屬政府提出、衆議院送付、是モ全部ヲ問題ニ供シテ朗  
讀ハ省略致シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

然ラバ原案可決ト認メマス  
(前田正名君議長々々ト連呼ス)

臺灣總督府ニ於テ外國人一名ヲ傭入明治三十年四月一日ヨリ明治三十四年  
七月三十一日マテノ期限ヲ以テ俸給月額五百圓ヲ支給スルノ契約ヲ結フコ  
トヲ得

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ハアリマセヌカ

○議長(公爵近衛篤磨君) 先刻決定ニナリマシタ通リ戎器火薬類取締法案ノ  
議事ヲ是カラ開キマス、是ハ政府ノ通牒ガアリマス、二十七條ノ但書及二十  
八條ノ但書ニ依テ議定相成リタイト云フコトデアリマスカラ、左様御承知  
下サイ

○男爵伊達宗敦君 報告ハ濟ミマシタカ、發言致シテ宜シウゴザイマスカ  
○議長(公爵近衛篤磨君) チヨヲト御待下サイ、朗讀ヲ致サセマス、政府ノ  
通牒文ノミヲ朗讀致サセマス、イヤ衆議院ノ通牒文デアリマス

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付  
候也 明治三十年三月十六日 貴族院議長公爵近衛篤磨殿

衆議院議長鳩山和夫 戎器火薬類取締法案

(原本書記官朗讀)

第一條 戎器火薬類取締法 本法ニ於テ戎器ト稱スルハ銃砲刀劍及槍械ノ類ヲ謂ヒ火薬類ト稱

スルハ火薬雷管導火線其他爆發物品ヲ謂フ

第二條 戎器火薬類ハ特ニ命令ヲ以テ定メタル外之ヲ製造及輸入スルコトヲ得ス

第三條 戎器火薬類ハ憲兵警察官必要ト認ムルトキハ何人ノ所有ヲ問ハス火薬類ノ検査ヲ爲スコトヲ得

第四條 左ノ事項ニ關シ取締上必要ナル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

一 戎器及火薬類ノ營業製造輸入授受及使用

二 火薬類ノ貯藏運搬及其他ノ取扱

三 火薬類倉庫ノ位置及構造

第五條 内務大臣拓殖務大臣ハ公共ノ安寧ヲ保持スルニ必要ト認ムルトキハ期間及地域ヲ限り戎器火薬類ノ授受運搬及携帶ヲ禁シ又ハ制限スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ憲兵警察官必要ト認ムルトキハ戎器ノ検査ヲ爲シ又ハ戎器火薬類ヲ領置スルコトヲ得戎器火薬類ニアラスト雖携帶者ノ用法ニ依リ危険ノ虞アリト認ムル物件ニ對シテモ亦同シ

第六條 第二條ニ違背シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ヲ附加シ其ノ物件ヲ沒收ス

第六條第一項ノ命令ニ違背シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮又ハ五圓以上百圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ物件ヲ沒收ス

第七條 明治五年第二十八號布告銃砲取締規則及明治十七年第三十一號布告火薬取締規則ハ此ノ法律施行ノ日ヨリ廢止ス

明治九年第三十八號布告及明治十七年第三十二號布告爆發物取締罰則ハ此ノ法律ノ爲其ノ施行ヲ妨ケラル、コトナシ

第八條 此ノ法律ハ陸海軍其ノ他官廳ニ屬シ及官職ニ要スル戎器火薬類ニ適用セス

○男爵伊達宗敦君 實ニ會期ノ切迫ドコロシヤナイ、最早三四時間ノコトデゴザイマスケレドモ、此戎器火薬取締法ト云フモノハ、火薬ナシノ取締ナシゾト云フモノハ餘程大事ナコト、思ヒマスカラ、ドウカ是ハ委員ニ付託シテ、速ニ審査ヲセラレテ報告ニナルヤウニ致シタイ

○男爵尾崎三良君 何分先刻カラ議案ヲ見ル間合モナイ中ニ通過シテシマヒゴザイマスガ、ソレハ仕方アナイトシタ所デ、此戎器火薬類取締法案ナゾト云フモノハ今日初テ私共ハ見タノデアリマシテ、又諸君ノ中ニモ唯今漸ク見ク御方ガ多イデアラウト思ヒマスガ、是ハシカモ數箇條アルモノヲ取調モセズニ直ニ

可決シテシマフト云フコトハドウモ無理デアラウト思ヒマスカラ免ニ角通例

ノ法律案ノ如ク特別委員ニ付託シ修正セシメテ其報告ヲ待ツテ審議スルコト

ニ致スガ至當デアラウト考ヘマスカラ、政府ノ要求アルニモ拘ラズドウカ特

別委員選定シテ付託セラレムコトヲ希望致シマス、此特別委員ノ選定ハ議

長ニ任カセルト云フノデアリマス

○三浦安君 賛成餘り早々ニシテハ……

○議長(公爵近衛篤脣君) チヨクト御侍チ下サイ、尾崎君ニ申シマスルガ、今

ヲハ能ク了解シマシタガ、委員選定ノ議事ニハ未ダ移ツテハ居ラヌノデアリマ

ス、唯其委員ニ掛ケタラ宜カラウト云フ御發議ニ御止メ下スカ、ソレガ可

決シタラ、委員ハ議長ニ委託スルト云フ動議ヲ御出シニナカテハ如何デスカ

○男爵尾崎三良君 ソレデハサウ致シマセウ

○議長(公爵近衛篤脣君) 政府ノ要求ハ出テ居リマスガ、併ナガラ御發議デ

ゴザイマスカラ、レダケノ決ヲ採ツテ後トデ委員ヲ……

○男爵伊達宗敦君 唯今尾崎サンノ述ベラレタコトハ本員ノ述ベタ所ト同一

ノコト、考ヘマスガサウデスカ

○議長(公爵近衛篤脣君) サウデス

○男爵リ松行正君 本員ハ先達テヨリ是ハ見テ居リマスガ、尾崎男爵ハ唯今

見ラレマシテゴザイマスカ、本員共ハ最早此簡條ハ見テ居ル衆議院テ論ニナ

リマシタ所ノ傍聴ニ往ツテ知ツテ居リマス

○議長(公爵近衛篤脣君) 伊達男爵及尾崎男爵ヨリドチラガ發議者アルカ

尾崎君ハアトデアリマスカラ、贊成者デ宜ウゴザイマセウ、特別委員ニ付託シ

タ方ガ宜ラウト云フ御説デアリマスガ如何デアリマス

○議長(公爵近衛篤脣君) 「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤脣君) 御異議ガナケレバ其通ニ致シマス

○議長(公爵近衛篤脣君) 然ラバ特別委員ニ付託スルコトニ致シマス

○前田正名君 諸君議長

○子爵堀田正養君 諸君議長

○議長(公爵近衛篤脣君) チヨクト御侍チ下サイ、アナタ方ノハ議事日程ノ

變更デアリマセウ……

○前田正名君 サウデアリマス

○議長(公爵近衛篤脣君) 其前ニチヨクト御相談スルコトガアリマス、ソレ

デハ特別委員ノ選舉ノ手續ニ移リマス

○男爵尾崎三良君 然ラバ例ノ通特別委員ハ議長ニ於テ選定アランコトヲ希

望致シマシス

○議長(公爵近衛篤脣君) 「贊成タク」ト呼フ者多シ

○議長(公爵近衛篤脣君) 唯今ノ尾崎男爵ノ動議ニ御異議ガナクバ是ニ決シ

マス

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤脣君) 次ニ保安條例廢止法律案デアリマスガ是ハ同様ト

認メテ宜シウゴザイマスカラ

トニナリマスカラ通牒文ダケ朗讀致サセマス

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也  
明治三十年三月十三日

衆議院議長鳩山和夫

貴族院議長公爵近衛篤脣殿

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス)

明治二十年勅令第六十七號保安條例ハ之ヲ廢止ス

○子爵堀田正養君 本員ハ議事日程ヲ變更シテ……

○議長(公爵近衛篤脣君) チヨクト御侍チ下サイ、マダ保安條例ガ殘ツテ

居リマス、保安條例廢止法律案ハ議長ガ發議スルノモ何デゴザイマスガ戎器

取締法案ト同様ノコトニシテ御異議ハゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○子爵岡部長職君 同一委員ニ付託スルト云フ動議ヲ提出致シマス

（「贊成タク」ト呼フ者アリ）

○議長(公爵近衛篤脣君) 同一委員ト云フコトニ……

○議長(公爵近衛篤脣君) 「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤脣君) 然ラバ同一委員ニ付託致スコトニ致シマス……

（發言ヲ求ムル者アリ）

チヨクト御侍チ下サイ議事日程第七ニ載ツテ居リマス、明治二十九年度海軍

省所管歲出臨時部臨時軍事費中支出未賛算額ノ繰越使用ニ關スル法律案、

是ハ餘程急フ要スルモノデアリマスカラ、他ノ議事日程ノ變更ノ御要求ハ此次

ニ願ヒマス、議事日程第七ニ移リマス、明治二十九年度海軍省所管歲出臨時

部臨時軍事費中支辨未賛算額ノ繰越使用ニ關スル法律案第一讀會ノ續特別

委員長報告

(長谷川貞雄君演壇ニ登ル)

○長谷川貞雄君 唯今問題ニナカテ居リマスル特別委員會ノ報告ヲ致シマス、委員長ハ今日差交ガアリマシテ私ニ委託ニナリマシタカラ私ヨリ報告致シマス、是ハ標題ハ大層長ウゴザイマスガ、其實至ツテ簡短ノ案デゴザイマシ

テ此理由書ニ在ル通デ十分御分リデアラウト存シマスカラ極ク取摘要

デ委員會ノ有様ヲ申シマスガ是ハ二十九年度海軍省臨時軍事費中一時賜金

ト云フモノハ二十九年度ノ豫算ニナカテ居リマシテ二十九年度ニ支拂ウベキ

計畫ニナカテ居ルノデアル、然リマス處ガ少シ臨時ノ出來事ノタメ其事務ガ

運バナイカラ二十九年度ノ内ニ此金ヲ拂ウコトガ出來マセヌ、夫故ニ翌年度

即チ三十年度ニ繰越シテ貰イタク、是ダケノコトデゴザイマス、ソレデ事務

ノ運バナイ所以ハ何デアルカト云フニ第一讀會ニ於テ政府委員カラ略・説明

ガアツタ様デゴザイマスガ此一時賜金ニ關係スル取調ノ書類ガ臺灣ニ於テ盜

難ニ罹ツテ夫ヲ後ニ見當リマシタケレドモ過半ハ散逸シテ遂ニ用ヲ成シマセ

ス、ソレヲ更ニ調査直サウトシモ多數ノ人員デアリマスカラ大ニ時日ヲ要

シマスター夫等ノ手續が出來マセヌノデ二十九年度デ拂フコトガ出來マセ

スカラ三十年度ニ繰越シテ貰イタク云フダケノコトデゴザイマスカラ委員

會ニ於キマシテ事實已ムヲ得マセヌト認メマシテ全會一致ヲ以テ原案ヲ可決

(阪本書記官朗讀)

致シマシタ、是ダケガ委員會ノ報告デアリマスガ尙ホ登壇ノ序ニ申シマス極  
ク會期モ切迫ノ場合デゴザイマスカラ讀會ヲ省略シテ直ニ議決アラシコトヲ  
希望致シマス

○子節小笠原壽長君 贊成  
○小原重哉君 贊成  
○伯爵大原重朝君 贊成

○議長（公爵近衛篤脣君）　讀會省略

略ニ御異議ハゴザイマセヌカ

○議長（公爵近衛篤君）然ラバ讀會ヲ省略致シマス、次ニ本案ニ御異議ガナクバ可決ト認メテ宜シウゴザイマスカ  
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○箕作麟祥君 唯今外ノモノヲ議事日程ノ間ニ入レルト云フ御發議ガアルカ  
〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

モ知レマセヌガ……  
○議長(公爵近衛篤麿君) チヨヲト御待チ下サイマダ可決ト云フコトヲ申シ

○箕作麟祥君 是モ矢張政府案デゴザイマシテ外ノモノハドンナモノガ出ル  
カ知レマセヌガ是モ昨日來申シテアルノデアリマスガ矢張此議事日程ノ順寧

ニ依テ第八ニ移ラレンコトヲ希望致シマス次第デアリマス  
○村田保君 木員モ賛成デアリマス、成ルベク議事日程ハ變更シナイ様ニ政

○子爵堀田正養君 箕作君ノハ至極御尤デアリマスガ本員ノ議事日程ヲ變更シタリト申ノマヌケハ鐵道ノ委託ノ件ニシテ其後ニ……

シテ載キタイト思ヒマス  
〔ソンナコトヲ言テ居ル中ニ往ツテ仕舞フ」ト呼フ者アリ〕

是モ政府案デアリマスガ諸君ガ議サヌト云フ御考ナラバ……  
○子爵岡部長職君先刻委員ノ審査報告ヲ致シテ置キマシタ國庫ヨリ補助ス  
レ公共團體ノ事業ニ關スル法津案ニ基づケンダムガニシカウラボウ

○議長(公爵近衛篤君) ドウモ議事日程變更ノ要請ガ段々アリマスガサウ  
カ議事日程ヲ變更シテ速ニ議セラレムコトヲ希望イタシマス

送付  
第一讀會ノ續 特別委員長報告  
〔箕作勝祥君演壇ニ登ル〕

○箕作勝祥君　土地區畫改良ニ係ル法律案特別委員會ノ結果ヲ御報道ニ及ビ  
マス、是ハ唯今ノ模様テ極ク我勝チト云フヤウナ有様デコザイマスカラ、極簡  
直ニ報告致ノアベ、比案、結果、大體ノ如キニシテ、

單ニ半告到シマス此案ノ詰リ大層便宜ニカル案ト委員會テハ認メマシタト申スノハ此文ニモアリマスル通り市町村内ニ在リマスル土地ノ所有者ガ全體デモ或ハ其内ノ一部分デモ申合セマシテ是マデノ畦ナラ畦、用惡水路ナラ用

悪水路或ハ道路ナラ道路ヲ附ケ直シ、或ハ無用ナ畦ヲ廢メル、或ハ無用ノ水路ヲ廢メルト云フコトヲ致シマシテ是マデ穀物ノ出來ヌ所ヘ穀物ノ出來ルコ

トニスルト云フ所ノ即チ入額ヲ猶ヤス、收穫ヲ猶スト云フヤウナ計畫ヲ所有者ガ大勢寄合ヒマシテ協議ノ上デ致シマス、致シマシテモ此法律ガアリマセ

百十圓ニスルトカ、或ハ百二十圓ニスルトカ云フ所ノ修正ヲ地租條例ニ據テシナケレバナリマセヌ、サウ致シマシテ登録稅法ノ十六條、十六條ト思テ居リマス、十六條ニ據リマシテ其地價ノ増シタダケノ登録稅ヲ納メナケレバナリマセヌ、即チ地價ガ増シ、從ツテ登録稅ヲ拂ハナケレバナラヌト云フ所ノコトガアリマス、又政府ニ於キマシテモ其地價ヲ修正スルコトニナリマスルト地盤ヲ丈量、即チ測ルヤウナ面倒ガアリマス、此法律ガ出マスレバ此文ニアリマスル通設令畦ヲ廢メ、用水路、悪水路ヲ廢メマシテモ即チ土地ノ形ガ換リマシテ或ハ區畫ガ換リマシテモ矢張唯今ノ現在ノ地價ヨリ上ハ上げナイ、現在百圓ノモノナレバ矢張百圓ニ据置ケバ其百圓ハ現在ノ地價ヲ此度變更シマシタ土地ノ每筆ニ割附ケマシテ其地價ヲ定メル、即チ稅務所デ定メルト云フ譯デアリマス、サウシマスルト是マデヨリハ地價ガ上ガルコトモアリマセズ、又登録ヲシテ貰ッテ稅ヲ納メルト云フコトモゴザイマセヌ、面倒ハナクナルシ、納稅ノ……納稅ト申シテモ登録稅デゴザイマスガ納稅ノ義務ヲ別ニスルニ及バ又ト云フコトデゴザイマスカラ一市町村内ノ土地所有者等邊リデハ幾ラカ實施致シマシテ效能ガアツサウデゴザイマス、何分前申スハ喜ンデ相談ヲシテ此無用ナ畦ヲ廢シ無用ナ用惡水路ヲ廢シ又無用ナ道ヲ廢シテ有益ノ道ニスル、ト云フヤウナル即チ有益ナル所ノ區劃形狀ヲ變更スルコトニ相成リマス、既ニ此事ハ此法律ガアリマセヌデスマモ石川縣靜岡縣邊リデハ幾ラカ實施致シマシテ土地ヲ改良スルコトガ出來マス是ハ靜岡縣石川縣等ノ經驗ニ據リマスルト從前ヨリハ收穫ガ一割増スト云フ通り此法律案ニ在リマスル通り地價ヲ増シ從ツテ登録稅ヲ納メルト云フヤウナ面倒ガアルタメニドウモ十分ナル結果ヲ得ラレマセヌガ此法律ガ出マシタコトデアルサウデゴザイマス、シテ見ルト此事ガ全國ニ行渡リマシタナラバ日本全國ノ收穫、富ガ一割増スト云フテモ宜イト考ヘマス、デ是ヲモウ一層言ヒ換ヘレバ間接ニ地租減輕ヲスルト云フヤウナル結果ニナリマシタナラバ日本農民ノ爲ニハ餘程有難イコトニナル、政府ト雖モ稅ガ減ルノデモ何んデモナイ、一舉兩得ノコト、存ジマスルデ何卒該案ニ御贊成ヲ願ヒマス、即チ委員會ニ於キマシテハ全會一致ヲ以テ可決シタ次第アリマス、多分推測シマスル所諸君ニ於キマシテモ大シタ御不同意ハアルマイト存ジマスルデ讀會省略ヲ以チマシテ之ヲ御協賛アランコトヲ希望シマス、尤モチヨクト附加ヘテ申シマスガ衆議院デ修正ガアリマシタガ、是ハ別ノ所有者デハアリマセヌ、是ノ所有者ガ聯合シタ土地ガ數筆ノコトデゴザイマス、是モ同ジコトデアリマスカラ同様ナル道理ヲ以チマシテ同ジク委員等ハ同意ヲ表シタ次第ア

○宮崎總五君 贊成

○蟹江史郎君 贊成

○議長(公爵近衛篤齊君) 讀會省略ハ成立チマシタ、讀會省略ニ御異議ガナ

ザイマセヌカ

ソレデ「異議ナシ」ト述フル者多シ

〔賛成〕ト述フル者アリ

○議長(公爵近衛篤齊君) 讀會省略ハ成立チマシタ、讀會省略ニ御異議ハゴ

然ラバ本案ハ可決ト認メマス此間ニチヨウト今御委託ニナリマシタ特別委員

ノ氏名ヲ御報導致シマス

戎器火薬取締法案外一件特別委員  
伯爵廣橋 賢光君 幸宜君 男爵尾崎三良君  
男爵伊達宗敦君 男爵藤枝雅之君 男爵小松行正君  
三浦安君 小原重哉君 兒玉淳一郎君  
遠洋漁業獎勵法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告  
〔村田保君演壇ニ登ル〕

○村田保君 本員ハ……  
〔簡單ニ願ヒマス〕ト呼フ者アリ  
委員會ノ結果ヲ極ク簡單ニ御報告ニ及ビマス  
〔至極賛成〕ト呼フ者アリ

昨日委員會ヲ開キマシテ委員諸氏殘ラズ出席ニナリマシテ各條審議ヲ致シマ  
シタ所ガ全會一致ヲ以テ可決致シマシタノデゴザイマス、ト申シマスルノハ  
此案ハ實ニ此日本ノ水產業者ガ多年希望致シテ居ルモノデゴザイマスシ屢々  
是マデ本院ヘモ請願ガ出テ居リマスルシ又本院ヨリモ二回政府ニ建議案ガ出  
テ居リマスヤウナ譯デ此案ハ最モ必要ト申シマスルモノハ今日日本ノ漁業ト  
申シマスルモノハ御存ノ如ク兔角此遠洋漁業杯が發達致シマセヌ、唯磯附漁  
業、近イ所デ漁業ヲシテ居リマスカラ年々ニ漁業が疲弊フシテ來ルノデ傍ラ  
一方ニハ外國カラ續々ト此日本近海ニ於キマシテ侵漁ヲ致シマスカラ是等ノ  
モノヲ以チマシテモ是非今日此案ノ成立ヲ希望致シマスル譯デゴザイマスカ  
ラドウゾ滿場諸君モ速ニ御贊成アランコトヲ希望シマス、又相成ルベクハド  
ウゾ今日ハ切迫ノ場合デゴザイマスカラ成ルベク讀會省略ニナリマシテ可決  
ニナランコトヲ希望シマス

○伯爵中川久成君 贊成致シマス  
○小原重哉君 贊成  
○子爵梅小路定行君 贊成  
○兒玉淳一郎君 贊成  
○渡邊甚吉君 贊成  
○久保田謙君 贊成  
○子爵平松時厚君 贊成

○議長(公爵近衛篤齊君) 讀會省略ハ成立チマシタ、讀會省略ニ御異議ガナ

ケレバ其通ニ致シマス

○男爵尾崎三良君 マダ異議ガアリマス

〔異議ナシ〕ト述フル者多シ

○議長(公爵近衛篤齊君) 可決ト認メルト云フコトノ宣告ヲシマシタ

○男爵尾崎三良君 今發言ヲスル所ヲ……マダ異議ガ有ルトモ無イトモ言ハ  
ヌ中ニ宣告サレテシマツタノデアリマス

○議長(公爵近衛篤齊君) 然ラバ是ハ起立ニ諸ヒマス

○村田保君 併シ一旦採決ニナラタシマツタモノヲ又ヤリ直スト云フコトハナ  
イサウ云フ例ヲ開クコトハ甚ダ困リマス

○議長(公爵近衛篤齊君) 夫デハ尾崎君ハドウゾ御引キヲ願ヒマス

○前田正名君 段々動議モ起ルヤウデゴザイマスガ政府提出案ノ生絲直輸出  
獎勵法案ハ是ヨリ又委員ニ付託セラレナクテハナラヌコト、考ヘマス、モウ  
ハヤ時モゴザイマセヌ、極急ヲ要スル案デゴザイマスカラドウゾ議事日程ヲ  
變更セラレテ……

〔賛成〕ト呼フ者多シ  
○議長(公爵近衛篤齊君) 議事日程ヲ變更シテ生絲直輸出獎勵法案ヲ讀スル  
ト云フコトニ御異議ハゴザイマセヌカ  
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ  
〔男爵尾崎三良君〕異議ガアリマス「ト述フ」  
然ラバ決ヲ採リマス、生絲直輸出獎勵法案ヲ直ニ讀スルト云フコトニ贊成ノ  
諸君ノ起立ヲ請ヒマス  
起立者 多數  
○議長(公爵近衛篤齊君) 過半數ト認メマス  
○三浦安君 切迫ノ際デゴザイマスカラ御急ギハ御尤デゴザイマスケレドモ  
或ハ讀會省略異議ナシデ其後トハ直グニ本案異議ナシトスウナリマスト先程  
ノ尾崎君ノヤウナ紛議ガ起リマスカラドウゾ識案ノ所ダケハ起立ニ問ウテ御  
決シニナルヤウニ一言御注意ノ建議ヲ致シテ置キマス  
○村田保君 本員ハ其必要ハナイト思ヒマス尾崎君ハ異議ガ有ルナレバ早ク  
言ハレバ宜イノデアル  
○男爵尾崎三良君 早ク言フタノデアル、早ク言フタケレドモ議長ハ決セラ  
レテシマツタノデアル是位ノ議案デアルカラ免ニ角一人デモ異議ガアレバ起  
立ニ御問ヒニナルガ至當ニアラウト思ヒマス  
○議長(公爵近衛篤齊君) 然ラバ段々御注意モアリマスカラ成ルベク起立ニ  
問フコトニシマス併シソレダケノ時間ヲ要スルコトデアリマスカラ……通牒  
文ヲ朝讀致サセマス

(阪本書記官朗讀)

生絲直輸出獎勵法案  
右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付  
候也

明治三十年三月二十三日

衆議院議長鳩山和夫

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

生絲直輸出獎勵法

第一條 帝國臣民又ハ帝國臣民ノミヲ社員若ハ株主トスル商事會社ニシテ左ノ條件ヲ具備スル生絲ヲ外國ニ直輸出シタル者ニハ此ノ法律ノ規程ニ依リ生絲直輸出獎勵金ヲ下付ス

一、帝國內ニ於テ製造シタルモノナルコト

一、登録商標ヲ貼付シタルモノナルコト

一、勅令ヲ以テ定メラレタル検査規定ニ合格シタルモノ毎回五百斤以上

第二條 奨勵金ヲ受クヘキ生絲ノ等級及其ノ金額ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三條 詐欺ノ所爲ヲ以テ生絲直輸出獎勵金ヲ受ケタル者ハ二百圓以上千圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ因テ得タル金額ハ之ヲ償還セシメ爾後生絲獎勵金ヲ下付セス

前項ノ罪ヲ犯サムトシテ未タ遂ケサル者ハ刑法未遂犯罪ノ例ニ依リ所斷ス

第四條 前條ノ罰則ハ商事會社ニ在テハ其ノ所爲ヲ爲シタル業務擔當ノ任アル社員若ハ取締役ニ之ヲ適用ス

第五條 此ノ法律施行ニ關スル細則ハ農商務大臣之ヲ定ム

附 則 第六條 此ノ法律ハ明治三十一年四月一日ヨリ明治三十八年三月三十一日マテ七箇年間之ヲ施行ス

○議長(公爵近衛篤磨君) 御發議モナクバ次ノ日程ニ移リマシテ右議案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉ニ移リマス

○伯爵大原重朝君 此特別委員ハ議長ノ指名ニ御委託ヲ致シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 議長ニ委託スルト云フコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

然ラバ今ノ委員ヲ直ニ指名致シマス

伯爵立花 寛治君 男爵小畑 美稻君 柴原 和君

前田 正名君 男爵藤村 紫朗君 男爵菊池 武臣君

平田 東助君 下郷 傳平君 山田 卓介君

○子爵岡部長職君 國庫ヨリ補助スル公共團體ノ事業ニ關スル法律案、此報告ハ差出シテ置キマシタガ極簡單ナ案デゴザイマスカラ此際議事日程ヲ變更シテ議セラレンコトヲ希望致シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 唯今ノ岡部君ノ議事日程ヲ變更シテ唯今ノ議案ヲスルト云フコトニ御異議ガナクバ直ニ開キマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)  
然ラバサウ云フコトニ致シマス、特別委員長報告

(子爵岡部長職君演壇ニ登ル)

○子爵岡部長職君 本案ハ極簡單ナ案デゴザイマスル政府案ニ對シマシテ衆

議院ハ第一條ノ「府縣郡市町村」ト云フ所ノ「府縣郡市區町村」ト云フ「區」ノ字ヲ入レマシタ又第四條ニ於キマシテモ同ク「府縣郡市町村」ト云フ「市」ト「町」ノ間ニ「區」ノ字ヲ入レマシタバカリデアトハ衆議院ハ政府案ノ通ニ可決致シマシテコチラへ回付ニナリマシタノデ此案ハ諸君モ御承知ノ通公共團

體ヘ國庫ヨリ補助ヲ致シタル時ニ公共團體ガ設計ノ通ニ十分ニ其事業ヲ…事柄ヲ運バナイトキニ政府ハ其事業ノ設計施行管理並ニ經費收支ノ方法等ニ

附キ期間ヲ指定シテ之ガ變更ヲ命ジ若シ命ニ從ハザルトキニハ直ニ之ヲ變更スルコトヲ得ルト云フ此主意デアリマスノデ今日マデノ一般ノ取締ニ依リマスト公共團體ニ於テ國庫カラ補助ヲ受ケテ居リマシテモ或ハ設計ノ通ニ事ヲ運バズ怠リ勝チニナリマシタトキニ政府ガソレヲ取締ルノニ十分ナルコトガ出來マセヌノデアリマス、併ナガラ此法案ニシテ法律ト

相成リマスル以上ニハ十分ノ取締ガ著クヤウニ監督ガ行居キマス譯ニナリマスノデ委員會ニ於キマシテハ是ハ至極必要ナルコト、認メマシテ全會一致ヲ以テ速ニ可決ト決シマシタル譯デゴザイマス、諸君ニ於キマシテモ必ズ御異議モゴザイマセヌコト、推察ヲ致シマスル位ノコトデゴザイマスルカラシテ

ドウゾ速ニ御贊成ニナランコトヲ希望致シマス、併テ讀會省略ノ議ヲ提出致シマス

○子爵小笠原壽長君 贊成

○何禮之君 贊成

○男爵安場保和君 贊成

○子爵本莊壽巨君 贊成

○男爵本多正憲君 贊成

○澤原爲綱君 贊成

○渡邊甚吉君 贊成

○子爵小笠原壽長君 贊成

○男爵本多正憲君 贊成

○○澤原爲綱君 贊成

○○議長(公爵近衛篤磨君) 讀會省略ハ成立チマシタ、讀會省略ニハ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

然ラバ讀會ハ省略ニナリマシタ、次ニ本案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵近衛篤磨君) 過半數ト認メマス即チ本案ハ可決ニナリマシタ

○渡邊甚吉君 政府提出ノ案デゴザイマスルガ豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案是ハ政第七十九號ト政第八十號トニゴザイ

マス、之ヲ此間ニ挿シテ議題トセラレシコトヲ希望致シマス

○男爵尾崎三良君 成ルベク議事日程ハ變更セズニヤリタイ銘々是ハ自分ノ受持ノヲ早クヤリタイノハ情デアリマスガ既ニ極マテ居ルノマデ取除ケテセ

ンナラメト云フノハ非常ナ場合ハ免モ角モソレ等ノ如キハサウ急ギハセヌデモ宜カラウト思ヒマスカラ矢張極メテアルヤウニ順ニヤルコトヲ希望致シマ

○渡邊甚吉君 政府提出案デアリマスカラドウカ御贊成ヲ願ヒマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 議事日程變更ノ動議ガ出マシタルカラ決ヲ採リマ

ス、是ニハ異議ガゴザイマスカラ起立ニ問ヒマス

○男爵伊達宗敦君 チヨット伺ッテ置キタイ決ヲ採ルト云フノハドウ云フコトニアリマスカ

○議長(公爵近衛篤曇君) 渡邊君カラ、豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案、之ヲ此際ニヤツテ欲イト云フ動議が出て賛成ガゴザイマス第一讀會デアリマス渡邊君ノ動議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(公爵近衛篤曇君) 起立者 多數

○議長(公爵近衛篤曇君) 過半數ト認メマス、日程ハ變更ニナリマシタ衆議院ノ通牒文ヲ朗讀致サセマス

(阪本書記官朗讀)

豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十年三月二十三日

衆議院議長鳩山和夫

貴族院議長公爵近衛篤曇殿

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス)

明治二十五年法律第四號鐵道敷設法豫定鐵道線路中左ノ線路ハ私設鐵道會社ニ其ノ敷設ヲ許可スルコトヲ得

一岐阜縣下太田ヨリ高山ヲ經テ富山縣下富山ニ至ル鐵道

一富山縣下富山ヨリ新潟縣下直江津ニ至ル鐵道

一新潟縣下新發田ヨリ山形縣下米澤ニ至ル鐵道線中新潟縣下新發田ヨリ中

保内ニ至ル鐵道

一巖手縣下黒澤尻若ハ花卷ヨリ秋田縣下横手ニ至ル鐵道線中巖手縣下黒澤

尻ヨリ秋田縣下横手ニ至ル鐵道

一兵庫縣下姫路ヨリ生野若ハ篠山ヲ經テ京都府下舞鶴又ハ園部ニ至ル鐵道

若ハ兵庫縣下土山ヨリ京都府下福知山ヲ經テ舞鶴ニ至ル鐵道線中兵庫縣

下國包ヨリ同縣下谷川ニ至ル鐵道

一廣島縣下廣島ヨリ島根縣下濱田ニ至ル鐵道

一福岡縣下小倉ヨリ大分縣下大分宮崎縣下宮崎ニ至ル鐵道

一至ル鐵道線中大分縣下大分ヨリ宮崎縣下宮崎ニ至ル鐵道線中福岡縣下久

留米ヨリ山鹿ニ至ル鐵道

一福岡縣下久留米ヨリ山鹿ヲ經テ熊本縣下熊本ニ至ル鐵道線中福岡縣下久

留米ヨリ山鹿ニ至ル鐵道

一議長(公爵近衛篤曇君) 別段ニ御發議ガナケレバ右議案ノ審查ヲ付託スベ

キ特別委員ノ選舉ニ移リマス

○名村泰藏君 委員ハ議長ノ指名ヲ以テ……

○渡邊甚吉君 賛成

○議長(公爵近衛篤曇君) 議長ノ指名ト云フコトニ御異議ガナケレバ其通ニ

取計ヒマス

○伯爵大原重朝君 本員ハ緊急動議ヲ提出致シマス皆サンニ御報告ニ及ンデ

置キマシタ……

○議長(公爵近衛篤曇君) 議事日程ノ變更デゴザイマスカ

○伯爵大原重朝君 ハイ

○議長(公爵近衛篤曇君) チヨット御待下さい唯今ノヲ渡邊君ニ確メマスガ、ソレトモ唯今ノダケモウーツアリマスルガソレモ併テノ御積デアリマスカ、ソレトモ唯今ノダケデアリマスカ

○渡邊甚吉君 豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案

ト云フノガ「政第七十九號」ト「八十號」ト二ツゴザイマス之ヲ願フ積デアリマシタ同ジヤウナノガ一ツアリマス

○議長(公爵近衛篤曇君) 一ツハモウ濟ンダンデス

○渡邊甚吉君 モウーツ

○議長(公爵近衛篤曇君) フレデハ第一讀會ヲ開キマス、通牒文ヲ朗讀致サ

(阪本書記官朗讀)

豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十年三月二十三日

衆議院議長鳩山和夫

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス)

貴族院議長公爵近衛篤曇殿

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス)

明治二十五年法律第四號鐵道敷設法豫定鐵道線路中左ノ線路ハ私設鐵道會社ニ其ノ敷設ヲ許可スルコトヲ得

一岐阜縣下太田ヨリ高山ヲ經テ富山縣下富山ニ至ル鐵道

一富山縣下富山ヨリ新潟縣下直江津ニ至ル鐵道

一新潟縣下新發田ヨリ山形縣下米澤ニ至ル鐵道線中新潟縣下新發田ヨリ中

保内ニ至ル鐵道

一巖手縣下黒澤尻若ハ花卷ヨリ秋田縣下横手ニ至ル鐵道線中巖手縣下黒澤

尻ヨリ秋田縣下横手ニ至ル鐵道

一兵庫縣下姫路ヨリ生野若ハ篠山ヲ經テ京都府下舞鶴又ハ園部ニ至ル鐵道

若ハ兵庫縣下土山ヨリ京都府下福知山ヲ經テ舞鶴ニ至ル鐵道線中兵庫縣

下國包ヨリ同縣下谷川ニ至ル鐵道

一廣島縣下廣島ヨリ島根縣下濱田ニ至ル鐵道

一福岡縣下小倉ヨリ大分縣下大分宮崎縣下宮崎ニ至ル鐵道

一至ル鐵道線中大分縣下大分ヨリ宮崎縣下宮崎ニ至ル鐵道線中福岡縣下久

留米ヨリ山鹿ニ至ル鐵道

一福岡縣下久留米ヨリ山鹿ヲ經テ熊本縣下熊本ニ至ル鐵道線中福岡縣下久

留米ヨリ山鹿ニ至ル鐵道

一議長(公爵近衛篤曇君) 別段ニ御發議ガナケレバ右議案ノ審查ヲ付託スベ

キ特別委員ノ選舉ニ移リマス

○名村泰藏君 此委員ハ前ノト同一委員ニ付託サレルヤウニ願ヒタイ

○渡邊甚吉君 賛成

○議長(公爵近衛篤曇君) 名村君ノ動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス)

○議長(公爵近衛篤曇君) 然ラバ其通決シマス、直ニ唯今ノ委員ヲ指名致シ

マス

豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案特別委員

伯爵島津忠亮君 子爵岡部長職君 名村泰藏君

周布公平君 澤原爲綱君 市島徳次郎君

吉田三右衛門君 鹿毛信盛君 渡邊甚吉君

○伯爵大原重朝君 議事日程ヲ變更シテ砂防法案ノ第一讀會ノ續ヲ開キタイ

ト思ヒマス

○議長(公爵近衛篤曇君) 議事日程ノ變更ノコトナレバ、チヨット休憩ヲシ

ヤウト思ヒマス、豫算ノ報告モアラウト思ヒマスカラ一時休憩ヲシテ更ニ開

キマス

○伯爵大原重朝君 サウスルト其事ハ既ニ容レラレタノデスカ、後トデ更メ

○議長(公爵近衛篤賛君) 後トデ御發議ヲ願ヒマス

午後四時三十八分開議

○議長(公爵近衛篤賛君) 報告ヲ致シマス  
(有賀書記官朗讀)

委員長副委員長左ノ通り當選セラレタリ

生絲直輸出獎勵法案特別委員會

委員長

副委員長

豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ニ關スル法律案一件特別委員會

委員長

副委員長

傳染病豫防法案

副委員長

右貴院ノ送付ニ係ル政府提出案本院ハ貴院ノ議決ニ同意シ奏上セリ因テ議

院法第五十四條ニ依リ及通知候也

明治三十年三月二十四日

明治三十年三月二十四日

貴族院議長公爵近衛篤賛殿

貴族院議員根岸武香ヨリ臺灣神社設立ニ關スル質問ニ對シ拓殖務大臣ヨリ

答辯書提出ニ付及御回付候也

明治三十年三月二十四日

貴族院議長公爵近衛篤賛殿

貴族院議員根岸武香ヨリ臺灣神社設立ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差

進候也

貴族院議長公爵近衛篤賛殿

(別紙)

貴族院議員根岸武香提出臺灣神社設立ノ件ニ付質問ニ對スル答辯書

故近衛師團長北白川宮能久親王殿下ノ爲メニ一大神社ヲ臺灣ニ奉建シテ殿

下ノ英靈ヲ慰シ新皇土ノ鎮護ヲ祈ラントノ貴衆兩院ヨリノ建議ハ政府モ亦

大ニ贊同スル所ナリ

政府ハ既ニ其地ヲモ略ト定シタリ未タ其經營ノ工ヲ起スニ至ラサルノミ政

府ハ更ニ時宜ヲ見テ貴衆兩院建議ノ旨趣ヲ全フセントヲ期ス

右及答辯候也

明治三十年三月二十四日

拓殖務大臣子爵高島鞆之助

(答辯書參照)

臺灣神社設立ノ儀ニ付質問主意書

故北白川宮能久親王殿下ニハ金枝玉葉ノ御身ニ在ラセナカラ近衛師團長ノ

任ヲ以テ嚮キニ遼東汎塞ノ地ヲ經テ頓ニ炎熱如焚ノ臺灣ニ渡リ險ヲ越ヘ難

申シタノガラ先ニ議セラレンコトヲ希望致シマス

○堪へ勇往奮進千辛萬苦ノ餘其戰功既ニ成ルニ及ヒ瘴毒ノ侵ス所ト爲リ終ニ薨去シ給ヘリ我四千餘萬ノ臣民タルモノ實ニ哀痛遺憾ノ至ニ堪ヘサル所ナリ故ニ臺灣ニ一神社ヲ設立シ之ヲ官幣大社ト爲シ以テ永遠ニ奉祀スルハ啻ニ英靈ヲ慰メ奉ルノミナラス同島ノ民心ヲ定メ我領有ヲ將來ニ鞏固ニスルノ治本タルヘキハ國民一般ノ熱望ニシテ第九議會ニ於テ貴衆兩院滿場一致ノ決議ヲ以テ政府ニ建議スル所アリシモ今日ニ至ルマテ何等ノ企畫アルヲ見聞セス政府ハ本建議ニ對シ如何ノ措置ヲ爲サントスルヤ貴族院議員丸山作樂君外一名提出神祇ニ關スル官廳設置ニ對スル質問ニ對シ内務大臣ヨリ答辯書提出ニ付及御回付候也

明治三十年三月二十四日

内閣總理大臣伯爵松方正義

貴族院議長公爵近衛篤賛殿

貴族院議員丸山作樂君外一名提出神祇ニ關スル官廳設置ニ對スル質問ニ對

シ別紙答辯書差進候也

明治三十年三月二十四日

貴族院議長公爵近衛篤賛殿

内務大臣伯爵樺山資紀

(別紙)

貴族院議員丸山作樂君外一名提出神祇ニ關スル官廳設置ニ對スル質問ニ對スル答辯書

神祇ニ關スル官廳設置ノ儀ハ重要ノ問題ニテ輕々ニ實施スヘキニアラサルヲ以テ目下政府ニ於テ調查中ナリ

右及答辯候也

明治三十年三月二十四日

内務大臣伯爵樺山資紀

(答辯書參照)

貴族院議員谷千城君緊急動議ヲ提出致シマス、是ハ即チ今朝豫算委員ヘ御付託ニナリマシテ五時マデニ御報告ヲ致シテ置キマシタ必要ナル豫算案デゴザイマスル、依ツテ其中前ニ御付託ニナリマシタ總追第五號、特追第六號、特追第七號、總追第五號所屬此四ツヲ先づ議セラレンコトヲ希望致シマス、マダ其後ニ御委託ニナリマシタノガ臺灣ノ分ガ三ツ残ツテ居リマスガ之ガ御仕舞ニナツタ所デ、其後ニアトノガラ議シタイト存ジマス、先づ今申シタノガラ先ニ議セラレンコトヲ希望致シマス

○子爵曾我祐準君 贊成

○渡邊甚吉君 今鐵道ノコトノ委員會ヲ開イテ居リマスカラ御差支ナケレバ

同一委員ニ……

○議長(公爵近衛篤賛君) ソレハ先づ御待下さい、今谷子爵ノ動議が出て居

リマスカラ……谷子爵ノ動議ニ御異議がナクバ其通致シマス

○議長(公爵近衛篤君) 明治三十年度歲入歲出總豫算追加總追第五號、豫算委員長報告  
(子爵谷千城君演壇ニ登ル)

○子爵谷千城君 唯今議事ニ上ツテ居リマスル總追第五號明治三十年度歲入歲出總豫算追加案、是ハ御承知ノゴザンス通皆夫々必要ナルモノアリマシテ殊ニ其中ニハ前委員會杯ニ於キマシテモヤカマシイ議論ガゴザイマシテ委員ヨリ請求スル程ニアリマシタ彼ノ日飢皆既ヲ觀測スル費用杯ト云フモノモ其中ニ混シテ居リマス、總テ委員會ニ於キマシテハ異議ナク可決ニ相成リマシタカラ其思召テ御贊成ニナランコトヲ希望致シマスル、次ニ特追第六號

明治三十年度特別會計歲入歲出豫算追加案、是ハ即チ此鐵道ノ入費ニアリマスル、是レ亦同様皆異議ナシニ可決ニナリマシテゴザイマスルカラ是モドウゾ同様ニ御贊成アランコトヲ希望致シマスル、特追第七號是モ今述べマシタ即チ日飢皆既觀測ノ費用ニアリマスルカラ無論御贊同ヲ願フ譯ニアリマス、ソレカラシテ其次ガ總追第五號所屬豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スルノ件、是レ亦上ノ總追第五號ノ所ニ出テ居リマシタ揚子江、交通ノ補助トシ或ハ茶葉ノ補助トシ水難救災ノ補助皆上ニ出テ居リマスモノニアリマス、唯此年度ヲ割リマシテサウシテ年度ニ於テ請求スルト云フノ法デゴザイマスルカラ何レモ皆異議ナク可決ニ相成リマシテゴザイマスルカラドウゾ其思召テ御協贊アランコトヲ希望シマス

○議長(公爵近衛篤君) 明治三十年度歲入歲出總豫算追加案總追第五號、全部ヲ問題ニ供シマス、朗讀ヲ致セマス

甲號  
歲入臨時部  
第四款 營繕費 金壹萬七百九拾八圓  
第五項 前年度総入金 金拾參萬九千參百六圓六拾參錢七厘  
第一項 前年度総入金 金拾參萬九千參百六圓六拾參錢七厘  
歲出臨時部  
內務省所管  
第十款 改正條約實施準備 諸學校臨時支出金 金千貳百六拾參圓六拾四錢四厘  
第一項 車旅費 金貳千圓  
第二項 雜給及雜費 金貳千六百八拾六圓貳拾六錢  
第三項 文部省所管  
第一款 營繕費 金九百四拾六圓七錢參厘  
第七項 震災修繕費 金九百四拾六圓七錢參厘  
第八項 帝國大學日飢皆既觀測費支出金 金九千拾貳圓  
文部省所管合計金九千九百五拾八圓七錢參厘

第一款 農商務省所管  
第一項 第十一款 補助費 金四萬貳千六百圓六拾六錢  
第三項 航路擴張費 金貳萬貳千六百圓六拾六錢  
第五項 水難救濟補助 金貳萬圓  
遞信省所管

第一款 第十一款 補助費 金四萬貳千六百圓六拾六錢  
第三項 航路擴張費 金貳萬貳千六百圓六拾六錢  
第五項 水難救濟補助 金貳萬圓  
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤君) 甲號全部御異議ハゴザイマセヌカ然ラバ甲號全部ハ可決ト認メマス、次ハ乙號全部ヲ問題ニ供シマス  
(山本書記官朗讀)

乙號

第一宮城集治監煉瓦塀震災改築費  
總額

金貳萬五千五百九拾六圓參拾六錢

金貳萬五千五百九拾六圓參拾六錢

款項 營繕費

項

宮城集治監煉瓦塀震災改築費

金貳萬七百九拾八圓  
明治三十一年度

金貳萬七百九拾八圓  
年額

金貳萬七百九拾八圓參拾六錢

款項 營繕費

項

宮城集治監煉瓦塀震災改築費

○議長(公爵近衛篤君) 御異議ガナタバ原案可決ト認メマス  
〔異議ナシト呼フ者アリ〕  
然ラバ表題ヲ朗讀致セマス  
(山本書記官朗讀)

豫算

第一條 明治三十年度歲入歲出追加額各拾參萬九千參百六圓六拾參錢七厘  
第二條 ト定ム其款項ノ金額ハ別冊甲號歲入歲出豫算ニ據ルヘシ  
明治三十年度歲出豫算追加中別冊乙號所掲ノ費途ハ其規畫スル所

二隨ヒ明治三十一年度ニ瓦ル繼續費ト爲ス  
○議長(公爵近衛篤君) 御異議ハゴザイマセヌカ然ラバ總追第五號ハ可決シマシタ、次ハ特追第六號、明治三十年度特別會計歲入歲出豫算追加案、是モ甲號全部ヲ問題ニ供シマス  
(山本書記官朗讀)

甲號

大藏遞信兩省所管  
鐵道公債金  
第一款 第十一款 補助費 金四萬貳千六百圓六拾六錢  
第三項 大藏省所管  
歲入  
第一款 鐵道公債金 金六百貳拾貳萬七千參百五拾圓

第一項 鐵道公債募集金	金六百貳拾貳萬七千參百五拾圓	歲出 遞信省所管	項 福島青森間鐵道
第一款 鐵道建設費	金六百貳拾萬七千參百參拾參圓	項 八王子名古屋間鐵道	歲出 遞信省所管
第二項 敦賀富山間鐵道	金貳百五拾貳萬七千參百參拾參圓	項 八代鹿兒島間鐵道	歲出 遞信省所管
第三項 福島青森間鐵道	金百六拾萬圓	項 姬路境間鐵道	歲出 遞信省所管
第四項 篠ノ井鹽尻間鐵道	金六拾五萬圓	項 八王子名古屋間鐵道	歲出 遞信省所管
第五項 八代鹿兒島間鐵道	金拾萬圓	項 八代鹿兒島間鐵道	歲出 遞信省所管
○議長(公爵近衛篤君) 甲號全部御異議ハゴザイマセヌカ 〔異議ナシト呼フ者アリ〕	(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス)	然ラバ可決ト認メマス次ハ乙號全部ヲ問題ニ供シマス、是ハ朗讀ヲ省略致シ	マス
鐵道建設費	總額	乙號	〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス〕
金六千八百貳萬五千四拾四圓	內	金六千八百貳萬五千四拾四圓	〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス〕
金六千五百拾八萬圓	明治三十五年度	金八百參拾貳萬六千七百九拾貳圓	金貳百萬圓
金五千六百四拾四萬五千四拾四圓	明治三十六年度	金八百參拾貳萬六千七百九拾貳圓	金四百萬圓
此改定年額左ノ如シ	明治三十七年度	金四百萬圓	金五百拾萬圓
明治三十一年度	明治三十九年度迄支出高	金五百拾萬圓	金五百拾萬圓
金六百貳拾貳萬七千參百參拾參圓	款 鐵道建設費	金五百拾萬圓	金五百拾萬圓
金六百拾萬圓	項 福島青森間鐵道	金五百拾萬圓	金五百拾萬圓
金貳百五拾貳萬七千參百參拾參圓	項 敦賀富山間鐵道	金五百拾萬圓	金五百拾萬圓
金百參拾五萬圓	項 八王子名古屋間鐵道	金五百拾萬圓	金五百拾萬圓
金六拾五萬圓	項 八代鹿兒島間鐵道	金五百拾萬圓	金五百拾萬圓
金拾萬圓	款 鐵道建設費	金五百拾萬圓	金五百拾萬圓
明治三十一年度	款 鐵道建設費	金五百拾萬圓	金五百拾萬圓
金八百參拾六萬四千八百拾參圓	項 福島青森間鐵道	金五百拾萬圓	金五百拾萬圓
金貳百貳拾萬圓	項 敦賀富山間鐵道	金五百拾萬圓	金五百拾萬圓
金百七拾八萬貳百拾七圓	項 八王子名古屋間鐵道	金五百拾萬圓	金五百拾萬圓
金貳百八拾五萬圓	項 篠ノ井鹽尻間鐵道	金五百拾萬圓	金五百拾萬圓
金百參萬四千五百九拾六圓	項 八代鹿兒島間鐵道	金五百拾萬圓	金五百拾萬圓
金五拾萬圓	款 鐵道建設費	金五百拾萬圓	金五百拾萬圓
明治三十二年	款 鐵道建設費	金五百拾萬圓	金五百拾萬圓
金八百七拾壹萬貳千八百七拾四圓	項 福島青森間鐵道	金五百拾萬圓	金五百拾萬圓
金貳百貳拾萬圓	項 八王子名古屋間鐵道	金五百拾萬圓	金五百拾萬圓
金四百萬圓	項 篠ノ井鹽尻間鐵道	金五百拾萬圓	金五百拾萬圓
金七拾六萬貳千八百七拾四圓	項 八代鹿兒島間鐵道	金五百拾萬圓	金五百拾萬圓
金百七拾五萬圓	款 鐵道建設費	金五百拾萬圓	金五百拾萬圓
明治三十三年	款 鐵道建設費	金五百拾萬圓	金五百拾萬圓
金八百七拾四萬參千七百四拾七圓	項 福島青森間鐵道	金五百拾萬圓	金五百拾萬圓
金五百拾萬圓	項 八王子名古屋間鐵道	金五百拾萬圓	金五百拾萬圓
金五百拾萬圓	項 篠ノ井鹽尻間鐵道	金五百拾萬圓	金五百拾萬圓
金五百拾萬圓	項 八代鹿兒島間鐵道	金五百拾萬圓	金五百拾萬圓
明治三十三年	款 鐵道建設費	金五百拾萬圓	金五百拾萬圓
第五款 日蝕皆既觀測費受入金	歲入	金九千拾貳圓	臨時部
第五款 日蝕皆既觀測費受入金	歲入	金九千拾貳圓	臨時部
特別會計豫算	明治三十一年度文部省所管帝國大學歲入歲出豫算追加額及其款項ノ金額ハ別冊歲入歲出豫算ニ據ルヘシ	款 鐵道建設費	項 福島青森間鐵道
第一條 明治三十一年度大藏遞信兩省所管鐵道公債金ノ歲入歲出豫算額及其款項ノ金額ハ別冊甲號歲入歲出豫算ニ據ルヘシ	款 鐵道建設費	項 八王子名古屋間鐵道	歲出 遞信省所管
第二條 鐵道建設ニ係ル繼續費ノ總額及年限年割額ヲ別冊乙號ノ通り改定ス	款 鐵道建設費	項 八代鹿兒島間鐵道	歲出 遞信省所管
○議長(公爵近衛篤君) 御異議ナクバ其通可決ト認メマス 〔異議ナシト呼フ者アリ〕	款 鐵道建設費	項 姬路境間鐵道	歲出 遞信省所管
次ハ特追第七號、明治三十一年度特別會計歲入歲出豫算追加、本案全部ヲ問題ニ供シマス (山本書記官朗讀)	款 鐵道建設費	項 八王子名古屋間鐵道	歲出 遞信省所管
明治三十一年度文部省所管帝國大學歲入歲出豫算追加額及其款項ノ金額ハ別冊歲入歲出豫算ニ據ルヘシ	款 鐵道建設費	項 八代鹿兒島間鐵道	歲出 遞信省所管
文部省所管	款 鐵道建設費	項 姬路境間鐵道	歲出 遞信省所管
帝國大學	款 鐵道建設費	項 八王子名古屋間鐵道	歲出 遞信省所管
歲入	款 鐵道建設費	項 八代鹿兒島間鐵道	歲出 遞信省所管
第五款 日蝕皆既觀測費受入金	歲入	金九千拾貳圓	臨時部

## 第一項 政府支出金 金九千拾貳圓

歲出

第五款 日餉皆既觀測費 金九千拾貳圓  
 第一項 日餉皆既觀測費 金九千拾貳圓

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤齊君) 全部御異議ナクバ原案ニ決シマス、次ハ豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲナスヲ要スルモノ總追第五號所屬、是ハ全部ヲ問題ニ供シマス

〔山本書記官朗讀〕

製茶販路擴張費補助トシテ明治三十年度ヨリ向七箇年間毎年七萬圓ヲ支出スルノ契約ヲ結フコトヲ得

第二

楊子江航通補助トシテ明治三十年度ニ於テ貳萬貳千六百圓六拾六錢同三十一年度ヨリ同二十九年度迄毎年拾四萬九千五百四拾七圓同四十年度ニ於テ拾壹萬貳千百六拾圓參拾七錢ヲ限リ支出スルノ契約ヲ結フコトヲ得

第三

水難救助補助トシテ明治三十年度ヨリ同三十二年度迄毎年貳萬圓ヲ支出スルノ契約ヲ結フコトヲ得  
 ○久保田譲君 チヨット此豫算ノコトニ就イテ大藏次官ニ御尋ヲシタインノデスガ、先達テ總豫算決定後ニ續々追加豫算ヲ出サレマシテ今日ニ至ルマデ殆ド非常ナ數デ豫算ハ議セラレマスガ、此金額ハ總體ドノ位ニナリマスカ、先日ノ田尻次官ノ此議場テノ御話ニハ最早國庫ニハ一文モナイト云フコトデアリマシタガ、其後續々出ル豫算ハナカク少カラヌ額デアルト思ヒマスガ、ドノ位ノ金額ニナリマスカチヨット其事ヲ伺ヒタイ

〔政府委員松尾臣善君演壇ニ登る〕

○政府委員(松尾臣善君) 先達テ以來追加ノ豫算案ヲ出シマシタガソレハ唯

今御議シニナリマシタアノ總追第五號アレノ財源ノ外ハ二十八年度剩餘金デ既ニ取除ケテゴザイマシタノデアリマス、其財源ハ二十八年度ノ剩餘金ヲ以テ支出致シマス、ソレカラ唯今御議シニナリマシタ總追第五號アレハ十三万圓バカリデゴザイマス、アレハ矢張二十八年度ノ剩餘金デゴザイマスケレドモ此三十年度ノ總豫算ヲ經畫致シマシタ時ニハアノ金ハゴザイマセヌ、何故アノ金ガナカクタ申シマスト二十八年度ノ剩餘金ヲ調べベマス時分ハ丁度二十九年六月三十日ノ差引残デ經畫ヲ立テマシタ、ソレカラ二十八年度ノ締切リマス即チ決算ノ日ト云フノハ二十九年十一月末日デアリマスカラ六月三十一日カラ十一月末日マデノ間ニ各地方デ取ッタノガ少シヅツ這入ッテ參リマシタ、ソレガ凡ソ十万圓バカリアリマス、其財源が出來マシタカラ今ノ日蝕トカ茶ノ補助トカ云フヤウナ必要已ムヲ得マセヌモノニ配布シテ豫算ヲ組ン

デ協賛ヲ求メマシタコトデゴザイマス、ソレデ總額ノ上ニ於キマシテハ此十  
 三万圓ト云フモノガ増シマシタバカリデゴザイマス、其邊デ  
 ○議長(公爵近衛篤齊君) 本案御異議ガナクバ

〔贊成ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤齊君) 然ラバ可決ト認メマス  
 ○伯爵大原重朝君 先刻申上ゲマシタ日程ヲ變更シテ砂防法案ノ第一讀會ヲ御開キニナランコトヲ希望致シマス  
 〔贊成ト呼フ者アリ〕

〔贊成ト呼フ者アリ〕

○子爵舟橋遂賢君 本員ハ議事日程ニ依テ進行センコトヲ希望シマス、議事日程ニ依テ進行シタ所ガ一時間カ二時間ヲ争フニ過ギナイ、砂防法案ノ如キハ一時間カ二時間ヲ争フテ議事日程ヲ變更スル必要ハナイト思ヒマス、本員ハ議事日程ニ依テ第十六マデヤリマシテ第十七決議案以下ハアトニ繰下ダマシテ其間ニ報告ノアルモノハ出スコトニ致シマシテ其間ハ矢張緊急動議ヲ以テ議事日程ヲ變更スルコトハ見合ハシテ戴クコトヲ希望シマス、砂防法案ノ如キハ一番オシマイデ宜シカラウト思ヒマス

○子爵小笠原壽長君 本員ハ唯今大原伯爵ノ動議ニ贊成デアリマス

○男爵尾崎三良君 極ツタ日程ニ依テ進行セラレンコトヲ希望シマス  
 ○議長(公爵近衛篤齊君) 大原伯爵ヨリ議事日程變更ノ動議が出マシタ之ニ就イテ決ヲ採リマス、大原伯爵ノ動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス  
 〔起立者 少數〕

○議長(公爵近衛篤齊君) 少數デアリマス  
 ○渡邊甚吉君 是ハ議事日程ノ變更デモチヨウト種類ノ變ツタノデアリマスガ、此鐵道法案ヲ一件委員ニ付託サレマシタモウツ八十一號ノ政府提出案ガゴザイマス、是ハ前申シマスコトヲ落シマシタガ唯今委員會ヲ開いて居リマスカラ同一委員ニ付託セラレンコトヲ希望致シマス  
 〔贊成ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤齊君) 渡邊君ノ說ニ贊成ガアリマスカラ之ニ就イテ決ヲ採リマス

○男爵伊達宗教君 チヨウト渡邊君ノハ分リマセヌ、モウ少シ大キナ聲デ述ベテ下サイ、分リマセヌカラ

○渡邊甚吉君 過刻豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ニ關スル法律案二件ヲ特別委員ニ付託サレマシタガ、其際ニ鐵道ニ關シタ政府提出案デモウ一件提出ヲ致スノデアリマシタガソレヲ取落シマシタ、ソレハ即チ明治二十七年法律第十五號中追加法律案ト云フノデ即チ八十一號、之ヲ同一委員ニ付託サレマスト唯今丁度委員會ヲ開いて居リマスカラ之ヲ持ツテ行ツテ議シマスト少シモ御妨ゲニハナリマセヌ時間ヲ費シマセヌカラドウゾ成ルベク贊成ヲ願ヒマス

○男爵伊達宗教君 サウスルト委員ニ付託スルダケデスネ

〔贊成ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤齊君) 過半數ト認メマス、然ラバ明治二十七年法律第十  
 五號中追加法律案第一讀會ヲ開キマス通牒文ノミ朗讀致シマス

○議長(公爵近衛篤齊君) 過半數ト認メマス、然ラバ明治二十七年法律第十  
 五號中追加法律案第一讀會ヲ開キマス通牒文ノミ朗讀致シマス

(阪本書記官朗讀)

明治二十七年法律第十五號中追加法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十年三月二十三日

衆議院議長鳩山和夫

貴族院議長公爵近衛篤齊殿

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス)

明治二十七年法律第十五號第三項「福岡縣下飯塚ヨリ原田ニ至ル鐵道」ノ次

ニ左ノ條項ヲ追加ス  
政府ハ前項鐵道線路一部ノ敷設ヲ私設鐵道會社ニ許可スル場合ニ於テ本線

路ノ全部ヲ敷設スルノ必要ヲ認ムルニ當リ其ノ會社ニ於テ之カ敷設ヲ爲サ

サルトキハ其ノ建設實費ヲ以テ本鐵道ヲ政府ニ買收シ又ハ他人會社ニ賣渡

サシムル爲メ相當ノ條件ヲ附スヘシ

○議長(公爵近衛篤齊君)之ニ就イテ別段ニ御發議ガゴザイマセヌケレバ右

議案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉ニ移リマス

○子爵堀田正養君 本案ノ特別委員ハ前ノ豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ數

設許可ニ關スル法律案ト同一委員ニ付託シタイト存ジマス

○子爵本莊壽巨君 贊成

○議長(公爵近衛篤齊君) 堀田子爵ノ動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤齊君)然ラバ同一委員ニ付託スルコトニ致シマス

○富井正章君 本員ハ議事日程ノ變更ハ誠ニ好マナイコトニアリマスガ、茲ニ一ツ極簡單ニシテ極メテ重要ナ法律案が衆議院カラ回<sup>ル</sup>テ來テ居リマス、ソレハ特許意匠及商標登録取消ノ審判期間ニ關スル法律案デアリマス、是ハ

僅カ一箇條デ極簡單ナ法律案デアリマス、併ナガラ是ガ萬一此會期ニ於テ議

了ニナリマセヌ時ハ實際商工業者ニ非常ナ弊害ヲ生ズルコト、信ジマス、一言デ申セバ現行ノ特許條例及商標條例ニハ審判期間ガ定メアリマセヌ、ソレ故ニ折角商標ニ附イテ聲價ヲ得ルニ至ツテモ元ト自分ガ使用シテ居<sup>ク</sup>タ商標デアルト云フ名義デ續々取消ヲ求メルコトニナラウト信

標デアルト云フ名義デ取消ヲ求メルコトニナル、殊ニ今度條約ノ結果ニ依テ外國人ガ日本ノまつち製造者其他ノ製造者ニ對シテ是等ノ商標ハ元ト自分ガ

使用シテ居<sup>ク</sup>タ商標デアルト云フ名義デ續々取消ヲ求メルコトニナラウト信

ジマス、サウシテ見レバ此日本ノ製造者ノ中ニ破產スルヤウナモノガ續々出

來テ其結果非常ニ困<sup>ク</sup>コトニナラウト思ヒマス、ソレ故ニ此法律案ハ聞ク

所ニ據レバ昨日衆議院ニ於テ緊急動議トシテ提出ニナッテ滿場一致デ可決セ

ラレタト云フコトヲ聞キマシタ、ソレ故ニ此議案ハ政府提出案デアリマセヌ

カラ何卒委員ニ付託セズシテ即決デ議決ニナランコトヲ發議致シマス

○男爵尾崎三良君 今富井君カラ議事日程ノ變更ノ請求ガアリマシタケレドモ併シ先刻モ成ルベク其既定ノ日程ニ依テヤルガ宜シトイ極<sup>ク</sup>以上ハ單簡ダカラ單簡タカラト云フテ持出シタラ銘々サウ云フコトニナラウト思ヒマス、夫故ニ何時登録ノ取消ヲ請求サレルカモ知レヌ、内國人ノ間デアラウトモサランコトヲ希望致シマス

○菊池武夫君 富井君ノ動議ニ……

○議長(公爵近衛篤齊君)菊池君ハ何デス  
○菊池武夫君 富井君ノ今ノ動議ニ賛成致シマス  
○森山茂君 贊成

○前田正名君 贊成

○山田卓介君 贊成

○議長(公爵近衛篤齊君)「贊成」ト呼フ者多シ

○議長(公爵近衛篤齊君)富井君ノ動議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(公爵近衛篤齊君)過半數ト認メマス、是ヨリ特許意匠及商標登録取消ノ審判期間ニ關スル法律案ノ會議ヲ開キマス、全部ヲ朗讀致サセマス

○議長(公爵近衛篤齊君)「贊成」ト呼フ者多數

○議長(公爵近衛篤齊君)過半數ト認メマス、是ヨリ特許意匠及商標登録取消ノ審判期間ニ關スル法律案ノ會議ヲ開キマス、全部ヲ朗讀致サセマス

○議長(公爵近衛篤齊君)「贊成」ト呼フ者多數

ハ必ズ此法律ニ據テ日本ノ商標デアルトカ何トカ云フヤウナモノハ  
皆是ハ素ト自分ノモノヲ奪フタモノデアルト言ッテ訴ヘラ起シテ來テモ隨分其  
訴ハ勝チサウデアル、サウ云フコトニナルト日本ノ此商工業ト云フモノハ非  
常ニ損害ヲ蒙テ産ヲ倒スニ至ラウト思ヒマスカラ、此ノ如キ期間ヲ設ケテ  
サウ云フ不取締ノナイヤウニスルノハ極テ必要デアラウト思ヒマス、ソレ故  
ニ何卒此案ハ讀會ヲ省略シテ直ニ讀決ニナラシコトヲ希望致シマス

〔贊成〕ト述フル者多シ

○久保田讓君 議長

○議長（公爵近衛篤磨君）久保田君ハ何デス

○久保田讓君 政府委員ニ質問ヲ致シタウゴザイマス

○議長（公爵近衛篤磨君）今政府委員ガ發言ヲ求メマシタカラ……

〔政府委員金子堅太郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員（金子堅太郎君）唯今富井君カラ讀會ヲ省略シテ此特許意匠商標  
ノコトヲ直ニ議決ニナリタイト云フ要求ガゴザイマシタ、之ニ就キマシテハ  
一應政府ノ不同意ノ點ヲ申シマスレバ冗長ニ涉リマス故ニ時期切迫シテ居ル  
今日デアリマスカラ極ク簡単ニ申シマス抑、特許意匠商標ノ如キハ此改正條  
約ノ實施ト共ニ惟リ此審查期限ノミナラズ、各般ノ條項ガ悉ク此改正條約ト  
牽連シテ居ル故ニ政府ニ於テハ特別ノ調查委員ヲ命ジテ是ノミナラズ此新條  
約ニ隨伴シテ我邦ノ工業ヲ發達セセ、又條約ニ據テ得タル外國人ノコトヲ規定  
スル今取調中テゴザイマス、ソレヲ唯今單ニ是ダケヲ讀決スルト云フコトハ  
第一他ノ權衡ヲ失スル、ソレカラ若シ此案ガ通リマスレバ此處ニ最モ諸君ノ  
御考究ヲ請ハナケレバナラヌコトガゴザイマス、此案タルヤ名ハ内地ノ工業  
ヲ保護スルカノヤウニ見エマスケレドモ反對ノ結果ヲ實際ニハ生ジマス、假  
ニ外國人ガ新改正條約ニ據テ一ノ發明トシテ農商務省ヘ特許ヲ請求スル、  
之ヲ農商務省テ審査シテデス、外國ノ人ノ發明ダト言ヒマスカラ歐米ノ國ニ  
於テ用ヒラレテ居ルモノ、又既ニ知ラレテ居ルモノノデアルヤ否ヤト云フコト  
ハ假令數多ノ審查官ガ居リマシテモ神ナラヌ身ノ悉ク千差萬別事物ノ歐米諸  
國ニ存在シテ居ルモノガ分ルト云フコトハ到底出來マセヌ、若シ特許ヲバ與  
ヘタ後、三年カ四年ノ後ニソレハ外國ニ知ラレテ居ル、外國デ既ニ用ヒテ居  
ル、決シテ發明デナイト云フ事實ヲ發見シタ時ニハ是ハ當然取消サナケレバ  
ナラヌ、ソレヲ二箇年ヲ經過スレバ取消スコトガ出來ナイトナレバ日本人ガ  
後ト十四箇年トカ十箇年ト云フモノハ高イモノハ買ハナケレバナラヌ、即  
チ我同胞兄弟ハ此時日ノタメニデス、一ノ外國人ニ特別ニ此法律ガ保護シテ  
其モノガ公ニ知ラレテ居ル公ニ用ヒラレテ居ルト云フ事實ヲ見レバ法律ハ何  
時デモ取消シテ其特許ヲ與ヘタモノヲ取消スト云フコトハ是ハ歐米諸國ノ大  
抵償例デゴザイマス、ノミナラズ……

〔簡單ニ願ヒマス〕ト呼フ者アリ

此新條約ニ據テ工業所有權保護同盟ニ日本政府ハ這入ラナケレバナラヌ、  
日本國家ハ這入ラナケレバナラヌ、這入ラテ後ニ彼我同一ノ權利義務ヲ求メ  
ナケレバナラヌノデ、斯ノ如キコトスルノハ此同盟規約ニ這入ラテ居ル歐

米諸國ニハスノ如キ法律ハナインデゴザイマス、故ニ宇内共通ノ萬國工業所  
有權ノ規約ニ這入ラントスル今日斯ノ如キ片鱗ノ法律ヲ出スト云フコトハ  
到底出來ナイ、ノミナラズ非常ニ日本ノ將來工業商業ニ關係ガゴザイマスカ  
ラ政府ハ此案ニ不同意デアリマス、何卒満場ノ諸君此改正條約ノ結果トシテ  
ニ偏愛偏重スルコトノナイヤウ偏ニ希望致シマス

○富井政章君 極ク簡単ニ答辯致シタウト思ヒマス、唯今政府委員カラ述べ  
マシタ二三ノ點ハ容易ニ反駁が出來ヤウト考ヘマス、第一ニ此特許意匠條例  
ノ中ニ此點バカリデハナイ 改正ヲ要スル所ガ澤山アル、ソレヲ纏メテスル  
コトガ宜シイト云フ御考デアリマスガソレハ誠ニ本員等モ同感デアラテ成ル  
ベクハサウナルコトヲ望ムノデアリマスケレドモ如何センソレガイツ出來ル  
コトデアルヤラ次ノ會期マデニ果シテ出來ルコトカ疑ハシイ、縱令次ノ會期  
マデニソレガ出來ルトシテモ此審查期間ノ事ト云フモノハ次ノ會期マデノ中  
ニモ弊害ガ生ジ得ルデゴザイマスカラ體裁論ハ第二ニシテ一日モ早ク是ダケ  
ノ事ナリトモ弊害ヲ未發ニ防グコトガ必要デアルト考ヘル、ソレカラ又條約  
云々萬國同盟會ニ對シテ云々ト云フコトヲ述ベラレマシタケレドモ條約ニハ  
日本ノ法律ニ依リ云々ト云フコトガアリマスルニ依リマシテ日本人ハ  
條約ニ依リテ立法ノ權能ヲ殺シテ居ルノデナイカラドウ云フ法律ヲ設ケテモ  
宜シイ、然ルニ若シ審查期間ノ如キモノニ附イテ期限ヲ置キマセヌト縱令既  
ニ使用シテ居ラタ商標デアルト申シテモ現ニ登錄ヲ受ケテ其商標ヲ使用シテ  
居ル者ニ對シテ幾年經ッタ後デモ權利ガアルト云フテ此權利ヲ行フコトガ出  
來テハ其商標ノ登錄ノ結果ハ誠ニ效力ノ薄イモノニナッテ詰リ此商工業ノ發  
達ヲ安全ニ保ツコトハ出來マスマイト思ヒマス、ソレカラ萬國同盟會ト云フ  
モノハ是ハ各國ガ自分ノ法律ヲ以テ同盟スルノデアッテ必シモ餘處ノ國ノ法  
律ニ從ハシナラヌト云フコトハナインデアル、日本ハ日本ノ法律ヲ以テ其同  
盟會ニ加ハルト云フコトハ少シモ妨げナインデアル、是ガ萬國ノ法律ニ非常  
ニ齟齬スルト云フコトデアレバソレガ文明諸國ノ慣例ニ背クトカ云フコトデ  
アレバ其同盟會ニ這入ルト云フコトハ困難カモ知レマセヌケレドモ斯ノ如キ  
登錄者ノ權利ヲ永久ニ不安全ニシテ置クト云フコトニ對シテ期間ヲ設ケルト  
云フコトハ極テ相當ノ事デアラテ少シモ萬國同盟會ニ這入ルニ妨トナラズ、  
文明國ノ法律タル精神ヲ失ハスト思ヒマス、詰リ萬國同盟會ニ於テハ斯ウ云  
フ事ヲ極メタ例モ今日ナシ、單ニ開クト云フコトガ極テ居ルノデサウ云フ  
コトハ極ツデ居ラヌ、又日本ハ日本ノ法律ヲ以テ加盟スルコトガ出來ルモノト  
信ズルノデアリマスカラ此點ニ於テハ聊モ心配ナイ事ト考ヘマス

○政府委員（金子堅太郎君）私ハ度々反駁スルコトハ今日ハ好マヌノデゴザ  
イマスガ富井君ガ今御發議ガゴザイマシタカラ尙ホ申シマスガ同盟規約ニ這  
入ラテ居ル歐米ノ諸國ハ其國ノ法律ニ於テ斯ノ如キ審査ノ期間ヲ設ケテ居ル  
國ハ一國モゴザイマセヌ、日本ガ斯ノ如ク各國ト隨伴シナケレバナラヌ、對

等ノ事ヲシナケレバナラヌト云フ時ニ斯ノ如ク外國人ガ日本へ來テ權利ヲ得  
ルニ非常ニ偏愛スル、偏寵スルヤウナ法律ハ非常ニ權衡ヲ失スル、ソレ等ハ  
又詳シク申シマスレバ實ニ已ムヲ得ヌデ私ハモウ一度申シマスガ意匠ノ如キ

ハ三年ガイタチ短イ限デアル、其三年ノ後二箇年過ギテ僅カ一年ノタメニ斯ノ如キ法律ヲ設ケル必要ガアルヤ否ヤト云フコトハ諸君ノ御考ヲ請ヒタイ、又商標ノ如キハ三年ノ間ハ他人ノ侵害シタコトノ審判ヲ受ケラル、ケレドモ三年經テバ出來ナイト云フコトモアルノデソレデ各種ノ條項ニ關聯シテ居リ

マスカラ今日此切迫シタ時ニ斯ノ如キ重大ナル問題、我邦ノ工業ガ將來發達スルヤ、之ヲ阻隔スルヤ妨害スルヤト云フ重大ナ問題、及萬國ノ公法上ニ對等ニ享ケ得ベキ權利義務ノ事ヲバ輕々ニ此貴族院ニ御決議ニナルト云フコトハ誠ニ私ハ遺憾ニ存シマスカラ何卒是ハ委員ニ御付託ニナッテ能ク一ツ諸君ガ國家ノタメ、我邦ノ工業ノタメ、萬國交際ノ上ニ於テ公平ナル御判断ヲ請ヒ

タイト思ヒマス、私ハ徒ニ此案ノ通過ヲ拒バムデハナイ、政府ニ於テ是ノミナラズ各種ノ事ヲソレゾレ調査ヲシテ居ルカラ若シ委員ヲ御設ケニナリマスレバ其席ニ當局者ガ罷出テ能ク諸君ノ御意見モ伺ヒ又當局ノ調べタ所モ申上ダテ共ニ此事ヲ致究シテ我邦ノ工事ヲ發達サセ内地難居ノ際ニ外國人ガ此國ニ這入り又日獨條約ニ於テ今既ニ這入リツ、アル所ノコトヲ公平ニ國家ノタメニ議シタトイ思ヒマスルカラ何卒委員付託ニナッテ十分御調查ニナランコトヲ希望致シマス

○山脇玄君 チヨット政府委員ニ質問致シマス、唯今政府委員ノ申サルノデハ條約實施準備ニ關スル法律審査中ニアルニ依ツテ其方ト共ニ此事ヲ制定シタラ宜カラウト云フヤウニモ聞エマスルシ又一ツニハ縱令準備ガ出來タ曉ニナツテモ此事ハ徹頭徹尾贊成ガ出來ナイト云フヤウニモ聞エマスガソレハ如何ナ御主意デアルカ、ソコヲハッキリト簡單ニ御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(金子堅太郎君) 簡單ニ是カラ御答ヲ致シマス、條約實施準備委員會ヲ開キマシテ今ソレ等ノ條項ヲ委員會ニ調べテ居ルノデ併シ政府ノ唯今見ル所ハ若シ此案ガ通ツタナラバ二箇年ノ後過ギサヘスレバ外國デ公ニ用ヒラレテ居ラウガ三尺ノ童子モ知タテ居ルモノデモ外國人ガ日本ニ這入リテ來テ十箇年カ十二箇年ノ特許ヲ受ケテ我日本人ガ自由ニ出來ル權利ヲ侵害シ又獨リ一外人一外國會社ニ特典ヲ與ヘルト云フコトハ甚ダ權衡ヲ失スルコト、思ヒマス

○山脇玄君 マダ要領ヲ得マセヌガ先キカラノ政府委員ノ御辯明ニ依リマスルト萬國ニ斯ノ如キ規定ガナイニ依ツテドウシテモ日本獨リデ斯ノ如キ規定ヲ設ケルコトハ出來ナイト云フコトニ餘程力ヲ入レテ御辯明ニナッタヤウデアリマスガ然ラバ総令條約實施ノ準備ガ出來マシテモ斯ノ如キ規定ハドウシテモ政府デハ同意出來ナイト、斯ウ云フ御主意ノヤウニ承リマシタガ其邊ハ如何デアリマスカ又政府デハ其審查ガ不十分デアツテ確カニ意見ヲ述ベラレヌト云フ御考デアリマスカ、ソコヲ一ツ確カニ御答ヲ:

○政府委員(金子堅太郎君) 先キニ申シマシタ通唯今準備委員會ニ取調中デゴザイマス、故ニ此委員會ニ日本ノ工業ノ發達ニハ一ノ外國人ニ特許ヲ與程海外ノ情況我ガ國ノ情況ヲ相照シテ而シテ之ヲ徐ニ極メヤウト思フテ今準備シツ、アル間、咄嗟ノ間、諸君ノ御熟考ヲ請ハズ事實ノ調查モセズ此儘本

院ニ於テ直ニ御卽決ニナルト云フコトハ誠ニ遺憾デゴザイマスカラ能ク御調査ヲ願ヒマシテ……夫ニハ委員付託ニナリタイト思フノデアリマス

(富井政章君發言ヲ求ム)

○講長(公爵近衛篤齊君) 富井君ノハ御説デゴザイマスカ二回ノ發言ハ差支ヘマスカラ……

○男爵尾崎三良君 簡單ダカラト云フ御説デアリマンタガ中ニ長クナリマスガ一體唯今政府委員カラモ承リマスレバ隨分此事ニ附イテハ種々ナ議論モアルヤウデゴザイマスガ本員等ハ未だ研究致シマセヌカラ可否ヲ決スルコトハ出來ナツ、果シテ政府委員ノ御説ガ御尤カ又富井君ノ御説ガ御尤カ判断ガ出来マセヌ、是位重大ナ事件ナレバ此際ニ緊急事件トシテ速決スルヤウナコトハ止メドウカ此次ノ議會ニナルヤウニ致スコトヲ希望致ス、唯今ノ問題ニ附イテハ贊成ハ致サナイ

○男爵渡邊清君 尾崎君ニ贊成

○子爵平松時厚君 尾崎君ニ贊成

○議長(公爵近衛篤齊君) 宜シウゴザイマス

○富井政章君 法律ノ研究ニ付イテハ政府委員ト意見ガ違フヤウデアリマスガ其點ニ附イテハ争ヒマセヌ、諸君ノ御判断ニ任スト致シテ此案ヲ特別委員ニ付託スルト云フコトハ詰リ此會期ニ議了セヌト云フコトニナラウト思ヒマスカラ其御覺悟デ御判断ヲ願ヒタイ、然シテ私ハ政府委員ニ御尋ね致シタインノハモウ議論ハ止メテ實際斯ウ云フ規則ヲ設ケズトモ法律ニ缺點ハナイト明言ガ出來マスカ此儘ニ打チヤツテ置テモ何ノ弊害モナイト云フコトハ斷言ガ

出來マスカ、外國人トノ關係ハ暫ク別ニシテ内國人ノ間ニ於テ一旦商標ノ登録ヲシタ物ガ五年十年ノ後ニ於テソレハ自分ノ使用シテ居タル商標デアルト云フノデ續々其登録ヲ取消スト云フヤウナコトガアツテモ其權利ノ安全ヲ保ツコトガ出來マスカ、殊ニ類似ト云フヤウナ淡白ナ言葉ヲ使ツテアリマス類似ノ商標ハ澤山ゴザイマス、是カラ外國人トノ關係ガ深クナリマスト類似ノ商標デアルト云フノデ審判ノ請求ガ出來ルコトガアツト思ヒマス、實際トシテモ斯ノ如キコトガアリマスガ是等ニモ少シモ弊害ガナイト云フコトヲ責任ヲ持ツテ云ヒ得マスカ

(政府委員金子堅太郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(金子堅太郎君) 誠ニ私ハ諸君ヲ煩スノガ度ミデ御氣ノ毒デアリテモ政府デハ同意出來ナイト、斯ウ云フ御主意ノヤウニ承リマシタガ其邊ハ如何デアリマスカ又政府デハ其審查ガ不十分デアツテ確カニ意見ヲ述ベラレヌト云フ御考デアリマスカ、ソコヲ一ツ確カニ御答ヲ:

○政府委員(金子堅太郎君) 先キニ申シマシタ通唯今準備委員會ニ取調中デゴザイマス、故ニ此委員會ニ日本ノ工業ノ發達ニハ一ノ外國人ニ特許ヲ與程海外ノ情況我ガ國ノ情況ヲ相照シテ而シテ之ヲ徐ニ極メヤウト思フテ今準備シツ、アル間、咄嗟ノ間、諸君ノ御熟考ヲ請ハズ事實ノ調查モセズ此儘本

- 伯爵清棲家教君 唯今ノ議事日程變更ノコトニ附キマシテ將來ノ慣例ニモナリマスカラ一應伺ヲテ置キタイ、唯今ノ議長ノ御宣告ニ依レバ貴族院規則デアルカラ滿場ノ多數デアレバ如何ヤウニモ出來ルト云フコトデアリマシタガ將來ノ慣例ニモナリマスカラ一應伺ヲテ置キタウゴザイマスガ貴族院規則ノ六十八條ニ依レバ「政府又ハ衆議院ヨリ提出シタル議案ハ之ヲ委員ニ付託スヘシ」ト云フコトガアリマスルカラ此問題ハ今日ニ限リテ斯ノ如ク議決ニシタト云フコトアレバ宜シウゴザイマスガ唯斯ウ云フコトハ後日ノ慣例ニナリマスカラ一應御意見ヲ伺ヲテ置キタイ
- 議長(公爵近衛篤磨君) 是ハ貴族院規則デアリマシテ此院ニ議決シタ規則デアリマスカラスウ云フ場合ニ於キマシテ院ガ議決スレバ一時中止スル委ト爲ルノデアフテ此事が過去レバ再び貴族院規則ノ六十八條ト云フモノハ復活シテ來ルノデアリマス、サウ云フ考ヲ以テ諸君ニ問フタノデアル
- 〔採決タク〕ト呼フ者アリ
- 議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ決ヲ採リマス、本案第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス
- (議場喧嘩) 少數
- 議長(公爵近衛篤磨君) 少數デアリマシタカ
- 〔分リマシタ〕ト呼フ者アリ
- 議長(公爵近衛篤磨君) 少數デゴザイマス、唯今ノハ否決ニナリマシタ
- 子爵岡部長職君 豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設ヲ許スノ案ニ附キマシテ先刻御付託ニナリマシタノヲ御報告致シテ置キマシタガ是ハ極ク簡單ノモノデアリマスカラ……
- 議長(公爵近衛篤磨君) 少シ靜ニ願ヒマス一向發言ガ聞エマセヌ
- 渡邊甚吉君 岡部子爵ニ贊成
- 三浦安君 願ハクハ議事日程ニ依シテ運ブコトヲ欲シマス餘リ緊急動議ガ出マスレバ議事日程ガ終ラヌヤウニナリマス
- 子爵岡部長職君 是ハ極ク簡短ノ案デゴザイマスカラ是非……
- 男爵尾崎三良君 私モドウカ議事日程ニ依シテ進ムコトヲ希望致シマス成ガアツテ成立タ以上ハ議長ハ採決シナイ譯ニハ行キマセヌ、岡部子爵ノ動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
- 議長(公爵近衛篤磨君) 少數
- 議長(公爵近衛篤磨君) 少數デゴザイマス
- 平田東助君 私モ緊急動議ヲ提出致シマス、私ノハ先刻ノ生絲直輸出案デアリマスガ是ハ今日ノ殖產興業上餘程必要ナモノデアリマス、是非是ハ此際通過ニナリマセヌト大ニ生絲ノ産業ニ關係ヲ及ボシマスカラ是ダケハ特別ニ一ツ諸君ノ御贊成ヲ願ヒタク
- 議長(公爵近衛篤磨君) 少數
- 前田正名君 贊成
- 宮島誠一郎君 贊成

- 議長(公爵近衛篤磨君) 平田君カラ緊急動議ガ出マシタガ是ニ附イテ決ヲ採リマス、平田君ノ動議ニ贊成スル諸君ノ起立ヲ請ヒマス
- 議長(公爵近衛篤磨君) 少數デゴザイマス、然ラバ議事日程第十裁判所構成法中改正法律案衆議院提出第一讀會ニ移リマス通牒文ヲ朗讀致サセマス
- (阪本書記官朗讀)
- 裁判所構成法中改正法律案  
右本院提出案及送付候也
- 明治三十年三月二十二日
- 貴族院議長公爵近衛篤磨殿  
(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス)
- 明治二十三年法律第六號裁判所構成法第百二十一條ヲ左ノ通改正ス
- 第百二十一條 上告裁判ヲ除ク外判事ノ評議ハ之ヲ公行セス但シ豫備判事及試補ノ傍聽ヲ許スコトヲ得
- 判事ノ評議ハ其ノ裁判長之ヲ開キ且之ヲ整理ス公行セサル判事ノ評議並各判事ノ意見及多少ノ數ニ付テハ嚴ニ祕密ヲ守ルコトヲ要ス
- 議長(公爵近衛篤磨君) 別段ニ御發議ガゴザイマセネバ次ノ日程ニ移リマス右議案ノ審查ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉
- 男爵小松行正君 贊成
- 議長(公爵近衛篤磨君) 此選舉ハ議長ノ御指名ヲ願ヒマス
- 議長(公爵近衛篤磨君) 意見デスカ
- 〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
- 議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ其通ニ計ラヒマス、次ハ水害地方地租特別處分法案衆議院提出第一讀會前會ノ續ヲ聞キマス
- 渡邊甚吉君 簡單ニチヨット述ベタウゴザイマス
- 議長(公爵近衛篤磨君) 意見デスカ
- 渡邊甚吉君 ハイ贊成ノコトヲチヨット……
- 議長(公爵近衛篤磨君) ソレデハ演壇デ願ヒマス
- (渡邊甚吉君演壇ニ登ル)
- 渡邊甚吉君 此水害地特別處分法案ハ決シテ後ハ長引クコトデハゴザイマセヌ、唯昨年一箇年ノ地租ヲ免訴スルト云フ丈ケノコトデゴザイマスカラ之ヲ一時贊成ヲ致シタラ又將來斯ウ云フコトガ續々起ルト云フヤウナ御掛念ハナクドウカ御贊成ヲ願ヒタク、實ニ昨年ノ如キ大水害ト云フモノハ前後未曾有デゴザイマシテ岐阜縣ハ實ニ水害國ト申シテモ宜シカラウ屢々水害ガゴザイマスル場所柄ト雖モ昨年ノ如キ水害ハ始テアツタ位ゴザイマスカラ即チ非常ナ場所デゴザイマスデ非常ナ御考慮ヲ以テ彼ノ窮民ヲ御救助下サルヤウニ御贊成ヲ願ヒマス、政府委員ハ二重ノ給與ニナルト云フヤウナコトヲ以テ辯駁ヲサレマシタガ決シテ此事ガ成立チマシテモ備荒儲蓄カラハ出ナイカラ決シテ二重ニハナリマセヌ、彼ノ貸與トカ給與トカ補助トカ申スノハ未ダ給與致シテハナイノデアリマスカラ、是ガ通過致シマシテ免租ニナリマシタ

以上ハツレハヤラヌノデゴザイマスカラ決シテ二重ニナル憂ハ少シモゴザイ  
マセヌ、ドウカ御安心下スフテ、ドウカ是非御贊成ヲ願ヒマス

〔採決ト呼フ者アリ〕

○男爵尾崎三良君 議長

是ハ格別御論モナイヤウデスカラ、二讀會ニ移ルヤ否ヤ

ノ決ヲ探シテ頂キタイ

○議長(公爵近衛篤曆君) 今人數ガ足リマセヌカラ呼ビニヤクテアリマス

○男爵藤村紫朗君 議長

○議長(公爵近衛篤曆君) チヨウト政府委員ニ御尋ネシタイトガゴザイマス

○議長(公爵近衛篤曆君) 少シ待シテ下サイ……此事ニ付テデスカ

○男爵藤村紫朗君 左様

○議長(公爵近衛篤曆君) 宜シウゴザイマス

○男爵藤村紫朗君 政府委員デハ此事ニ附イテ辯駁ハナイノデアリマスカ、

アリマスレバ私ハ一言シタイト思ヒマス

〔モウ止メタマヘト呼フ者アリ〕

○政府委員(男爵田尻稻次郎君) 格別モウ十分申シマシタカラ、アレデ澤山

デアリマス

○議長(公爵伊達宗敦君) マダ餘程足リマセヌカト述フ

○子爵舟橋遂賢君 議案ガアグテ出テ居ナイ人ガアルカラ書記官ガ行フテ

引シ張シテ來テ下サイト述フ

○子爵高野宗順君 部室バカリデハナイ談話室ヤアチコシニ居ルカラ

ドウカト述フ

〔幾人バカリ足リマセヌカト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤曆君) 二人足リマセヌ……ドウカ御著席ヲ願ヒマス

〔富田鐵之助君モウ定足數ニ足リマシタカト述フ〕

○議長(公爵近衛篤曆君) 今勘定シテ居リマス……採決ヲ致シマス、水害地

方地租特別處分法案右二讀會ニ……

○西村亮吉君 私ハ此水害地租特別處分法案ニ少々意見ガアリマスガ既

……

〔モウ宣告シテ仕舞フタト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤曆君) 討論終結ノ動議ハ出テ居ラヌヤウニ思ヒマスガ既

ニ採決ノ場合ニナシテ居リマス

○西村亮吉君 二讀會ニ移シテカラデ宜シウゴザイマス

○議長(公爵近衛篤曆君) 然ラバ本案二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ

請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵近衛篤曆君) 過半數ト認メマス

○男爵小松行正君 直ニ第二讀會ヲ開カレニコトヲ希望致シマス

〔賛成タマシト呼フ者多シ〕

○議長(公爵近衛篤曆君) 直ニ二讀會ヲ開クト云フコトニ御異議ハアリマセ

ヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者多シ〕

然ラバ直ニ二讀會ヲ開キマス

○西村亮吉君 此一條ニ附イテ……

○議長(公爵近衛篤曆君) チヨウト御待チ下サイ本案全部ヲ問題ニ供シマス

朗讀ヲ致サセマス

〔阪本書記官朗讀〕

水害地方地租特別處分法

第一條 本法ハ明治二十九年七月ヨリ十月迄ノ洪水ニ因リテ生シタル損害地ニ適用ス

第二條 荒地ニ至ラサルモ收穫皆無トナリタル土地ニ限り明治二十九年分ノ地租ヲ免除ス

第三條 前條ニ該當スル土地ノ地租延納年賦金ハ明治二十九年分ニ限りヲ免除ス

第四條 本法ニ依リ損害取調中ハ其ノ地租ヲ猶豫ス

第五條 本法施行前ニ徵收シタル既納ノ地租金ハ之ヲ還附ス

第六條 本法ノ施行ニ關シテハ訴願又ハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得ス

第七條 本法ニ依リ處分ヲ受ケムトスル者ハ明治三十年六月三十日迄ニ申出ヘシ若此ノ期限内ニ申出サル者ハ本法ノ處分ヲ受クルコトヲ得ス

第八條 附則

此ノ法律ニ依リテ特免シタル地租ハ法律上總テノ納稅資格中ヨリ

控除セス

〔西村亮吉君演壇ニ登ル〕

〔男爵西五辻文仲君「簡單ニ願ヒマス、長クナリマスト定足數ガ缺ケマスカラト述フ〕

○西村亮吉君 諸君私ハ此第二條ニ附イテ修正ノ意見ヲ持テ居リマス、全體此法案ト云フモノハ隨分奇妙ナ法案デアリマス此法案ハ又此三十年ニモ之ニ類シタ法案ガ亦出來ナキヤアナラヌノデアリマス、ソレニ附イテ色ト此法案ノ修正ノコトヲ考ヘマシタガ詰リ此水害ニ限ラテ特別ノ處分法ト云フコトハ私ハ感服ヲセヌ、併ナガラ最早差掛シテ居ルカラ已ムヲ得ズ是ニ修正シヤウト云フ考ヲ致シマシタ、ト云フモノハ水害サウシテ旱害、蟲害ト云フモノハ隨分之カ爲ニ收穫ノ皆無トナツタト云フコトニ附イテハ實ニ困難ニアリマス、随分是マデ困難ヲ感ジテ居ルノデアリマス、ソコデ此水災ニ此天災ニ罹シタ者ハ地租ノ貸與モ給與モ備荒儲蓄デドレ程此給與ヲシテ居ルカト云フト水災ノタメニ地租ヲ給與貸與シタ者トサウシテ旱害ノタメニ地租ノ給與貸與ヲシタ者ハ年ニ依テハ違ヒマスケレドモ二十七年度ハ殆ド此水災ノ爲ニ地租ノ貸與ニナクヨリカ旱害ノタメニ地租ノ貸與ニナクタ金額ト云フモノハ餘程大キイノデアリマス、詰リ二十七年デハ二十一万七千モ旱災ノタメニ地租ノ給與種穀料等ヲ合セテ是程ニナシテ居リマス、却テ此水災ノ爲ニハ僅カ九万百六十餘圓位ニナシテ居リマス、此水災ト云フモノハ御承知實ニ難義ナモノデアル、併ナガラ烈シウ來テ水災ニ罹シテ旱害ノタメニ地目ヲ變換スルニ依シテ地目變換ニナリマスト十九年以來ノ地租ハ免租ニナリマス、遂ニ免租ニナラヌノハ水湛ニナシテ水ガ引イテシマヘバ跡ハモトノ田畠ト云フモノハ地目ガ變換セヌニ依シテ遂ニ地租ヲ納メナケレバナラヌ、ソレ等ハ皆備荒儲蓄カラ……

〔簡單ニ願ヒマストト呼フ者アリ〕  
貸シ與ヘテ納メテ居ルノデアリマス、ソコデ此昨年ノ備荒儲蓄デ貸シタモノガドレ程貸シテ居ルカト云フト地方デ貸シタモノガ五十九万圓餘地方デ貸シテ居ルノデゴザイマス、ソレデ地方ノ備荒儲蓄ハ法通貸シテマフタ、ソレカラ中央ノ備荒儲蓄カラ支拂ニナツタモノハ八十七万千八百餘圓ニナツテ居リマス、尙ホ此先中央備荒儲蓄金カラ支拂フモノガ百三十二万六千某ト云フモノヲ唯今支拂フ見込ニナツテ居ル趣デアリマス、隨分此地方デハ備荒儲蓄カラ貸與ヘマスルニ地租十圓以上ヲ納ムル者ハ多くハ貸與ヘヌノデアリマス、然ルニ多年ハ非常ノ水災デアツタ故ニ地方ニモ右等ハ十分ニ……

〔簡単ニ簡単ニト呼フ者アリ〕  
廣ク與ヘルヤウニナルヤウニナツタ趣デアリマス、ソレ故ニ中央カラ備荒儲蓄デ救助金ヲ支拂ニナツテ居リマスル、ソコデ私ノ考ヘマスルニハ之ニ今ゴザイマス此地租ヲ免除スルト云フコトニナリマスルト又當年モ昨年ノ如キ水災ニアラズトモ又此ノ如キ案ヲ提出ニナラニヤアナラヌト云フコトニナリマス、附キマシテハ此第二條ヲ改正ヲシテ置キマシテ更ニ此十一議會ニハ私ハ別ニ法案ヲ提出スル考ノシテリ居マス、依ッテ先づ此第二條ヲ改正ヲシマシテ此二條ヲ改正スルニ「洪水ノ爲メ收穫皆無トナリタルトキニ限リ明治二十九年分ノ地租未納金ハ明治三十年ヨリ十箇年以内延納ヲ許可スルコトヲ得」ト斯ウ修正ヲ致シマススルト殆ト免租シタモ同様デアルノデゴザイマス既ニ備荒儲蓄カラハ貸與ヲ受ケテ居ル其上ニ之二十箇年ノ延納ヲ許可ニナリマシタナラバ殆ト此免租同様ナモノデアリマスル、然ルニ此免租スルト云フコトニナリマスルト地租條例ヲ踏ミタル譯デアリマス、ソレデ地租條例ヲ皆無ニスルト云フコトハ私ハ甚ダ殘念……好マヌ方デアリマスカラソレ此ノ如ク修正ヲ致シマス、此修正ガ成立チマスルト此第五條第八條ヲ削除致サヌナラヌノデアリマスドウゾ制規ノ御贊成ヲ得テ此修正案ノ成立チマスヤウ……

○山脇玄君 唯今此全部ガ問題ト爲ツテ居ルヤウデゴザイマスカラ提出者ハ全部ニ附イテ同時ニ御修正ニナツタ方ガ宜カラウト思ヒマス

○西村亮吉君 宜シウゴザイマス、サウ致シマセウ今山脇君ノ御注意ニ依リマシテ尙ホアトノ條ヲ修正ヲ致シマスコトヲ提出致シマス右ノ通第二條ヲ修正ヲ致シマシテサウ致シマス、此修正ガ成立チマスルト此第五條第八條ヲ削除コトガアリマス、是ハモウ必要ハゴザイマセヌニ依ッテ之ヲ削除致シマス、サウシテ尙ホ第八條ノ附則ヲ削除致シマス

〔今一應ト呼フ者アリ〕  
此第九條ニ既納金ヲ還附スルト云フコトニナツテ居リマス、故ニ此第二條ハ唯今私ノ修正ノ通ニ成立チマシテ通過致シマスルト此五條ハ不用ニナリマス依ッテ之ヲ削除致シマス、尙ホ八條モ亦不用ニナリマスニ依ッテ之モ削除致シマス、左様ニ御承知ヲ願ヒマス  
○子爵立花種恭君 チヨツト質問致シマス、修正ヲモウ一度承ヘリタウゴザイマス第二條ノ修正ヲ……

○三浦安君 西村君ノ修正案ニ賛成ヲ致シマス  
○男爵渡邊清君 西村君ニチヨツト……  
〔採決ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤齊君) 渡邊君ニ發言ヲ許シテアリマスカラ……  
○男爵渡邊清君 西村君ニ御尋致シマスガ、二條ヲ修正ニナツタバ二條ハ少シ穩ナラヌヤウニナリハシマセヌカ、不穩當テアラウト思ヒマスガ、三條ハ前條ニ該當スルトキノ地租延納年賦金ト云フモノハ即チ二條デ延納ヲ許シタ延納年賦金ニナルデアリマセウカ、之ヲ明治二十九年分ニ限り之ヲ許スト云フコトニナツタラ不穩當ニナラウト思ヒマスガ、是ハ何ノ修正モナイノデゴザイマスカ

○西村亮吉君 實ハ此三條ハ此儘デ宜シ考デアリマス、ト云フモノハナンデゴザイマス、數年度豫テ年賦金ガアリマス、此二十九年度ニ納ムベキ年賦金ト云フモノハ既ニ皆無ニナツテ其年納ムルベキ分モ延納ニナリマスカラ、ソレ故ニ此第三條ノ其年ノ年賦ニ當ツテ居ル、返納ニ當ツテ居ル金ヲバ免租スルノデ其免租スル譯ハ備荒儲蓄デ借ツテ居ル上ニ尙其年ニ天災ニ罹シテ地租ヲ缺クヤウナ場合ニハ其年ニ備荒儲蓄ニ返スベキモノバ免租スルコトニナツテ居リマス、故ニ此三條ニアル其年ニ當ル年度ノ返納金ハ免租スルコトニ致シテ相當デアラウト思ヒマス

○伯爵正親町實正君 西村君ニ賛成

○議長(公爵近衛篤齊君) 何デス

○伯爵正親町實正君 西村君ニ賛成致シマス

○馬屋原彰君 西村君ニ賛成

○森岡昌純君 賛成

○山脇玄君 賛成

○伯爵正親町實正君 西村君ニ賛成

○森山茂君 賛成

○伯爵大原重朝君 西村君ニ賛成

○伯爵正親町實正君 西村君ニ賛成

○武井守正君 賛成

○子爵鳥居忠文君 賛成

○宮本小一君 賛成

○男爵金子有卿君 賛成

○子爵鍋島直彬君 賛成

○武井守正君 賛成

○子爵稻垣太祥君 西村君ニ賛成

○三宅秀君 賛成

○宮島誠一郎君 賛成

○議長(公爵近衛篤齊君) 西村君ノ修正ニハ定規ノ賛成ガゴザイマシタ

○渡邊甚吉君 唯今ノ修正說ノ動議ガ成立チマシテゴザイマスカ

○議長(公爵近衛篤齊君) 成立シテ居リマス

○渡邊甚吉君 致シマスト尙ホ西村君ニ御再考ヲ願ヒタイト思ヒマシテ發言

○議長(公爵近衛篤齊君) 何デス質問デスカ

○渡邊甚吉君 質問デス、反對ヲ簡單ニ申シ述ベタイノデゴザイマスガ宜シ

○議長(公爵近衛篤脣君) 宜シウゴザイマス  
○渡邊甚吉君 簡單ニ此所デ申述ベマス、成程西村君ノ御論モ絶對的ノ反對  
デナク矢張細民ヲ救濟スルト云フ御趣意カラ出マシテ至極ソレハ結構ナコト  
デゴザイマシテ、或ハソレデモ宜イカ知リマセヌガ、既ニ會期ノ切迫シテ居  
ル場合ニ斯様ナ修正説ヲ御持出シ下サイマシテハ到底反對モ同然デ少シモ此  
細民ノ救濟ニハ此修正説ト云フモノハ役ニハ立タヌノデアリマス、即チ言葉  
ヲ巧ニシテ反對ヲナサルト云フヤウナコトデゴザイマスカラトウカス様ナ修  
正説ニ御賛成ヲ下サリマスルト此水害地方ノ細民ハ非常ニ困難ニ陥リマスカ  
ラ是ハ満場諸君ノ御良心ニ訴ヘマシテ斯様ナ修正説ニハ御反対アランコトヲ  
切ニ希望致シマス

〔採決タ々ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤脣君) モウ御發議ハゴザイマセヌカ、御發議ガナケレバ  
採決ヲ致シマス、西村君ノ修正カラ採決致シマス、其前ニ西村君ノ修正ヲ期  
讀致シマス

第二條洪水ノダメ收穫皆無ト爲リタル土地ニ限り明治二十九年分ノ地租未  
納金ハ明治三十年ヨリ十箇年間延納ヲ許可スルコトヲ得  
ソレカラ第五條ト第八條ガ削除ニナリ、サウ云フ修正デアリマス、問題ハ全  
部ノ問題ニナシテ居リマスカラシテ全部ニ就イテ決ヲ採リマス、西村君ノ修  
正ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(公爵近衛篤脣君) 少數デアリマス、次ハ原案ニ就イテ決ヲ採リマス  
原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵近衛篤脣君) 過半數ト認メマス  
○男爵小松行正君 直ニ第三讀會ヲ開カレシコトヲ希望シマス

〔贊成ト呼フ者多シ〕

○議長(公爵近衛篤脣君) 直ニ第三讀會ヲ開クト云フニ御異議ハアリマセヌ  
カ

〔異議ナシト呼フ者多シ〕

○議長(公爵近衛篤脣君) 然ラバ直ニ第三讀會ヲ開キマス  
〔第三讀會モ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤脣君) 第三讀會ニ御異議ガナケレバ原案可決ト認メマ  
ス、次ハ郡制改正法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續特別委員長報告

(伯爵正親町實正君演壇ニ登ル)

○伯爵正親町實正君 委員會ノ經過並ニ結果ヲ簡單ニ御報道致シマス、委員  
會ニ於キマシテ審査ヲ逐ゲマシタ所、此改正案ノ改正ノ箇條モ種々ゴザイ  
マスケレドモ、詰リ改正ノ要點ト申ス所ハ現今ノ大地主制ヲ廢シ、且ツ複選  
舉法ヲ單選舉法ニ改メルト云フノガ重ナル主旨デアルノデアリマス、デ  
ソレニ就キマシテ審議ヲ遂グマシタ所、詰リ全會一致ヲ以テ否決スルコ

トニ相成リマシタ、其理由ハ詰リ此改正案ハ大地主制ヲ廢シ、且ツ複選舉  
法ヲ單選舉法ニ改メルト云フコトハマダ現今其必要ハ認メナイノミナラズマ  
ダ此郡制施行ノ地ト云フモノハ沿ク全國ニ行渡リテ居ルノデモナシ、就イテ

ハ其實際ノ經驗モ尙未淺イコトデアリマスカラシテ先づ今日ノ所ハ此儘ニ据  
置イテ一向害ナキノミナラズ却テ其方が適當デアラウト考ヘマスル故他日偏  
ク此制度ヲ布イタ上ニ於テ尙ホ其時ニ至リテ不都合ガアレバ徐々ニ是ヲ改正  
スルモ可ナリ、今日經驗ノ積マザル間ニ急イテ之ヲ改メルノ必要ヲ認メナリ  
ト云フ理由デアリマス、是ヲ以テ此度ハ否決ヲ致シテ置キタイト云フコトデ  
是ニ向テ全會一致ヲ以テ否決ニナリマシタ、序ナガラ次ノ議事日程ニゴザイ  
マスル府縣制改正法律案此コトニ附キマシテ御報道致マス是モ前郡制改正法  
律案同様ノ理由ヲ以テ全會一致ヲ以テ否決スルコトニナリマシタ、此段御報  
道致シマス

○議長(公爵近衛篤脣君) 暫時休憩ヲ致シマス

午後六時十三分休憩

○議長(公爵近衛篤脣君) 報告ガアリマス  
(有賀書記官朗讀)

○議長(公爵近衛篤脣君) 一生絲直輸出獎勵法案  
(砂防法案)

右ハ緊急事件トシテ議決相成度此段及請求候也  
明治三十年三月二十四日

貴族院議長公爵近衛篤脣殿  
一豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案二件  
右ハ緊急事件トシテ議決相成度此段及請求候也  
明治三十年三月二十四日

貴族院議長公爵近衛篤脣殿

一明治二十七年法律第十五號中追加法律案

右ハ緊急事件トシテ議決相成度此段及請求候也  
明治三十年三月二十四日

内閣總理大臣伯爵松方正義

貴族院議長公爵近衛篤脣殿

内閣總理大臣伯爵松方正義

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲナスヲ要スル件

右案ニ付本院ハ貴族院ノ修正ニ同意セサルコトニ決議セリ因テ議院法第五  
十五條ニ依リ兩院協議會ヲ開クトヲ請求候也  
明治三十年三月二十四日

明治三十年三月二十四日

貴族院議長公爵近衛篤脣殿

衆議院議長鳩山和夫

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲナスヲ要スル件

右院ハ豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲナスヲ要スル件協議委員ノ數ヲ  
十名ト爲スニ決セリ此段及通知候也  
明治三十年三月二十四日

貴族院議長公爵近衛篤脣殿

重要輸出品同業組合法案

院法第五十四條ニ依リ及通知候也  
明治三十年三月二十七日

衆議院議長鳩山和夫

貴族院議長公爵近衛篤麿殿

森林法案

右貴院ノ回付ニ係ル政府提出案本院ハ貴院ノ議決ニ同意シ奏上セリ因テ讀院法第五十五條ニ依リ及通知候也

明治三十年三月二十四日

貴族院議長公爵近衛篤麿殿  
右貴院ノ送付ニ係ル政府提出案本院ハ貴院ノ議決ニ同意シ奏上セリ因テ讀院法第五十四條ニ依リ及通知候也

北海道鐵道豫定線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案  
明治三十年三月二十四日

衆議院議長鳩山和夫

○貴族院議長公爵近衛篤麿殿  
(伯爵大原重朝君發言ヲ求ム)  
申シマス  
○議長(公爵近衛篤麿君) 先刻御委託ニナリマシタ特別委員ノ氏名ヲ御報道

裁判所構成法中改正法律案特別委員

子爵平松時厚君 子爵本莊壽巨君 子爵久留島通簡君

男爵玉松真幸君 岡内重俊君 兒島惟謙君 水之江浩君 長松幹君

引續イテ會議ヲ開キマス、郡制改正法律案ノ續別段ニ御發言ガ無クバ採決ヲ致シマス、委員會ノハ否決スルト云フノデアリマスソレニ附キマシテ原案ニ附イテ決ラ採リマス、郡制改正法律案ニ讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者  
ナシ

○議長(公爵近衛篤麿君) 起立者ゴザイマセヌ、本案ハ否決ニナリマシタ、

鐵道敷設法中改正法律案ノコトデアリマスルガ……イヤサウデハアリマセヌ、鐵道ノコトニ關スルノデアリマスガ豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲナスヲ要スル件ト云フノデアリマスガソレニ衆議院ニ於テハ同意シナイニ附イテ協議會ヲ要求シテ來マシタコトハ先刻御報道シタ通デアリマスソレデ協議會ノ委員ヲ選舉スルコトヲ此際ニヤリタイト思ヒマス御異議ガナタバ……

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

然ラバ其選舉ヲ行ヒマス

○男爵小松行正君 議長ニ於テ選定ノランコトヲ……

○議長(公爵近衛篤麿君) 議長ニ於テ指名ト云フコトニ附イテ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

然ラバ直ニ指名ヲ致シマス

子爵岡部長職君 子爵曾我祐準君 子爵由利公正君

子爵谷干城君 子爵竹内惟忠君 子爵由利公正君

子爵岡部長職君

男爵渡邊小室信夫君 山脇玄君 平山成信君

生絲直輸出獎勵法案 第一讀會ノ續

○子爵岡部長職君 唯今政府カラ緊急ニ審議アリタイト云フ要求ガアリマシタル此豫定線路中私設鐵道會社ニ許スト云フ案デゴザイマスガ是ハ直グニ日程ヲ變更シテ御議シニナル譯ニハ參リマスマイカ

○議長(公爵近衛篤麿君) サウ云フ動議ヲ御出ニナルノデスカ

○子爵岡部長職君 動議ヲ出シマス

○伯爵大原重朝君 本員ハ少シ異議ガアリマスガ政府カラ要求シテ來タ緊急事件トシテ議決シテクレト云フモノ、中ニ順序ガアリマスカラ其順序ニ依ツテ議セラレントラ希望致シマス

○子爵西五辻文仲君 大原君ニ賛成

○子爵本莊壽巨君 岡部君ニ賛成

○議長(公爵近衛篤麿君) 兩說成立チマシタガ……

○子爵岡部長職君 政府ノ通牒デハ砂防法律案ノ方ガ先キニナシテ居ルヤウデス、ドチラニナリマシテモ宜シウゴザイマスガ二案ヲ續ケテ願ヒタイト云フ

○子爵本莊壽巨君 岡部君ニ賛成

○議長(公爵近衛篤麿君) 然ラバ此間ニ政府ヨリ緊急事件トシテ要求シテ居ル件ヲ議スルト云フコトニ御異議ガナケレバ順序ヲ追フテヤリマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

然ラバ生絲直輸出獎勵法案第一讀會ノ續、特別委員長報告

(平田東助君演壇ニ登ル)

○平田東助君 委員會ノ結果ヲ御報道致シマス、過刻付託ニナリマシタ後早速委員會ヲ開キマシテ段々討議致シマシテゴザイマスルガ此案ハ誠ニ此際蠶業獎勵上必要ナ案ト認メマシテ出席委員ノ全會一致ヲ以テ賛成ヲ表スルコトニ致シマシタソレニ附キマシテ委員長カラ御報道アルベキ筈ニアリマスガ少シク御都合ニ依シテ本員カラ御報道致シマス、但シ衆議院ニ於キマシテ此第二條ヲ削除致シマシテゴザイマス

正ヲ加ヘテゴザイマス、此衆議院ノ修正ニ依リマスルト云フトスノ如ク一々生絲ノ性質ヲ定メマスルト云フコトハ今日斯ウ定メマシテモ段々生絲ノ性質ガ……品位ガ上ボシテ参リマスルニ從フテ行ク行クハドウシテモ變ヘナケレバナラス、是ハ却テ農商務省ニ於テ能ク取調べテ勅令ヲ以テ定メラレタ方ガ便利デアラウト云フコトニ依シテ此修正ガ出來タ趣デゴザイマスル、至極其方ガ當ラ得タ修正ト認メマシテ衆議院ノ修正ニ特別委員ハ通過致シテゴザイマス即チ衆議院ノ修正ニ依リマスルト第一條ノ末項ノ點ニ至リマシテ「生絲検査所ノ検査ヲ經テ第二條各等ニ該當スルモノ毎回五百斤以上ナルコト」ト云フ所ヲ「勅令ヲ以テ定メラレタル検査規程ニ合格シタルモノ」ト云フコトニ修正ニナリマシタノト第二條ノ第一項ハ「獎勵金ヲ受クヘキ生絲ノ等級及其ノ金額ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」ト致シマシタノト又第六條ニ至リマシテハ「七箇年」ト云フノヲ「五箇年」ト致シマシタ是ダケノ修正デゴザイマス至極適當ナ修正ト委員會ニ於テハ認メマシタノデゴザイマス今日ノ殖產興業上ニ必要ナ案デゴザイマスルデドウカ此案ハ修正通過相成ランコトヲ希望致シマス又簡單ナ案デゴザイマスルカラ續イテ讀會省略ヲ以テ議決相成ラン

○男爵船越衛君 讀會省略ニ賛成  
○伯爵大原重朝君 讀會省略ニ賛成  
○子爵堤功長君 賛成  
○渡邊甚吉君 賛成  
○山田卓介君 賛成  
○男爵金子有鄉君 賛成  
○森山茂君 賛成  
○西村亮吉君 賛成  
○前田正名君 賛成  
○名村泰藏君 賛成  
○中村雅真君 賛成  
○澤原爲綱君 賛成  
○議長(公爵近衛篤麿君) 讀會省略ハ成立チマシタ讀會省略ニ御異議ハゴザイマセヌカ  
〔異議ナシト呼フ者アリ〕  
然ラバ本案ニ付イテ決ヲ採リマス本案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス  
起立者 多數  
○議長(公爵近衛篤麿君) 過半數ト認メマス本案ハ可決セラレマシタ、次ハ砂防法案、第一讀會ノ續、特別委員長報告

(伯爵大原重朝君演壇ニ登ル)

○伯爵大原重朝君 砂防法案ノ委員會ノ模様ヲ御報告致シマス、此法案ハ昨年議決ニ相成リマシタル河川法案ト本年過日議決ニ相成リマシタ所ノ森林法ト相俟テ用ヲ爲ス法案デゴザイマシテ大體ニ於テハ一向異議モゴザイマセヌ、ソレヨリシテ逐條審議ヲ致シマシテゴザイマスルガ大略河川法案ト同一ナルモノデゴザイマシテ文字ガ變ッタ所ハゴザイマスルノミデ二三箇條河川トニ附イテ砂防ト變ッタ所モゴザイマスルガ其他一向組織カラ何カラ總テ同一ノモノデゴザイマシテ三法相俟ッテ歩シデ参リマスコトデゴザイマスカラ必要ノ案ト認メテ全會一致ヲ以テ可決致シマシテゴザイマス、此段御報道致シマス、ドウゾ右様必要ノ法案デゴザイマスカラ委員會ノ審議ノ通ニ可決アランコトヲ希望致シマス

(讀會省略モト呼フ者アリ)

是ハ大分條數モゴザイマスカラ讀會省略ハ止メマシタガ讀會省略ト云フ御話ガゴザイマスカラドウカ讀會省略ニナリマシテ速決アランコトヲ希望致シマス

○武井守正君 賛成

○子爵小笠原壽長君 賛成

○武井守正君 賛成

○子爵山口弘達君 賛成

○議長(公爵近衛篤麿君) 第二讀會ヲ直ニ開クト云フコトニ御異議ハゴザイマセヌカ  
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○伯爵大原重朝君 議事日程ヲ變更シテ直ニ第二讀會ヲ速ニ開カレンコトヲ希望シマス

○議長(公爵近衛篤麿君) 過半數ト認メマス

○子爵立花種恭君 三浦君ニ賛成  
○子爵内藤政共君 三浦君ニ賛成  
○子爵平松時厚君 三浦君ニ賛成  
○男爵尾崎三良君 三浦君ニ賛成餘リドウモ如何ニ法律ト雖モ斯ノ如キ法案ヲ一讀モセズニパツト云ッテシマフハ餘リ甚シイト思イマスカラ是ハドウソ...  
○男爵小松行正君 チヨット私ハ讀會省略ニ反對ノ御方ニ申シマスガ御修正レマシタラバ(聽取シ難シ)豫望ノゴザイマセヌ以上ハ讀會省略シマシテモ...  
○男爵尾崎三良君 ヨボウトハ何デスカ分リマセヌ  
○男爵小松行正君 ヨボウトハ豫メ望ムト云フノデ豫メ修正ニナリマス望ミガ...  
○議長(公爵近衛篤麿君) 議會省略ハ成立マセヌ、賛成者ガ少ウゴザイマス若シモ御發議ガアリマスナラバ承ヘリマセウガ、ナケレバ第二讀會ニ移ルヤ否ヤノ決ヲ採リマス、第二讀會ニ移ルベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス  
起立者 多數  
○議長(公爵近衛篤麿君) 過半數ト認メマス  
○伯爵大原重朝君 議事日程ヲ變更シテ直ニ第二讀會ヲ速ニ開カレンコトヲ希望シマス  
○議長(公爵近衛篤麿君) 第一章 総則  
○子爵堤功長君 賛成  
○議長(公爵近衛篤麿君) 第二讀會ヲ直ニ開クト云フコトニ御異議ハゴザイマセヌカ  
〔異議ナシト呼フ者アリ〕  
○子爵山口弘達君 賛成  
○議長(公爵近衛篤麿君) 然ラバ第二讀會ニ移リマス、第一條ヨリ第二十條マデヲ問題ニ供シマス朗讀ハ省略致シマス  
砂防法  
○子爵小笠原壽長君 賛成

第一條 此ノ法律ニ於テ砂防設備ト稱スルハ主務大臣ノ指定シタル土地ニ於テ治水上砂防ノ爲施設スルモノヲ謂ヒ砂防工事ト稱スルハ砂防設備等ノ爲ニ施行スル作業ヲ謂フ

第二條 砂防設備ヲ要スル土地又ハ此ノ法律ニ依リ治水上砂防ノ爲一定ノ行爲ヲ禁止若ハ制限スヘキ土地ハ主務大臣之ヲ指定ス

第三條 此ノ法律ニ規定シタル事項ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ主務大臣ノ指定シタル土地ノ範圍外ニ於テ治水上砂防ノ爲施設スルモノニ準用スルコトヲ得

第四條 第二條ニ依リ主務大臣ノ指定シタル土地ニ於テハ地方行政廳ハ治水上砂防ノ爲一定ノ行爲ヲ禁止若ハ制限スルコトヲ得

第五條 ト思ヒマスカラ異議ヲ唱ヘマス

第六條 前項ノ禁止若ハ制限ニシテ他府縣ノ利益ヲ保全スル爲必要ナルカ又ハ其利害關係一府縣ニ止マラサルトキハ主務大臣ハ前項ノ職權ヲ施行スル

コトヲ得  
第五條 地方行政廳ハ其ノ管内ニ於テ第二條ニ依リ主務大臣ノ指定シタル  
土地ヲ監視シ及其ノ管内ニ於ケル砂防設備ヲ管理シ其ノ工事ヲ施行シ其  
ノ維持ヲナスノ義務アルモノトス  
第六條 砂防設備ニシテ他府縣ノ利益ヲ保全スル爲必要ナルカ又ハ其ノ利  
害關係一府縣ニ止マラサル場合ニ於テハ主務大臣ハ之ヲ管理シ又ハ其ノ  
工事ヲ施行シ又ハ其ノ維持ヲナスコトヲ得  
前項ノ場合ニ於テハ主務大臣ハ其ノ砂防設備ニ因リ特ニ利益ヲ受クル公  
共團體ノ行政廳ニ命シテ其ノ工事ヲ施行セシメ又ハ其ノ維持ヲナサシム  
本條ノ場合ニ於テハ主務大臣ハ此ノ法律ニ依リ地方行政廳ノ有スル職權  
ヲ直接施行スルコトヲ得

第七條 地方行政廳ハ其ノ管内ノ下級行政廳ヲシテ砂防工事ヲ施行セシメ  
又ハ砂防設備ノ維持ヲナサシムルコトヲ得

第八條 他ノ工事、作業其ノ他ノ行爲ニ因リ砂防工事ヲ施行スルノ必要ヲ  
生スルトキハ地方行政廳ハ其ノ行爲ヲナシタル者ヲシテ其ノ工事ヲ施行  
シ又ハ其ノ砂防設備ノ維持ヲナサシムルコトヲ得

第九條 行政廳ハ砂防工事ノ請負ヲナスコトヲ得ス

第十條 砂防工事ノ請負ノ制限ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十一條 第二條ニ依リ主務大臣ノ指定シタル土地ニ對シテハ勅令ノ定ム  
ル所ニ從ヒ地租其ノ他ノ公課ヲ減免スルコトヲ得

第十二條 第二條ニ依リ主務大臣ノ指定シタル土地ノ監視及砂防設備ノ管  
理、維持並砂防工事ニ要スル費用ハ府縣ノ負擔トス

第十三條 砂防工事ニ要スル費用ハ其ノ一部ヲ國庫ヨリ府縣ニ補助スルコ  
トヲ得

前項國庫ノ補助額ハ工費豫算ノ三分ノ二ヲ超過スルコトヲ得ス

本條ノ補助金ハ精算ノ上其ノ費用ノ三分ノ二ヲ超過スルコトアルモ其ノ  
超過額ヲ還付セシメサルコトヲ得

災害ニ因リ必要ヲ生シタル砂防工事ニ要スル費用ハ本條ニ依ルノ限ニ在  
ラス

第十四條 第六條ニ依リ主務大臣ニ於テ砂防設備ノ管理及維持ヲナシ又ハ  
砂防工事ヲ施行スル場合ニ於テハ其ノ費用ハ國庫ノ負擔トス

前項ノ場合ニ於テハ主務大臣ハ府縣ヲシテ前項費用ノ三分ノ一以内ヲ負  
担セシムルコトヲ得

前項ニ依リ府縣ノ負擔スヘキ金額並其ノ年度割及納付期限等ハ主務大臣  
之ヲ定ム

第十五條 地方行政廳ハ其ノ管内ノ下級公共團體ヲシテ砂防ニ關スル費用  
ノ一部ヲ負擔セシムルコトヲ得

第十六條 砂防工事ニシテ他ノ工事、作業其ノ他ノ行爲ニ因リ必要ヲ生  
スルモノナルトキハ其ノ費用ハ工事ノ必要ヲ生スル程度ニ於テ其ノ原因タ  
ル工事、作業其ノ他ノ行爲ニ關シ費用ヲ負擔スル者ヲシテ之ヲ負擔セシ  
ムルコトヲ得但シ河川法第三十二條第二項ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十七條 砂防工事ニシテ他ノ府縣若ハ其ノ府縣内ノ公共團體ニ於テ著シク  
利益ヲ受クルモノナルトキハ其ノ府縣若ハ其ノ府縣内ノ公共團體ヲシテ  
其ノ費用ノ一部ヲ負擔セシムルコトヲ得

第十八條 此ノ法律若ハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ依リ行政廳ノ命シ  
タル事項ヲ遵守スル爲ニ要スル費用ハ特別ノ規程ヲ設ケタル場合ヲ除タ  
ノ外其ノ命ヲ受ケタル者ノ負擔トス  
第十九條 公共團體ハ砂防工事若ハ砂防ニ關スル費用ノ爲寄付ヲナスコト  
ヲ得  
第二十條 公共團體ハ砂防ニ關スル費用ニ付キ私人若ハ其ノ區域内ノ下級  
公共團體ニ補助ヲナスコトヲ得  
○議長(公爵近衛篤齊君) 第一條ヨリ第二十條マデ別ニ御異議ハゴザイマセ  
ヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤齊君) 然ラバ原案ニ決シマス、次ハ第二十一條ヨリ第四  
十八條マデ問題ニ供シマス

第二十一條 公共團體ハ砂防ニ關スル費用ニ付キ利害關係ノ厚薄ヲ標準ト  
シテ其ノ區域内ニ於テ不均一ノ賦課ヲナスコトヲ得

第二十二條 砂防工事ノ爲必要ナルトキハ地方行政廳ハ管内ノ土地若ハ森  
林ノ所有者ニ命シ補償金トシテ時價相當ノ金額ヲ下付シテ其ノ所有ニ係  
ル土石、砂礫、芝草、竹木及運搬具ヲ供給セシムルコトヲ得但シ時價ニ  
關シテ協議整ハサルトキ又ハ所有者不明ナルトキ若ハ其ノ所在不明ナル  
トキハ地方行政廳ハ相當ト認ムル金額ヲ供託シテ本條ノ供給ヲナサシム  
ルコトヲ得

第二十三條 砂防ノ爲必要ナルトキハ行政廳ハ第二條ニ依リ主務大臣ノ指  
定シタル土地又ハ之ニ隣接スル土地ニ立入り又ハ其ノ土地ヲ材料置場等  
ニ供シ又ハ已ムヲ得サルトキハ其ノ土地ニ現在スル障害物ヲ除却スルコ  
トヲ得

前項ノ適用ニ依リ損害ヲ受ケタル者ハ使用若ハ除却ノ後三箇月以内ニ補  
償金ヲ請求スルコトヲ得

第二十四條 第二條ニ依リ主務大臣ノ指定シタル土地ノ所有者若ハ關係人  
ハ行政廳若ハ其ノ命ヲ受ケタル私人に於テ其ノ土地ニ砂防工事ヲ施行シ  
又ハ砂防設備ノ維持ヲナスコトヲ拒ムコトヲ得ス

第二十五條 法律、命令若ハ許可認可ノ條件ニ違背シタル工事、設備若ハ  
工作物ノ管理ニ因リ損害ヲ受ケシメタル者ハ其ノ損害ヲ賠償スヘシ  
トヲ得

第二十六條 此ノ法律ニ依リ行政廳ニ於テ下付スヘキ補償金若ハ賠償金ハ  
其ノ行政廳ノ直接ニ管轄スル公共團體ノ負擔トス

第二十七條 砂防設備ニリ生スル收入ハ府縣ニ歸ス但シ地方行政廳ハ之ヲ  
ノ所有者又ハ其ノ砂防設備ノ施設者ニ下付スルコトヲ得

第二十八條 砂防設備ニシテ其ノ公用ヲ廢シタルトキハ地方行政廳ハ之ヲ  
ノ砂防設備ノ現在スル土地若ハ森林ノ所有者ニ下付スルコトヲ得

第二十九條 第四條ニ依リ主務大臣若ハ地方行政廳ニ於テ一定ノ事項ニ  
シテ許可ヲ受ケシメタル場合ニ於テ必要ト認ムルトキハ主務大臣若ハ地方  
行政廳ハ其ノ許可ヲ取消シ若ハ其ノ效力ヲ停止シ若ハ其ノ條件ヲ變更シ  
ハ設備ノ變更若ハ原形ノ回復ヲ命シ又ハ許可セラタル事項ニ因リ生

スル害ヲ豫防スル爲ニ必要ナル設備ヲ命スルコトヲ得

第三十條 法律、命令若ハ許可ノ條件ニ違背シタル者ハ行政廳ノ命スル所ニ從ヒ其ノ違背ニ因リテ生スル事實ヲ更正シ且其ノ違背ニ因リテ生ス

第三十一條 地方行政廳ハ第二條ニ依リ主務大臣ノ指定シタル土地監視ノ爲竝砂防設備管理ノ爲吏員ヲ置クヘシ其ノ定員、給料、手當、職務權限ノ竝其ノ費用ノ負擔者等ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十二條 主務大臣ハ砂防ニ關スル行政ヲ監督ス

此ノ法律ニ規定シタル事項ニシテ主務大臣若ハ地方行政廳ノ認可ヲ要スルモノハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十九條及第二十條ニ規定シタル事項竝此ノ法律ニ依リ行政廳ニ付與シタル職權ニ關シテハ命令ヲ以テ制限ヲ設クルコトヲ得

第三十三條 他ノ府縣若ハ他府縣内ノ公共團體若ハ私人ヲシテ費用ヲ負擔セシムル爲ニ必要ナル手續ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十四條 主務大臣ハ地方行政廳ニ命シテ砂防工事ヲ施行セシメ其ノ他此ノ法律ニ規定シタル地方行政廳ノ職權ヲ施行セシムルコトヲ得

第三十五條 義務者ニ於テ此ノ法律若ハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ依ル義務ヲ履行セス若ハ之ヲ履行スルモ必要ノ期限内ニ終了スルノ見込ナキトキ又ハ其ノ履行ノ方法宜ヲ得サルトキハ主務大臣若ハ地方行政廳ハ自ラ之ヲ執行シ又ハ第三者ヲシテ之ヲ執行セシムルコトヲ得

第三十六條 私人ニ於テ此ノ法律若ハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ依ル義務ヲ怠ルトキハ主務大臣若ハ地方行政廳ハ一定ノ期限ヲ示シ若シ期限内ニ履行セサルトキ若ハ之ヲ履行スルモ不充分ナルトキハ五百圓以内ニ於テ指定シタル過料ニ處スルコトヲ豫告シテ其ノ履行ヲ命スルコトヲ得

第三十七條 此ノ法律若ハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ規定シタル事項ニ關シ保證金ヲ納付セシタル場合ニ於テハ行政廳ニ於テ直ニ之ヲ其ノ

前項保証金ハ他ノ債權ノ爲ニ差押フルコトヲ得ス

第三十八條 此ノ法律若ハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ依リ私人ニ於テ負擔スヘキ費用及過料ハ此ノ法律ニ於テ特ニ民事訴訟ヲ許シタル場合ヲ除ク外行政廳ニ於テ國稅ノ滯納處分ニ關スル規程ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得

前項ノ費用及過料ニ付キ行政廳ハ國稅ニ次キ先取特權ヲ有スルモノトス此ノ法律若ハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ依リ公共團體ニ於テ負擔スヘキ費用ニ關シテハ此ノ法律ニ於テ特ニ民事訴訟ヲ許シタル場合ヲ除ク外主務大臣若ハ地方行政廳ハ必要ナル場合ニ於テハ金額ヲ定メテ之ヲ其ノ豫算表ニ掲ケ其ノ他必要ナル處分ヲ指揮シ直ニ其ノ金額ヲ支出セシムルコトヲ得

第三十九條 此ノ法律若ハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ依リ行政廳ニ付與シタル職權ハ行政處分ニ依リ之ヲ強制スルコトヲ得

第四十條 此ノ法律若ハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ規定シタル事項ニ關シテハ砂防觀察ノ職務ヲ有スル官吏ヲレテ命令ノ定ムル所ニ從ヒ其ノ豫算表ニ關シテモ亦本條及前條ヲ準用ス

行政廳ノ許可若ハ認可ニ附シタル條件ニ關シテモ亦本條及前條ヲ準用ス此ノ法律若ハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ規定シタル事項ニ關シテハ砂防觀察ノ職務ヲ有スル官吏ヲレテ命令ノ定ムル所ニ從ヒ

察官ノ職權ノ全部若ハ一部ヲ執行セシムルコトヲ得

第四十一條 此ノ法律ニ規定シタル私人ノ義務ニ關シテハ命令ヲ以テ二百圓以内ノ罰金若ハ一年以下ノ禁錮ノ罰則ヲ設クルコトヲ得

第四十二條 此ノ法律若ハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ依リ主務大臣若ハ地方行政廳ノナシタル處分ニ對シテ不服アル私人若ハ公共團體ハ主務大臣ニ訴願スルコトヲ得

此ノ法律ニ依リ行政訴訟ノ提起ヲ許シタル場合ニ於テハ主務大臣ニ訴願スルコトヲ得ス

第四十三條 此ノ法律若ハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ規定シタル事項ニ關シ行政廳ノ違法處分ニ依リ權利ヲ毀損セラレタリトスル私人若ハ公共團體ハ前條ニ依リ訴願ノ裁決ヲ經タル後行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得

但シ主務大臣若ハ地方行政廳ノ處分ニ對シテハ直ニ之ヲ提起スルコトヲ得

第四十四條 第二十五條ニ依リ損害賠償ヲ請求スル私人若ハ公共團體ハ損害ヲ受ケタル日ヨリ三箇月以内ニ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第四十五條 第二十二條若ハ第二十三條ニ依リ下付スヘキ補償金額ニ對シ不服アルトキハ行政廳ニ於テ金額ノ通知ヲナシタル日ヨリ六箇月以内ニ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得但シ第二十三條ノ場合ニ於テ補償金請求ノ後六箇月以内ニ其ノ金額ノ通知ナキトキハ其ノ期限經過後六箇月以内ニ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第四十六條 此ノ法律若ハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ規定シタル事項ニ關シテハ本章ノ規程ニ依リ特ニ許シタル場合ヲ除クノ外訴願若ハ行政訴訟ヲ提起シ又ハ行政廳ニ對シ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得ス

第四十七條 此ノ法律ハ明治三十年四月一日ヨリ施行ス

此ノ法律ヲ施行スル爲ニ必要ナル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十八條 第二條ニ依リ主務大臣ノ指定シタル土地ニ在ル從來ノ砂防ニ關シテハ勅令ヲ以テ特別ノ規程ヲ設クル場合ヲ除クノ外此ノ法律ノ規程ニ依ル

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤慶君) 御異議ガナケレバ可決ト認メマス、即チ是デ第二讀會ハ終リマシタ

○伯爵大原重朝君 議事日程ヲ變更シテ直ニ第三讀會ヲ開カレシコトヲ希望致シマス

○男爵西五辻文仲君 贊成

○議長(公爵近衛篤慶君) 直ニ第三讀會ヲ開クコトニ御異議ハゴザイマセヌ



明治三十年四月一日ヨリ施行スト云フ衆議院ノ案デアリマシタ所ガ是ハ段々  
研究ヲ致シテ見マスト此第十五條ノ刪除ノコトニ就イテハ凡ソ國家ノ收入ガ  
百万圓餘ニナリマシテクレハ即チ歲入ノ豫算ニ現レテ居ルノデアリマス然ル  
ヲ本年四月一日ヨリ之ヲ施行スルト申スコトニナリマスレバ業ニ已ニ本院デ  
議決ニナッテ居ル所ノ歲入ノ所ガドウモ相應ゼナイヤウナ形ニナリマスカラ  
是ハ一年ノ所ハ即チ此儘ニ措イテ三十一年ノ四月一日ヨリ施行スルト云フコト  
ニ修正ヲ致シマシタ、其餘ハ總チ衆議院ノ案ノ通ニ第十五條及第十九條ヲ刪  
除スルコトニナリマシタ此段御報告致シマス、右ニ就キマシテハ最早此議案  
ニ附イテ意見ヲ述ベタイコトモアリマスガ唯今ニナッテハ實ニ喋々述ブル譯  
合ニセ参リマセヌガ併カガラ此案ニ附キマシテハ政府ニ於キマシテハ絶對的  
ニ反對ヲ委員會デ述ベラレマシタニ附キマシテハ此ソレニモ拘ラズ斯ノ如ク  
刪除ヲ致ス所以ノモノハ昨年來段々ト陳述ヲ致シマシタ通此全體ニ登錄稅ト  
云フモノニ餘程苛酷ニ渉ル情狀ガ多クアリマシテ全體ニ就イテモ段々異論ハ  
アリマシタケレドモ就中此戸籍ニ關スル所ノ第十五條及十九條ノ取除ケハア  
リマスケレドモ第五條ノ人事ニ關スル所ノ所謂冠婚葬祭ニ附イテノ稅ヲ納メ  
ルト云フ大體ニ於キマシテハ甚ダ國家言フベカラザルノコトニ立至リマシテ遂  
ニハスヤウナ人事ノ上ニ就イテ稅ヲ課スルト云フ所ノ結果即チ此第一國家ノ  
目的トスル所ノ戸籍ノ調製ト云フ方整理ト云フ方ニ附キマシテ大イナル紊亂  
ヲ來タサウト云フコトハ昨年來飽マデ論ジマシタケレドモ是ハ一方ヨリ論ヲ  
立テレバ西洋各國ニ於テモ斯ノ如キコトハ必要ナ稅源デアルト云フ點ヨリ致  
シテ政府ニ於テハ熱心ニソレヲ主張サレマシタ、又本院ニ於キマシテモ遂ニ  
少數ヲ以テ否決致シマシタガ本年ハ衆議院ニ於キマシテモ十分其邊ノ所ヲ研  
究ニ研究ヲ加ヘテ實際ノ有様ヨリ致シテ多數ノ評決ヲ以テ本院ニモ送付ニ  
ナツタ次第デアリマスガ本院ニ於キマシテモ我ニノ見ル所デハ僅カ百万圓位  
ノタメニ大蔵ナル國家必要ノ此戸籍ノ紊亂ヲ來タスヤウナ例ヲ開クト云フコ  
トハ甚ダ宣シクナイコトデアルカラ是ハ斷然人事ノコトニ附イテハ冠婚葬祭  
等ノ事ニ附イテ死亡或ハ出生婚姻等ノ事ニ附イテ稅ヲ課スルト云フコトハ斷  
然廢止ニナリマシテサウシテ愈々以テ此戸籍ノ整頓ノ上ニモ整頓ヲ加ヘルヤ  
ウニ致シタナラバ其金ノ直打ヨリモ國家將來ニ取ッテ大ナル利益ヲ得ルデア  
ラウト云フ目的ヨリ致シテ此ノ如キ削除ノ說ヲ議定致シタ次第デアリマシテ  
モウ是ハ實際ヨリ申セバ政府ニ於テハ之ヲ十分筋ノアル稅源デアルト申サレ  
マスケレドモドウ日本ノ歴史ヨリ慣習ニナッテ居ル所ニ徵シテ見マスレバ  
中々此今日日本以下ノ者ノ實際ニ於キマシテハ冠婚葬祭出生等ノ事ニ附イテ  
稅ヲ出シテ届出ヲ爲スト云フヤウナコトハ甚ダ困難ナ事情ガアツテ遂ニハ漸  
次ニ戸籍ノ紊亂ヲ來スヤウナコトニナルト云フハ疑モナイコトデ即チ之ヲ今  
日机ノ上デ考ヘテ見マスレバ差寄リ東京府下ナドニハ隨分是ハ續々届出テ來  
ルト云フコトモアリマスケレドモソレハ我日本國ノ人民ノ純良ナル一タビ此  
法律が出マシタ以上ハ大抵ナコトハ忍ンテ届出ツルニハ相違アリマセヌケレ  
ドモ是ハ則チ所謂收斂家が唱ヘル所ノ濡手拭ヲ絞レバドレダケデモ汁ガ出ル  
モウナイト思ツテモ絞テ見レバ出ルト云フノト一般ノコトデ其届出ヲスルノ  
ハ當然デナイト云フノト同シコトデ色ニ西洋各國デハ正當ナル稅源デアルト  
云フコトモ政府委員ナドハ申サレマスケレドモ是ハ西洋各國ノ國ノ成行ヨリ  
致シテ西洋ニ於テハ大事ノ稅源デモアリマセウケレドモ日本國ニ於キマシテ

ハ左様ナ人事ノ大事ト申スベキ冠婚葬祭等ノ事ニ附イテ稅ヲ納メルト云フコ  
トハ最不得策ナコトデアラウト考ヘマスカラ最早其邊ハ我ニノ喋々俟チマ  
セズ實際ニ照シテ満場ノ諸君が御考案ヲ下サイマシタナラバ決シテ此削除ハ  
不當ナコトデナク國家ニ於テハ大ナル利益ヲ見ルコトデアラウト云フコトヲ  
ドウゾ御信用下サレマシテ此案ニハ御贊成アランコトヲ希望致シマス  
○子爵谷干城君 別ニ御異議モナイヤウデゴザイマスカラ決ヲ御採リニナッ  
テハ如何デゴザイマス  
○議長(公爵近衛篤磨君) 別ニ御發議モナクバ採決シマス、本案第二讀會ヲ  
開クヘントスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス  
○議長(公爵近衛篤磨君) 開クヘントスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス  
○男爵小澤武雄君 直ニ第二讀會ヲ開カレンタメニ議事日程ノ變更ヲ求メマ  
ス  
○議長(公爵近衛篤磨君) 過半數ト認メマス  
○議長(公爵近衛篤磨君) 直ニ第二讀會ヲ開クト云フコトニ御異議ガナクバ  
直ニ開キマス  
「異議ナシ」ト呼フ者多シ  
○議長(公爵近衛篤磨君) 直ニ第二讀會ヲ開キマス朗讀ヲ致サセマス  
(阪本書記官朗讀)  
○議長(公爵近衛篤磨君) 登錄稅法中刪除法律案  
○議長(公爵近衛篤磨君) 右本院提出案及送付候也  
○議長(公爵近衛篤磨君) 明治三十年三月十五日  
○議長(公爵近衛篤磨君) 貴族院議長公爵近衛篤磨殿  
○議長(公爵近衛篤磨君) 明治二十九年法律第二十七號登錄稅法中第十五條及第十九條ヲ刪除ス  
○議長(公爵近衛篤磨君) 此ノ法律ハ明治二十年四月一日ヨリ施行ス  
(阪本書記官) 委員會ノ修正ハ此法律ハ明治三十一年四月一日ヨリ  
○議長(公爵近衛篤磨君) 委員ノ修正ガ若シ成立チマスルト此議案ハ(聽取シ難シ)原  
案ノ通ガ宜カラウト思ヒマス  
(谷君ニ賛成ト呼フ者アリ)  
○議長(公爵近衛篤磨君) 少數ト認メマス、然ラバ原案ノ通ト認メテ宜シウ  
○議長(公爵近衛篤磨君) 御發議ガナクバ決ヲ採リマス、委員會ノ修正ニ贊  
成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス  
(異議ナシ)ト呼フ者多シ  
○議長(公爵近衛篤磨君) 起立者 少數  
○議長(公爵近衛篤磨君) 少數ト認メマス、然ラバ原案ノ通ト認メテ宜シウ  
○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ二讀會ハ終リマシタ  
○子爵梅小路定行君 直ニ第三讀會ヲ開カレ  
〔賛成ト呼フモノ多シ〕

○議長(公爵近衛篤曆君) 直ニ第三讀會ヲ開クコトニ御異議ハアリマセヌカ  
〔「異議ナシ」と呼フ者多シ〕

○議長(公爵近衛篤曆君) 然ラバ直ニ第三讀會ヲ開キマス……本案ハ確定ト  
見テ宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵近衛篤曆君) 然ラバ確定致シマシタ、チヨヲト此際報告ガゴザ  
イマス

〔「異議ナシ」と呼フ者多シ〕

見テ宜シウゴザイマスカ

衆議院ヨリ左ノ通牒ヲ受領シタリ

海上衝突豫防法中改正法律案

右貴院ノ送付ニ係ル政府提出案本院ハ貴院ノ決議ニ同意シ奏上セリ四テ議  
院法第五十四條ニ依リ及通知候也

明治三十年三月二十四日

衆議院議長鳩山和夫

貴族院議長公爵近衛篤曆嚴

株式會社十五銀行株式華族世襲財產ト爲スノ件法律案

右貴院ノ送付ニ係ル政府提出案本院ハ貴院ノ議決ニ同意シ奏上セリ四テ議  
院法第五十四條ニ依リ及通知候也

明治三十年三月二十四日

衆議院議長鳩山和夫

貴族院議長公爵近衛篤曆嚴

衆議院ヨリ政府提出煙草製造營業者煙草稅現金收納ニ關スル法律案ヲ受領

シタリ

○議長(公爵近衛篤曆君) 次ハ千葉縣茨城縣境界變更法律案、第一讀會ノ續  
特別委員長報告

(男爵小澤武雄君演壇ニ登ル)

○男爵小澤武雄君 本員ハ特別委員長ハ今日ハ不參ニ附キマシテ、代テ委  
員會ノ經過結果ヲ御報道ニ及ビマス、此委員會ハ數回開キマシテ、種々討論

ノ末ニ原案ヲ可決スベキモノト委員會ハ決定ヲシマシタ、抑、此千葉縣茨城縣

ノ境界ノ起リト申スモノハ去ヌル十八年ノ洪水ノトキニ餘程茨城縣ニ於テ損  
害ヲ被ムツタコトガアル、ソレデ此境界ヲ變更ヲセネバナラヌト云フコトガ

茨城縣千葉縣一起ツタサウテガス、ソレデ其後ニ千葉縣ニ於テモ今度ノ案ノ通

○子爵谷千城君 意見ヲ述べテ宣シウゴザイマス

○議長(公爵近衛篤曆君) 宜シウゴザイマス

(子爵谷千城君演壇ニ登ル)

○子爵谷千城君 意見ヲ述べテ宣シウゴザイマス

○議長(公爵近衛篤曆君) 今モウコチラニ發言ヲ許シマシタ

(子爵谷千城君演壇ニ登ル)

是ハ決シテ偶然ノコトデナインデ前カラノ即チ谷千城ノ歴史ニアル抑、其郡

界國界等ヲ容易ニ變更スルト云フモノハ甚ダイケナイ、前ニモ既ニ申シタコ

トガアルガ、ソレデ此古イ地誌其他書物ノ此歷史ト云フモノガアル、ソレ

ウデガス、ソレデ其譯ハ此利根川ノ堤防ガ千葉縣ニ屬シテアル部分ハ勿論堅

固ニ致シマスケレドモ茨城縣ノ飛地ノアル所ハ僅カ飛地アルモノダカラ其

三決議ヲシテ、其末上申ヲシテアル、又茨城縣ニ於テモ矢張之ヲ茨城縣ノ方

ニ引受ケナケレバドウモナラナイト云フ決議ヲシテ其筋ニ上申ヲシテアルサ

ス、ソレヲ掛ケルコトハ嫌デアル、又茨城縣ノ方デハサウ云フ薄弱ナ堤防ガ

アラテハ苦痛ヲ感ズルカラ茨城縣ノ方ニ害ヲ爲スカラソレヲ引受ケタイト云

フ概略斯ウ云フ意味デアル、ソレデサウ云フヤウニ兩縣會ノ輿論トシテ即チ

主務省ニ上申モシテアルモノナラバ何故今マデ主務省ニ於テハ之ヲ採用スル

トカセヌトカ云フコトヲ決シナカツタカト云フコトヲ委員會ニ於テ尋ねテ見  
マスト云フト、此利根川ノ修築上ニ就イテ種々取調ベタコトガアツテ、ソレ  
ガ極マルマデハ此境界ノ變更ヲシテ置イテモ再ビ其結果トシテ變ズルコトガ  
アラウカト云フ恐レガアルニ依クテ主務省ニ於テハ此境界變更ト云フコトハ  
議案トシテ出スマデニ至ラナカツタ所ガ近頃ニナツテ、其調ハ出來テ最早此  
境界ガ變更ニナツテモ差支ハナイ川ノ改修ノ如キニ於テハ少シモ差支ガナイ  
ト云フコトニアリマス、ソレデ委員會ニ於テハソレニモ同意スル位ナレバ  
何故政府ハ進ンデ此事ヲ提出ヲセナイデアルカ、甚ダ一體此冷淡ニ過ギルデ  
ハナイカト云フコトニモ論究シタノデアル、然ルニ主務省ノ答辯ニ依ルト是  
ルト云フコトニアリマス、ソレデ委員會ニ於テハソレニモ同意スル位ナレバ  
變更ト云フコトハ獨リ是ニ止マラナイ、マダ外ニモアル、ソレデアルカラソ  
レト共ニ調べテデナクテハ一地方タケヤルコトハ出來ナイカラ、其調ニ時日  
ガ掛ルカラ、今日提出スルコトハ出來ヌ、併ナガラ斯様ニ衆議院ヲ通過シテ  
參タル上ハ少シモ異存ハナイト云フコトニアリマシタ、ソレデ委員會ニハ  
諸君モ御承知ニナツテ居リマセウガ隨分數回委員會ヲヤクテ討論モヤリ或ハ  
横利根ト申ス所ノ謂ノ十六島其他ノ分ヲ千葉縣ニ遣スト云フ修正說モ出マシ  
タケレドモ是ハ少數ニ依クテ否決サレマシテ、即チ原案ノ通ニ可決ニナツテ  
譯アリマスカラ、速ニ諸君ノ御協賛アランコトヲ希望致シマス

○子爵本莊壽巨君 チヨヲト委員長ノ報告ニナツタコトニ就イテ質問ガアリ

マスガ、此法案ハ委員會ニ於テハ多數ニ依クテ可決スベキモノノト議決ニナツ

タト云フダケノ御報告デアリマシタガ、委員會ニ於テハ開ク所ニ據テ見ル  
ト僅カ一人ノ差位デ可決ニナツテ居ルト云フコトデスガ、果シテサウデアリ  
マスカ

○男爵小澤武雄君 略論ニ反對デアル

(「ひやく」と呼フ者アリ)

○子爵谷千城君 意見ヲ述べテ宣シウゴザイマス

○議長(公爵近衛篤曆君) 今モウコチラニ發言ヲ許シマシタ

(子爵谷千城君演壇ニ登ル)

○子爵谷千城君 本案ハ……本員ハ今小澤君ノ報告ニナリマシタ可決スベシ

ト云フ論ニ反對デアル

(「ひやく」と呼フ者アリ)

○子爵谷千城君 意見ヲ述べテ宣シウゴザイマス

○議長(公爵近衛篤曆君) 今モウコチラニ發言ヲ許シマシタ

(子爵谷千城君演壇ニ登ル)

○子爵谷千城君 本案ハ……本員ハ今小澤君ノ報告ニナリマシタ可決スベシ

ト云フ論ニ反對デアル

(「ひやく」と呼フ者アリ)

○子爵谷千城君 意見ヲ述べテ宣シウゴザイマス

○議長(公爵近衛篤曆君) 今モウコチラニ發言ヲ許シマシタ

(子爵谷千城君演壇ニ登ル)

ソレデ此千葉縣ト茨城縣トノガハドウ云フコトカト云フヲ見ルト、必ズ其贊成スル人ハ斯ウ言フ、千葉縣ノ方ニモ固ヨリ希望シテ居ル、又茨城縣ノ方ニモ希望シテ居ル、テ兩方ノ縣會ガ多數ヲ議決シテ居ルト斯ウ云フコトヲ言フ、是モ吾ミハ受取レナイ、元トミ千葉ノ方ト云フモノハ御承知ノ通此長イモノデ牛ノ角見タヤウニ出張テ居ル、ソコデ此地方稅等ノ關係ニ依ツテカラニコチラヘ附イタ方ノ側ハ人民ガ少ナニ、コチラガ多イカラ、其縣會ノ多數ニ依ツタレバソレハ厄介拂ト云フヤウナコトヲ多數ヲ得ルカ知レナイ、ケレドモ是ハ不人情ナ話テ同ジ縣ノ者デアリ乍ラソレヲ割イテシマフテ向ニヤッタレバ誠ニ厄介拂デアル、斯ウ云フヤウナコトハ誠ニ宜敷ナイ、殊ニ今度ノガハドウ云フコトカト云フテ見ルト郡界デハナイ、國ヲ割クノデアル、ソレデ斯ウ云フヤウナコトガ始終成立ツテハ誠ニ困ル、ソレデ私ハ容易ニ郡界國界ヲ變更スルコトハ大不同意デアル、況ヤ兩方ノ人民ガ皆得納シテ居ルカラ格別一方ガ不服ヲ唱ヘテヤカマシク云フモノヲ壓制デヤルノハ甚ダ宣シクナイ、ドウゾ是ハ永ラク此通ニ來テ居ルモノデアリマスカラシテ此儘ニ据置カル、コトヲ希望スル、ドウゾ我ミノ意見ヲ御贊成アランコトヲ希望シマス

(子爵曾我祐準君演壇ニ登ル)

○子爵曾我祐準君 本員ハ此案ニハ贊成スル者デアル、谷君ト多クノコトニ附イテハ諸君モ御承知ノ通同意見ヲ持チマスルガ此儀ニ附キマシテハ絶對的ニ反對デアリマス、谷君ノ言ハレタコトヲ攻擊サヘスレバ十分足レリト思ヒマス、谷君ハ頻ニ歴史ヲ説カレル、成ル程歴史ハ一通御尤モデアル、サリナガラ是ヘ人爲デスルノデナイン殆ド天が自然ニ爲シテ居ルデ、河ヲ眞ン中ニ置イテ其河ヲ以テ境ヲスルノデ兩縣ノ人民ハ元來好ムノデハナイ、唯歴史歴史ト云フテモ昨年ノ如キハ四五十モ郡ノ名ヲ變ヘタコトガアル、歴史モ皆其證據ヲ失フ是ハ時勢ノ變遷デ殊更ニ歴史ヲ破ブルノハ好マヌコトデアルガ世ガ開ケルニ從ツテ交通モ繁クナリ河ノ流モ變ツテ來タリスルト時ニ依ツテ修正シナケレバナラヌ中ミ神武帝ノ時代ニハコンナ格好デハナカツタラウト思フ、日本ノ格好ハ……ソレハ段々時ニ依テ歴史ガ變テ來ルカラ歴史々ト云ツテ歴史ニ拘泥スルコトハ保守主義ノ人ハイザ知ラズ、我ニハ取ラヌ、又谷君ハ人民ガ好マヌト云ハレルガ人民ノ多數ハ好ンダ、即チ兩縣會ガ議決シテ度ニ上申シメノデモ明デアル、多數ノ人民ハ好ンダト云ハナケレバナラヌ、ソレカラ政府カ持ツテ來レバ宜イト言ハレル、是ハ分ラヌ全體谷君ノ如キ此ノ如ク、政府ヲ御信用ニナツテ居ルノハ僕ハ始テ知ツタ、政府ノスルコトヲハ氣ニ入ラヌト仰シヤリナガラ之ニハ御贊成ナサル、本員ノ如キハ矢張他ノコトノ如ク同ク信用ヲ置カナイ、大概コンナコトデ諸君モ御分リニナツタラウト思フ依テ本案ヲ贊成致シマス

○男爵船越衛君 私ハ反對説ヲ述ベタウゴザイマスガ、其前ニ政府委員ニチヨット御尋シタイコトガアル去ル十一日本案ガ出マシタ其節政府委員ニ此度縣域變更ノ場所ヲ一應見ラレタカト云フコトヲ御尋致シマシタガ、其節政府委員ハ私ニ答ヘテ曰クアナタ方ガ臺灣ヲ知ラナイト一つコトデアル、斯ウ云ウト思フ依テ本案ヲ贊成致シマス

○男爵船越衛君 私ハ反對説ヲ述ベタウゴザイマスガ、其前ニ政府委員ニチヨット御尋シタイコトガアル去ル十一日本案ガ出マシタ其節政府委員ニ此度縣域變更ノ場所ヲ一應見ラレタカト云フコトヲ御尋致シマシタガ、其節政府委員ハ私ニ答ヘテ曰クアナタ方ガ臺灣ヲ知ラナイト一つコトデアル、斯ウ云フコトデ甚ダ解シ難イ、實ハ直グ仕返シテ問フ筈デゴザイマシタガ他ノ委員會ガアタ委員會カラ頻ニ喚ビニ參ッテ居リマシタカラ竟ニ其儘措イテ置キマス

シタ、之ヲ一應御尋シテ其上私ノ意見ヲ述ベマス私ガ臺灣ニ行カナイト一ツコト、云ハレタノハ即チ三崎君デゴザイマシタカラ三崎君カラ御答ニナルヤウニ願ヒマス

(男爵小澤武雄君演壇ニ登ル)

○男爵小澤武雄君 今度ハ報告ヂアリマセヌ、意見ヲ述ベマス、曾我君ガ大概言フテ吳レマシタガ少シ足ラナイ所ガアル、此縣域ノ變更ト云フモノハ元利根川ノ堤防ノコトカラ原因シテ居ルモノデアル、ソレヲバ谷君ノ説ニ據ルト千葉縣ノ中ノ茨城縣ニ接シテ居ル所ハ長イ所デ一番先キデアル、ソレヲ假令縣會ガ決シテモソレヲ向フノ縣ニ割イテヤルナドト云フノハ誠ニ無情ナコトデアル、可哀サウナコトデアル、ソンナコトハセヌガ宜イト斯ウ云フコトデアリマシタガ、或ハサウカモ知レナイ、併ナガラ千葉縣ノ縣會ハ再三向フニヤリタイト云フコトヲ決議シテ其筋ニ申出テ居ルノデアルカラ千葉縣ノ輿論トシテ向フニヤリタイト申シテ居ルニ相違ナイ、又向フニ取ラレルモノハ悉ク反對ヲシテドウゾ千葉縣ニ残ツテ居リタイカト云フマスト當院ニモ請願ガ出テ居ル、今度ドウゾ速ク向フニヤツテ欲シイト云フ請願モ出テ居ルノハ諸君モ御承知デアリマセウ、ソレデ行キトモナイト云フ人モアリマス、併ナガラソレハ一部份ノコトデアルノデアルカラ悉ク此千葉縣ノモノガ一人モ残ラズヤツテ吳レイト云フヤウナコトハ世ノ中ニアルベキ苦ハナイ、ソレデ是ハ無論輿論ノ歸スル所ヂヤラウト思フ、又谷君ハ政府カラ出セバ宜イ、曾我君ハ政府ヲ信用シナイト云フコトデアツタノデスガ、是ハ曩ニ本員ガ申請ベテ置イタノデ是ハ出ス場合ガナイカラ政府ガ未タ出サナイ、併シ出シテモノハモノハ誠ニ願ミルニ足ラナイト思ヒマスカラ速ニドウゾ可決アランコトヲ望ミマス

○子爵板倉勝達君 私ハチヨツト政府委員ニ質問シタイ、今ノ問題ニナツテ居ル茨城千葉兩縣ノ中千葉縣ノ者四百名程ガ東京ニ來テドウカ是マテノ通分割ニナラヌヤウニシタイト歎願シテ居ルト云フコトハ果シテ事實デアルカ、委員長ノ報告ニ據ルト人民ガ即チ千葉縣デモ分割ヲ願シテ居ル、然ル所縣會モ代表者アルカ知ラヌガ是ハ少數ノコト、四百名モ舉テ願フト云ヘバ隨分多數ガ分割ヲ望マヌヤウニ思フガ、果シテ左様デアリマスカ、チヨツト之ヲ伺ロタイ(政府委員三崎龜之助君演壇ニ登ル)

○政府委員(三崎龜之助君) 御答ヲ申シマス、千葉縣ノ此度縣域ノ變更ノ局部ニ當ツテ居ル所ノ人民ハ殆ト反對ト云フテ宜イ位、ソレカラ東京ヘ……内務省アタリヘ此件ニ附イテ面會ヲ求メ且ツ反對ノ趣旨ヲ陳情スルタメニ百五十名モ參ツタコトハ事實デゴザイマス

○男爵船越衛君 先刻政府委員ニ尋ねマシタコトハ答ガゴザイマセヌデ、強イテ答ハ要シマセヌカラ私ノ意見ヲ述ベマス

(男爵藤村紫朗君發言ヲ求ム)

〔男爵船越備君演壇ニ登ル〕

君モ述ベラレマシタヤウニ國ノ境域ヲ變へ、縣ノ境ヲ變更スルコトハ餘程大

對デゴザイマス、先刻小澤君ヨリ本案ニ附イテノ意見ヲ御述ニナリマシタ其中最モ勢力ノアル說ハ縣會議員モ茨城ヘ遣ルコトヲ千葉ノ方カラ建議シタト

云フコトハ是ハ現實ヤツタコトデ其譯ハ先刻谷君モ述ベラレマシタヤウニ千葉縣ノ此地形ハ横飼ヒニ出來テ即チ東北カラ西南ヘ長ク流レテ居ル、房州ノ境カラ即チ此度縣域ヲ變更セウト云フ利根川マヂハ五十里カラアル、ソレデ

縣會議員モ多クハ此利根川ヲ能ク知ラナイ、房州ノ人ハ無論ノコト、上總ノ人モ能ク知ラナイ、且ツ上總房州下總モ半ハ川ノ害ヲ被ルコトハナイ、ソコ

デ出水ノアル度毎ニハ此利根川ノ害ヲ被ラヌ、ソレ故痛痒關セヌ人ハ唯金サヘ要ラニヤア宜イト云フコトカラ一時ノ客氣デ縣域ノ變更ヲ云フコトアル、現ニ其始ハ去ル十八年私ガ千葉縣ニ奉職シテ居シタガ其時ハ大層ナ水害デ此度

縣域變更セウト云フ所ガ餘程ヒドク破損致シマシテ其節房州上總ノ方ハ道路ヲ修繕シナクチヤアナラズ然ルニ水害デ河川ヲ損害致シマシタカラソレデ金ガ要ルノデ、或ハ道路修繕ノ全ヲ其方ニ用ヒルト云フヤウナコトガゴザイマシテソコデ大キニ其房州或ハ上總下總半バノ人達ハ何ニアレサヘナケレバ宜イジャアナイカト云フヤウナコトデアル、然ルニ前云フ一時ノ客氣デ之ヲ茨城ニ遣ラウト云フコトガアツタ、其節モ段々私モ事情ヲ說諭シテ一應建議ハ致シマシタケレドモ遂ニ其事ハ罷ンダガ、動モスルトサウ云フコトガアル……

〔簡單ニ願ヒマス「ト呼フ者アリ〕

〔簡單ニ述ベマスガ、少シ理由ヲ述ベタイン……ソレデ此縣會ガ單ニ決議シタカラソレデ輿論ダト云フ譯ニハ往カナイ……〕

〔ひやく「ト呼フ者アリ〕  
ソコガ誠ニ苟クモ職ヲ地方ニ奉シテ居ル者ハ其實情ヲ採ラヌデ唯一時ノ勢ヒデ縣會ガ議決シタカラ直グニ就クト云フト誠ニ後悔スル、然ル處昨年復大水害ガアツテ既ニ又先年ノヤウナ害ヲ被ムル、然ルニ其害ヲ被シタ所ハドウカト云フノニ無論千葉縣ノ堤防モ切レタケレドモ茨城ノ上ノ方ノ堤防モ二箇所モ三箇所モ切レタソレカラ水ガドン<sup>く</sup>行<sup>シ</sup>テ居ル、必ズ千葉縣ノ堤防カラ行<sup>シ</sup>タノミ<sup>ゲ</sup>ハナイノデ、併ナガラ或ル部分ニ據ルト千葉縣ノ堤防ガ切レント害ヲスル所ガアル、アルケレドモ即チ千葉縣ノ縣内デアル所モ害ヲ被ムルヨリシテ此堤防ハ隨分固クスルノデ、ソレハ行<sup>シ</sup>テ御覽ニナレバ分ル、茨城縣ノ堤防モ這入<sup>シ</sup>テ居ルガド<sup>ク</sup>チガ固イカ、ソレハ行<sup>シ</sup>テ見レバ分ル〕

〔旅費ガナイ「ト述フル者アリ〕

其證據ハ昨年ノ水ニモ茨城ノ方ガ二箇所モ三箇所モ切レテ居ル、シテ見ルト必ズモ之ヲ茨城ヘ割カラト言<sup>シ</sup>テ堤防ヲ薄弱ニシテ置クコトハ實際ナイノデ、且ツ斯ノ此度其境域ヲマルデ茨城ニ遣ラウト云フ所ガ先刻モ小澤君ガ述ベラレタガ此横利根川カラ先キト云フモハソレハ茨城縣ノ水害ニ關係ハナイ、是ハマルデ一區域ヲナシテ三方ズ<sup>シ</sup>ト川デアル、前ノ利根川ノ方ガ切

レテモ後ロガ切レテアツチニ害ヲスルト云フコトハ曾テナイノデ未來モアリヤアシナイ、ソレマデモ取ラウト云フハサ<sup>シ</sup>パリ分ラナイ、然ラバ川ヲ以テ境トセシカ、全體川ヲ以テ境トスルノハ所ニ據ツチヤア誠ニ好マヌ、川ガ變ハル……水ガ變ハル、川ヲ以テ境トスルノハ横利根ノ先キノ川デ一區域ヲ爲シテ居ル、ソレデモ取ラウト云フノハ理由ガサ<sup>シ</sup>パリ立タナイ、全體先刻谷

切デアル、ト見レバスノ如キコトハ内務省ニ於テ篤クト取調べテ其上ニ案ヲ出サルレバ大キニ其當ヲ得ルカト思フ、然ルニ内務省ハ他ニマダ取調べガ附カヌ、故ニ出スコトモ出來ヌ、ソコデ今日出テ之ガ兩院ヲ通過スレバ同意ハスルト云フコトデアル實ニ私ノ考デハ冷淡ト思フ、此度茨城ヘ行ク方ノ人民ハ若シ行ケバ誠ニ困窮スル、父母ニ離レル如クデアル、先刻モ板倉サンノ御尋ニ二百人モ哀訴シテ出テ居ルカドウカト云フト其通デアル、其父母ニ離レル如キモノヲ益セナイ<sup>シ</sup>割イテ遣シテ何ニスル、餘リ私ハ内務省ハ此事ニ就イテハドウモ御冷淡ノヤウニ私ハ考ヘル、サウ云フ譯ノモノデハナイ、人民アツテヨツ政治ヲスルノデ其人民ハ斯クマデ困苦ヲ告ゲルノニ調ベニモ行カナイ、アナタガ臺灣ヘ行カヌト一つコトデアルト云フ、コトデアル、實ニ便リ少イト私ハ思フ、併ナガラ又大小輕重ヲ考ヘナクチヤアナラヌ、此横利根川ヨリ上ハ隨分切レルト茨城縣ヲ害スルコトモアル、又其タメニ頻年地方カラ行クノ行カヌノ割クノ割カヌノト誠ニ人民ガ安ンゼヌ双方ノ人民が安ンゼヌト見レバ已ムナクンバ上ミ程ヲ茨城ヘ遣シテ而シテ前ニ云フ此横利根ヨリキハ一區域ヲ三方ニ堤防ガアツテ何處カラ切レテモ茨城ノ方ニ行クコトハナイ、ソレデ茨城ハ何トモ云フコトハナイト思フ、ソレデ其儘置ケバ或ハ雙方宜シキヲ得ヌカトスウ云フ考ヘデ遂ニ委員會デハ御話ヲシタヤウナコトデ略、ソコラモ宜カラウト云フコトデアツタ、所ガ豈計ランヤ矢張本案ノ通デナケリヤアナラヌト云フ唯一ノ不當條理ヲ以テ本案ニ贊成ナサルノハ誠ニ遺憾デゴザリマス、ドウゾ是ハ已ムコトナクンバ横利根川ヨリ下ハ此儘置イテ上ミヲ茨城ヘ割ク、是ガ先<sup>シ</sup>雙方ノ宜シキヲ得ルコトカト私ハ考ヘマスルノデ、ドウゾ諸君モ御贊成ヲ願ヒマス、又はガ果シテ然ラザラン以上ハ是ハ内務省デ能ク取調べテ明年デモ相當ノ案ヲ出スノガ内務省ノ職掌ニ於テモ適當デアラウト思フ、人民ガ斯クマデ困苦ヲ云フ以上ハヨシ極メテ行<sup>シ</sup>テモ願ミナケレバナラヌ、ドウゾ之ガ民ラ治メルノ宣シキト思ヒマス、ドウゾ諸君此意ヲ御了承アツテ御同贊アルヤウ希望致シマス

○子爵谷千城君 討論終結ノ動議ヲ提出致シマス  
○議長(公爵近衛篤齊君) 討論終結ノ動議ガ出マシタガ御異議ハゴザイマヌカ  
○議長(公爵近衛篤齊君) 「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤齊君) 私ハ異議ガアリマス、私ハマダ贊成ノ意見ヲ述ベタウゴ

○議長(公爵近衛篤齊君) 然ラバ決ヲ採リマス討論終結ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵近衛篤齊君) 過半數ト認メマス、此採決ニハ無記名投票ノ要求ガアリマスルカラ之ヲ行ヒマス

○子爵谷千城君 マダ後ニ大事ナ議案モゴザイマスカラ起立ニ願ヒマス

○議長(公爵近衛篤齊君) 無記名投票ノ要求ガアリマス、定規ノ贊成ガアヌテ要求シテ居ルノデアリマスカラ規則ニ依<sup>シ</sup>テ之ヲ行ハナケレバナリマセシテ居ル、ソレデモ取ラウト云フノハ理由ガサ<sup>シ</sup>パリ立タナイ、全體先刻谷

○男爵伊達宗敦君 チヨウト伺ヒマスガ無記名投票ハ誰カ請求シタノデアリマス

○議長(公爵近衛篤齊君) 五十嵐敬止君外二十名ニアリマス  
トヲ……

○三浦安君 異議ガアリマスニ依クテ無記名投票ニスルヤ否ヤノ決ヲ採ルコ

ヲ開クベシトスル諸君ハ白イ玉ヲ御入レ下サイ、ソレカラ反対ノ方ハ黒イ玉ヲ御入レ下サイ、サウシテ名刺ヲ別ニ御差入レニナルヤウニ……

○男爵伊達宗敦君 無記名投票ヲ行フニ附イテハ名刺ヲ入レルコト、存ジマスガ然ル所私ハ唯今名刺ヲ忘レテ持ツテ居リマセヌカラ名刺ノ紙ヲ……

○議長(公爵近衛篤齊君) 是ヨリ開函致シマス  
(書記官氏名點呼ヲ行フ)

○議長(公爵近衛篤齊君) 投票ノ結果ヲ御報道致シマス投票總數百二十七、

白珠即チ白イ球ノ方ガ五十七、黒イ球ガ七十即チ本案ハ否決ニナリマシタ

○子爵谷千城君 チヨウト申上ゲテ置キタイ豫算ノ大變緊急ナル面白イ案ガ出マスカラ諸君ドウカ暫ク御歸リナサラズニ御待チ下サルコトヲ願ヒマス

○議長(公爵近衛篤齊君) チヨウト御報告致シマス、政府ヨリ通牒ノコトガアリスルカラシテソレヲ朗讀致サセマス

(有賀書記官朗讀)

煙草製造營業者煙草稅現金收納ニ關スル法律案  
右法律案ハ議院法第二十七條但書及第二十八條但書ニ依リ議定相成度此段及要求候也

明治三十年三月二十四日

内閣總理大臣伯爵松方正義

○議長(公爵近衛篤齊君) 唯今御聽キニナシタ通緊急議決ノ要求ニアリマス

ガ即チ二十七條但書及二十八條但書ニ依クテ議決シテ吳レト云フコトデゴザイマスカラ是ハ讀會省略デ委員ニ付セズシテ議スルト云フコトニナリマス御異議ガナクバサウ致シマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

煙草製造營業者煙草稅現金收納ニ關スル法律案  
(阪本書記官朗讀)

然ラバ直ニ本案第一讀會ヲ開キマス本案モ通牒文ノミヲ朗讀致サセマス

右政府提出本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十年三月二十四日

衆議院議長鳩山和夫

貴族院議長公爵近衛篤齊殿

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス)

第一條

明治二十九年法律第三十五號葉煙草專賣法第二十一條但書ノ場合

## 第二條 此ノ法律ハ明治三十一年一月一日ヨリ施行ス

(政府委員目賀田種太郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(目賀田種太郎君) 來年ニナリマスト葉煙草專賣法ノ實施ニ依リマシテ舊法ニ依リマシテ煙草製造者ノ持越シタル分ハ矢張リ印紙ヲ貼用スルコトニナリマス、然ル以上ハ印紙ヲ貼用シタルモノトノ

區別ガ立チマスカラ大變營業者ニ對シテモ面倒アゴザイマスカラ此法ニ依リテ現金ヲ以テ印紙ノ代リニ納メルコトヲ爲サシメルト云フ便利ノコトデゴザイマス、最早來年ニ際シテ居ルコトデアリマスカラドウゾ此際御決議アランコトヲ希望致シマス

○男爵船越衛君 是ハ必要ナ案デアルト存ジマスガ此必要ナモノガドウシテ斯ウ遲クナリマシタカ衆議院ヘハ何時頃御出シニナリマシタ

○政府委員(目賀田種太郎君) 衆議院ヘハ最早五日間バカリ前ニ提出ニナツテ居リマシタ種々ノ議案が輻輳致シマシテ今日ノ次第ニ及ンダ譯デゴザイマス宜シク御推慮ヲ願ヒマス

○議長(公爵近衛篤齊君) 御異議ガナクバ可決ト認メマス

(「異議ナシ」ト呼フ者多シ)

然ラバ本案ハ可決ニナリマシタ次ハ明治二十七年度決算ニ關スル決議案決算委員長報告

○三浦安君 定足數ハ如何デゴザイマス

(箕作麟祥君演壇ニ登ル) 合フテ居リマス

○議長(公爵近衛篤齊君) 合フテ居リマス

○箕作麟祥君(演壇ニ登ル) 二十七年度ノ決算ノコトニ就キマシテ決算委員會ノ報告ヲ致

マス、是ハ諸君ノ御手許ニ上フテアリマス通一ノ報告案ガゴザイマシテ又決議案ト云フモノガ是ニ添フテ居リマス、就キマシテハ先づ第一ニ決議案ヲ委員ヨリ提出致シマシタル理由ヲ簡單ニ述ベマシテ、次ニ報告案ノ方ニ移ラウト云フコトデアリマス、此事ハ頗ル込入シタルコトデアリマスルガ詳シク述

べマシテハ中々長クナリマスルカラ簡單ニ陳述致シマスルガ熊本縣ニ於キマシテ此沿岸ノ地ニ堤防ヲ築キマシテサウシテ堤防内ニ新田ヲ作リマシタ即チ

海邊ノ新地ト申ス名ヲ以テ居ルモノガアリマス、是ハズクト以前舊細川藩ノ時分ヨリ成立テ居ルモノデアリマス、以前ハ此藩主カラ或ハ其一門若クハ家老ト云フヤウナ人ニ無稅地ト云フ所ヲ以テ唯今ノ新地ヲ作ルコトヲ許シマシテヤウナ次第アリマス、ソコデ其重モナル人ミガ堤防ヲ築キマシテ而シテ

其土地ヲ開墾シマスルノハ即チ地先キ人民ガ之ヲ開墾シマシテ丁度マア所有者ハドチラガ所有者ニナリマスカ、堤防ヲ造ッタ人トソレカラソレヲ開墾シタ人ト雙方ニ所有權が分レタヤウナ姿ニナツテ居ツタ、ソコデ明治十三年頃ニ孰レヲ以テ土地ノ所有者トスルカト云フ論ガ起リマシタ、遂ニ其甚ダ當時ノ當局者ニ於テモソレヲ極メルコトガ困難デアツタ、從シテドチラカラ税ヲ納メシメテ宣イカト云フコトガ甚ダ疑ハシクナツテ依シテ十七年以上ノ鉄下年期ト云フモノヲ此土地ニ與ヘルト云フコトニ政府ヨリ極メマシタ、然ルニ其鉄下年期ノ期限ガ去ル明治二十六年ガ年期ニナリマシタ、然ラバ其翌年即チ二十七年ヨリ此決算ニアリマス二十七年度ヨリ其土地ニハ租稅ヲ賦課シナケレバナラヌ皆デアリマス、其土地ト云フモノハ地價ガ殆ド二百万圓カラニ上ル地價デアリマシテ其廣キコト熊本縣ノ玉名郡外五郡ニ涉リマシテ實ニ段別ガ五千町歩カラニナツテ居ル地面デアリマス實ニ夥シイ地面デアル然ル所ガ二十六年度ニナリマシテモ何分ドウモ其始メ其土地ヲ……海岸ヘ堤ヲ築キマシタ所ノ家老トカ或ハ一門トカ云フ人トソレカラソレヲ開墾シマシタ人民トノ間ニ未ダ以テ所有權ノ紛糾ガ絶ヘマセヌヤウナ次第アリマス、所デハ當事者即チ一方ヨリドウカ鉄下年期ノ年限ハ切レタケレドモ納稅期ヲモソックト延シテ貨イタイスウ云フ請願ヲ致シタ、遂ニ大藏省ニ於テ已ムヲ得ヌ次第アルカラシテ免租年限ノ定數ト云フモノヲ處分スルト云フコトヲ許シマシタ、サウシテ以前ノ十七年カラ又更ニ三十ヶ年以上ノ免租ヲ許シタ譯ニナリマス、其免租ヲシタノハ何デアルカト申シマスルト現行法タル地租條例ノ十六條ノ第五項ノ精神ニ依シテ更ニ三十ヶ年以上ノ免租ヲ許シタ斯ウ云フコトニ政府ノ處分ハナツテ居ル、然ルニ此地租條例ノ十六條ト申スモノハ是ハノ規程デアル、ソレヲモウ此肥後國ノ唯今問題ニナツテ居ル土地ノ如キハズット以前ノモノハ百年以上新ラシイモノト雖モ維新前ニハ既ニ成熟シテ立派ナ地面ニナツテ居ル、其立派ナ地面ニナツテ居ルモノ、所有者ガ極ラストカ地租ガ取リ惡イトカ云フ所ノ行政上ノ處分ガ仕惡イタメニ唯今ノ地租條例十六條ノ第五項デ即チ官有ノ水面ヲ新規ニ埋立ツタ開墾ノ地所ト云フモノヲ保護スル規程ニ據ツタノハ甚ダ間違ツタ話デアリマス、ドウ致シマシテモ今日地租條例ト云フモノガ行ハレテ居ル以上ハ……

(簡單ニ願ヒマス「ト呼フ者アリ」)

即チ此地租條例ノ十五條十九條ニ依シテ免租年期が明クレバ直グ其時カラ法ノ通稅ヲ取ラナテレバナラヌモノデアル、ソレヲ行政上ノ都合トハ言ヘ又延バシテサウシテ無理ニ此法律ヲ適用シタト云フコトハ甚ダ違法ノ處分ト認メタ次第デアリマス、ソレ故ニ隨分是ハ事モ重大デアリマスルシ又違法ト云フコトガアリマスル以上ハ會計検査院モヤカマシク申シテ居ル、是ハ委員會ニ於キマシテモ當時行政ノ局ニ當ツタ者ハ困ツタニ達ヒアリマスマイ、色々困ル情實モアリマシタラウケレドモ法律ヲ以テ之ヲ論ズル以上ハドウシテモ此處分ハ違法デアルト言ハザルヲ得ナイト云フ論カラ即チ諸君ノ御賛成ヲ得ル

タメニ決議案ヲ提出シタル次第デアリマス、チヨシト申シテ置キマスガ此決議案ヲ決議ニナリマシタ所デ政府ハ一旦極メタコトデアリマスカラシテ其處分ヲ多分取消モ致シマスマイ、ソコハドウ云フコトヲスルカ知リマセヌケレドモ併ナガラ免ニ角違法ト見タ以上ハソレダケノ決議ハシナケレバナラヌ、斯ウ認メマシタ次第デアリマス、ソレカラ致シテ唯今ノ決議案デゴザイマスガ此外ハ精シク申上げマセヌデモ御分リデゴザイマセウガ此報告書ニアリマスル分ハ皆日本鐵道會社ノ利益ノ補助ノコト、ソレカラ新潟縣下道路修築費ヲ補助ノコト、是ハ前年ノ決算委員長ノ報告ニモ凡ツアツタ、ソレカラ北海道事業費或ハ營繕土木費等ノコトモ是モ大抵アツタコトデアリマス、故ニマシタ所ノ家老トカ或ハ一門トカ云フ人トソレカラソレヲ諸君ガ是認セラレマシタ同様トノ主意デアリマス、ソレ故ニ唯今ノ決議案ノ外ノ件ハ唯穩當デハナイガ強テ決議案ヲ提出スル程ノ必要ハ見出サナイ、斯ウ云フコトノ報告ヲ申シタ次第デアリマスカラ願ハクハ決算委員ノ報告ニ總テ御同意アラムコトヲ希望致シマス

○議長(公爵近衛篤曇君) 谷子爵ハ何デス

○子爵谷干城君 緊急動議ガアリマス

○議長(公爵近衛篤曇君) 今マダ議案ノ決ヲ採リマセヌ、是ガ濟シマスルガ是ハ極ク差迫ツテ居リマスルコトデゴザイマスカラ緊急ヲ以テ御討議ニナラムコトヲ希望致シマス

○起立者 多數

○議長(公爵近衛篤曇君) 過半數ト認メマス、即チ右ノ決議案ハ可決ニナリマシタ

○子爵谷干城君 緊急動議ヲ提出シタイ、一番後ニ今日豫算委員へ御委託ニナリマシタル臺灣鐵道ノ補助金ノコトデゴザイマスルガ唯今委員會ハ結了致シマシタガ是ハ極ク差迫ツテ居リマスルコトデゴザイマスカラ緊急ヲ以テ御討議ニナラムコトヲ希望致シマス

○侯爵黒田長成君 賛成

○三浦安君 賛成

○子爵谷干城君(演壇ニ登ル) 唯今ノ谷子爵ノ發議ハ御異議ガナクバ直ニ取掛リ

○議長(公爵近衛篤曇君) 唯今子爵ノ發議ハ御異議ガナクバ直ニ取掛リマス

○子爵谷干城君(上ボツテ居リマスル臺灣鐵道會社ヘ六朱ノ補助ヲ與ヘルト云フノ議案デゴザイマスルガ是ハ隨分ヤカマシイ問題デゴザイマスル情實モアリマシタラウケレドモ法律ヲ以テ之ヲ論ズル以上ハドウシテモ此餘程質問モ澤山ゴザイマシテ手間モ取リマシテゴザイマス、其理由ト申シ

マスモノハ色ニアリマスルガ重立ツ所ハドウモ其ハ朱マヂニ達スル補助ヲスルト云フナラバ宜イケレドモ全ク會社ニ利益ガ十分アツテモソリニモ拘ハラズ六朱ノ補助ヲスルト云フハドウモ過ギル、斯ウ云フ論ハ又到底是ハア、云フ内地トハ違フ新ニ得タル所ノ土地デアルカラシテ逆モソノ一ノ會社ニ任セタ所ガ十分ノ結果ハ見ナイ、又政府ニドウカシテ吳レイト云フ様ナ苦情ガ來ルカモ知レナイ、又警察上ノ……鐵道警察ノ上ニ於キマシテモ内地トハ違フ有様、此匪徒掠ノ屢起ル所テハ取締ト云フモノモ、單ニ人民ノ會社ニ任カシテハ逆モ居クマイ、斯ウ云フマア論、ソレカラシテ次ニ一日元ト差掛ッテ居リマスルモノデアリマスルカラシテ主查會ニ掛ケズシテ總會デ決スルト云フコトト云フコトニスルガ宜カウト云フコトニナシテ再ビ又分科會ニ回シテ協議ヲ付シテカラニ一旦主查デ調べテサウシテ政府ト協議シタ上デ之ヲ組變ヘテ仕舞フテ、矢張り此六朱ヲ全クヤルデハナク、足ラヌ所ノモノヲ補給シテヤルト云フコトニスルガ宜カウト云フモ角モ是ハ主查會ニ致シマシタケレドモ到底是レ又爲シ得ベカラザルコトニ決シマシテ、終ニ本會ニ……又委員ノ總會ニ掛ケマシテコザンスル、ソレデ固ヨリ委員總體ニ於キマシテ臺灣ノ鐵道ヲ不必要トスル者ハ一人モナイ、皆最モ必要デアル、最モ必要デアルカラシテハ寧ロスウ云フ會社ニ任カスヨリハ政府ガ即チ國庫ガデス、國庫ガ即チヤルガ宜イ、國庫ガヤル以上ハ總テ鞏固ニモナリ又鐵道警察ノ上ニ於テモ憲兵ナリ巡查ナリト云フモノヲ利用シテヤルコトモ出來ル、サウスレバ十分鞏固ニ鐵道ヲ保護シテヤルコトモ出來ヤウ、斯ウ云フヤウナ論モ起リマシテ、終ニ決ヲ採リマシタ所ガ此政府案ハ否決スペキモノト云フコトニ極リマシテゴザイマス、ズ詰リ要スルニ次ノ議會マヂニ政府ガ十分吟味ヲシテ早ク造ルヤウニ國有論ヲ希望スル人ガ多數ト認マシタノデアリマス、是ダケノコトヲ御報道致シマス

○子爵岡部長職君　此案ニ就キマシテ國務大臣或ハ政府委員カラ委シイ説明ヲ承リタイト存ジマス、ドウカ速ニ願ヒタイモノデス

(政府委員男爵北垣國道君演壇ニ登ル)

○政府委員(男爵北垣國道君)　此臺灣鐵道會社補助ノ案ニ就キマシテハ唯今委員長ヨリ報告ガアリマシタ、實ニ委員長ノ報告ノ如ク委員會デハ否決サレマシタカラサウ云フ結果ニナリマシタ、此臺灣鐵道ニ於キマシテハ臺灣經營ノ最モ困難ナルモノハ交通運輸ノ不便デアリマス、此交通運輸ノ不便ノタメニ第一行政機關ノ相互氣脈ヲ通ズルコトガ出來マセヌ、又軍隊ノ運用ニ於キマシテモ非常ナ困難ヲ見マス、其他臺灣ノ整理ノ上ニ就キマシテ百般ノ事此交通不便ノタメニ困難ヲ見マス様ナ次第アリマス、デ交通運輸ノ便ヲ啓キマスニハ其大骨ト爲ル所ノ南北縱貫ノ此鐵道ヲ開カナレバナラヌ、此鐵道ヲ開キマスレバ從フテ水陸ノ運便ハ之ニ向テ縱横自在ニ便利ヲ得マス、此便利ヲ得マシタ曉ニハ臺灣ノ整理ト云フモノハ必ず其目的ヲ達スルニ相違アリマセヌ、此目的ヲ達シマシタナラバ、今日苦ミマス所ノ行政機關ノ氣脈ヲ相通ズルコトノ難イノモ亦軍隊ノ運用上ニ於キマシテモ敏捷活潑ノ動作ヲ得ルコトハ疑アリマセヌ、然ル上ニ就キマシテ此臺灣整理ノ上ニ就キマシテ當年……本年ノ此豫算ハ一千四百万圓餘ノ豫算デアリマス、是ナドニ於キマ

シテモ隨分省略ヲスルコトガ出來マス、現ニ今日行政費ノ多過ナルノモ又軍事備ノ多過ナルノモ多クハ交通運輸ノ便ヲ得マセヌカラシイ費用ヲ増スヤウナ有様ニナラテ居マス、又其縱貫線ヲ落成シマシタ上ニハ行政ノ便利軍事ノ自由ノミナラズ、此社會一般ノ上ニ就キマシテモ發達進歩ヲ見ルコトハ疑アリマセヌ、且ツ又此私設會社ノ今日成立チマスル上ハ此私設會社ノ株主ト云フモノハ内地ノ有力者ト臺地ノ財產家ト相結ンデ此事業ヲナスコトニナリマス、又サウ是非ナサシムル考テアリマス、是ナゾガ非常ノ臺灣整理ノ效力ヲ持タウト思ヒマス、臺灣ノ財產家我カ内地ノ有力者は是ガ共ニ手ヲ引イテ親睦ヲイタシマシテ、此事業ヲナス以上ハ何事モ是ニ沿フテ臺灣ノ新領民ガ安堵スル緒ニ著クダラウト思ヒマス、其他此内地ノ有力者ガ臺地ニ臨ミマシテ此鐵道ノ力ヲ增進セシムルタメニ種々ノ事業ヲ起サウト思ヒマス、是ハ此私設會社ヲ許シマス所ノ大ナル理由ダラウト思ヒマス、大略ヲ申シマスレバスノ如キ理由、斯ノ如キ利益ノアルモノデアリマスカラ何卒諸君ニモ今日此鐵道敷設ノ一日モ忽緒ニ付スベカラザル所ヲ宜シク御洞察ヲ願ヒマシテ御審議ノ上御協賛アランコトヲ希望シマス

○男爵尾崎三良君　質問致シタウゴザイマス、此案デ見マスルト資本金額ヲ一千五百万トシ必要ニ應シ増減スルトゴザイマスガ、シテ見ルト必要ガアレバ二千万圓デモ三千万圓デモ六分ノ利子ヲヤルト云フコトニナラウト思ヒマガ、是ハ果シテ其通デアリマスカ、夫カラ一體國有鐵道ガ宜イト云フコトハ前松方内閣ノ時ニ極シタノデアル、我ミモ其節是ニハ贊成シテ居リマスノデ、民設ノ事業ヲシテ居ルモノモ段々買上ゲテ國有ニシヤウト云フコトデスニ依クテ手ノ回ラヌ處ハ人民ガ自分ガ資本ヲ出シテ國家ニ必要ナル事業ヲヤルト云フコトナラバ夫ラバ妨ゲルト云フ理由ハナイカラ許スガ宜シト云フコトデアッタ、然ルニ今度ハ六朱ノ補助ヲシテデモ是非人民ニヤラセナケレバナラヌ、政府デハ出來ヌト云フノハドウ云フ理由デアリマセウカ、且又利子ノ點ニ至シテモ現ニ今日政府ノ公債ハ五分ノ利子デアル、又既ニ昨日通過ニナリマシタル貨幣法案モ法律ト爲リマス以上ハ隨分外國ノ資本モ輸入スル見込モアルト云フ御話デアリマス、私共モサウ云フコトニナルダラウト思シテ居ル、然ラバ將來五分ドコロデハナイ、マダ四分位ノ政府ノ信用ト力ニ依テハ資本ヲ輸入スルコトガ出來ヤウト思フ、然ルニ十二ヶ年ノ間六分モ人民ニ補給スルト云フノハ甚ダ私共ハ合點ノ行カヌノデアリマスガ、其上ニ是ハ足ラヌ所ノ不足ヲ補フテヤルデナクシテ、假令此鐵道會社ガ三分ナリ五分ナリノ利益ガアツテモ其上ニマダ六分ノ利子ヲヤルコトニナリマスノデアリマスカ、何故斯ノ如ク裕カナ補給ヲヤランナラヌノデゴザイマスカ、ワレ程國家ニ有リ餘シテ仕方ノナイト云フ金ガアルノデゴザイマスカ、其邊ヲ一ツ承ハリタイ

○政府委員(松本莊一郎君)　尾崎君ニ御答シマスガ、唯今御尋ニナリマシタ事柄ハ先刻以來、豫算委員ノ總會ニ於テモ屢々御質問ノ出タコトデアリマスガ、第一ノ御尋ノ資本増減ノコトハ如何ニモ資本増減ト云フコトガ書イテゴザイマスケレドモ、抑々鐵道ノ豫算ハ餘程確實ナル調査測量イタシマシタ材料ニ依リマシテ取調べマシタモノデアリマシテ、マサカ尾崎君ノ御説ノ様ニ

二千万圓デモ二千万圓デモ増スト云フヤウナ虞ハナイト認メテ居リマス、或ハ不時ノ天災等ガアリマシタタメニ多少ノ増加ハ已ム得ヌコトハアルカモ知レマセヌガ、決シテサウ云フ巨額ノ相違ヲ生ズルト云フ虞ハナイト信ヅルノデアリマス、第一ノ六分ノ金利ハ高過ギルデハナイカト云フヤウナ御説、是レ亦衆議院ニ於テモ又先刻豫算委員會ニ於テモ屢々御論ガゴザイマシタガ、凡テ内地ノ各鐵道會社ノ今日成立ツテ居ル中デモ最モ確實ナルモノニ就テ之ヲ見マシテモ此株券ノ時價ト云フモノハ資本ノ中未ダ生産的デナイモノヲ含ンデ居ルニモ拘ラズ配當ノ割合ハ平均六分以上ニ當ル様ナ價格ニナクテ居ル、ソレ故ニ今尾崎君ノ御尋ノ如キ内地ノ人ノ其情況ヲ能ク知ラナイ所ニ向ツテ新ニ事業ヲ起シマスニハ無論是ヨリ低イ利益デ起サウト云フノハ甚だムヅカシイ、加之ナラズ、モウ一つ御尋ニナクテ居リマスル儲ガ有ツテモ無クタモ六分ヲヤルノカト云フ御話デアリマスガ、現ニ昨年以來臺灣デ鐵道ヲ實地ニ經營イタシテ居リマス電信鐵道隊ノ經驗ニ依ツテ取調べマシテモ臺灣ノ鐵道ハ營業上補足ヲシナケレバ營業ノ收入ヲ以テ其支出ヲ償フコトハムヅカシイ、故ニ六分ノ補助ヲ貰ヒマシテソレヲ以テ多少營業上ノ不足ヲ補フコトヲシナケレバナラヌ、ソレ故ニ此會社ノ取調ベタモノニ依ツテ見マシテモ初ノ中ハ僅ニ二朱カ三朱ト云フ様ナ誠ニ薄利ノモノデアリマシテ十數年ノ後ニ至リマスレバ六分若クハ六分以上ノ利益ガアリマセウガ、ドウシテモ最初カラ營業ノ不足ノナイヤウニヤラウト云フ見込ハ立チ兼ル、故ニ己ムコトヲ得ズスノ如キ補助ヲ致サウト云フノデアリマス、又本案ノ補給ニ至リマシテハ既ニ御論モ出マシタガ、今日ニナリマスト却テ補助金ヨリ餘分ノ支出ヲシナケレバナラヌコトニナリマス、却テ補助金ノ方ガ支出イタシマスル方カラ云ヒマスレバ高クハナラスト云フ見込デアリマス

○男爵尾崎三貞君 私ハ何ニモ其營利事業ノ利子ノ歩合ノ宜イノ惡イト云フコトヲ論ズルノデナ、何故政府デナサラヌカ、斯ウ云フ、政府ナラバ五分ノ公債ノ募レルニ何故六分ノ補給ヲヤッテモ人民ニサセニヤナラヌカ、今嘆々政府委員ノ述ベラレマシタ所ハ内地ノ既成鐵道ノ利潤ガ斯様々ニナクテ居ルカラト云フコトデアリマスガ、夫ハ今日内地ニ既成シテ居ルモノハ宜シイ所ヲ擇シテ最モ利益ノアル所ヲ擇シテ成立シテ居ルモノデアルカラソレハ皆利益ガ割合ニ多イ、其標準デ以テ偏鄙ノ所ニ設ケル人民ニ對シテ悉ク補給ヲシナケレバナラヌコトニナクタラ際限ガナイダラウト思フ、併ナガラ偏鄙ノ土地デモ隨分運輸ノタメニ必要ノ場合ガアル、夫ハ政府デ補給ヲヤル位ナラバ政府デ夫ダケノ公債ヲ募ツテデモ出來ルデハアリマセヌカ、又ナラヌト云フ理由ハドコニ在リマスカト云フコトヲ御尋シタノデゴザイマス

○政府委員(松本莊一郎君) 少シク先刻ノ説明ガ不十分デアリマシタラウガ此内地ノ會社ノ利益云々タノコトハ尾崎君ノ少々誤解ガアルヤウデゴザイマスカラチヨット先キニ一言致シマスガ是ハ其資本金ニ對スル事實デハナイ、今ス

ソレカラ第二ニ何故五分ノ公債ガ募レルニ云々タト云フ御話ガゴザイマシタガ是モ亦屢々是マデ委員會デ御論ガアリマシタコトデアリマスガ、是ハ公債募集ヲ今日致シマスル上ニハ甚ダ都合上宜シクナイト云フコトデアリマスガ、政府ハ成ルベク多額ノ公債ヲ募リタクナイト云フノガ一ツ、幸ニ私設デヤラウト云フモノガアレバ之ヲヤラセタイト云フノガ一ツ、且ツ之ヲ私設デヤラセマスレバ先キニ北境男爵カラ述ベラレマシタ通此鐵道ヲ内地ノ資本家ガ事ヲシテヤラセマスルト同時ニ各種ノ臺灣ニ起ルベキ事業ニ大イニ資本家ガ事業ヲ企テマスル利益モ併セテ出來ヤラウト云フスウ云フ考モアリマシテ寧ロ斯ノ如キ私設ノ望ミテガアル以上ハ之ヲ私設ニ任セタ方ガ宜カラウト云フノガ政府ノ意見デアリマス

○村田保君 木員ハ幸ニ總理大臣ガ御出席ニナリマシテゴザイマスカラ總理大臣ニ伺ヒタイ、此度此臺灣ニ鐵道ヲ敷カレマスルコトニ附キマシテハ是ハ滿場諸君ドナタモ是ハ極必要デ又此事ニ附イテハドナタモ反對ハナイダラウト思ヒマス、本員杯ハ最モ必要ト思ヒマスルシ最モ急ニ敷設ヲシタイト存ジマス、定メシ政府ニ於キマシテモ是ハ重要ノコトデアリマシテ最モ必要ナコト見ラレテ出サレタコト、思ヒマスガ併ナガラ臺灣ト申シマスル所ハ今度始テ政府デ鐵道ヲ敷カレマスルコトヲ許可サレルコトデゴザイマスガ始テ敷カレルコトデゴザイマスルナラバ成ルベク確實ナル鐵道ヲ敷カレテサウシテソレヲ模範トシテ其後ニナリマシタラ追々私設ニ出來ルモノモアリマセウガ先づ最初ニ敷カレマスル鐵道ハ官デ、即チ官設ニサレマシテ確實ナルモノヲ御設ケニナルト云フコトニナリマシタナラバ誠ニ宜カラウト思フ、ソレデ委員會ニ於キマシテハ何故政府ガ公債ヲ募ツテサウ云フコトガ出來ナイカト云フコトヲ承リマシタガ、何分ニモ今日臺灣ノ鐵道ニ向ツテ公債ヲ募ルコトガ出來ヌト云フコトデアリマス、併ナガラ如何デゴザイマセウ、國家經濟ト云フモノヲ考ヘナクチヤアナラヌ、ソレデ此補助法ト云フモノヲ見マスルト云フト是ハ其仕舞マデニナリマスルト云フ國庫カラ補助ヲ致シマスル金ト云フモノハ千三百萬圓程ニモナルヤウデアリマス、ソレデ之ヲ今敷キマスルノヲ承ツテ見マスレバ先程政府委員ノ所デゴザイマスガ是ハ千五百萬圓トアルケレドモ千四百万圓位ナラバ出來ル千四百万圓位デ出來マスルモノヲバ千二百萬圓ノ金ヲ出シテサウシテ補助シテ遣ルト云フコトハ如何デゴザイマセウ、政府ニ於キマシテ今日公債ヲ募リマシタ所ガソレダケナラバ自然ニ所謂收入モ這入ツテ來ルモノデ何モ其金ヲ全ク捨テタト云フコトデハナイ、即チ收入ト云フモノガアリマスレバ決シテ公債ヲ募ツテ所ガサウ得失償ハスト云フコトトハナカラウト思フ、ソレデ本員杯ノ豫、希望シテ居ル所ハドウゾ本邦ニ於キマシテモ將來ハ是非此鐵道ト云フモノハ今日ノ如ク狹軌鐵道ト云フコトデハ行ケマセヌ、是非廣軌鐵道ト云フコトヲ希望シテ居ルノデ、併ナガラ是モナカノ、今マデ敷イテ居リマシタ狹軌鐵道ヲバ皆廣軌ニスルト云フコトハ出來ヌ、幸ヒ此度臺灣杯デ新ニ鐵道ヲ設ケルト云フコトデゴザイマスナラバドウゾ此邊ヲ以テ第一著ニ廣軌鐵道ト云フモノヲ設ケラレマシテサウシテ其利害得失ヲ能ク御研究ニナルト云フコトハ大變ニ宜イダラウト思フ、旁々以チマシテ本員ハドウゾ官設ニナリマシタラ宜カラウト思ヒマス所ガ先程委員會ニ於キマシテ政府委員ガ反對セラレマシタガ、是ハ一日モ急ニ要スルコトデアルカラシテ委員會ニ於キマシテ之ヲ否決致シマシタ主意ハ此次ノ議會ニ

トウゾ此政府カラ官設ト云フコトデ政府カラ豫算ヲ出サレルコトヲ希望スルト云フコトデ委員會ハ先づ否決ヲスルト云フコトデゴザイマシタ、其否決ニ對シテ是ハ一日モ捨置クコトハ出來ナイ、次マデモ待タレヌト云フコトデアル、併ナガラ工事ノ設計ヲ見マスル所ガ決シテ其政府委員ノ言ハル、通デハナイ、之ヲ見マスルト云フト其起工ガ當年ノ十月ニ始メテ起工スルト云フコトデアリマス、サウスルト云フト何ヲ一ツヤクテモ起工デゴザイマス、ソレカラ又竣工ハ三十四年十一月ト云フコトデゴザイマスカラナカク、此間ガアル、マダナカク、此十月マデノ起工ト云フコトハ隨分株式モ募ラナケレバナリマセズ或ハ是マデ……最モ本員ナドハ急ニ設ケルト云フコトデアリマスレバ尙更官設ニシナケレバ急ニ設ケルコトハ出來ナイト存ジマス、ソレデゴザイマスカラ總理大臣ニ於カレマシテハ如何ニ御考デゴザイマセウカドウアッテモ是ハ官設ニシナケレバナラヌト云フコトデゴザイマセウカ、ソレヲムウカ總理大臣ニ伺ヒタ

(子爵内藤政共君「定足數ニ缺ケテハ居リマセヌカ」ト述フ)

○議長(公爵近衛篤齊君) 唯今調ベテ居リマス

(國務大臣伯爵松方正義君演壇ニ登ル)

○議長(公爵近衛篤齊君) ナンデスカ今總理大臣ガ……

○議長(公爵中島信行君) 定足數ガアリマスカ

(男爵中島信行君「調ベタ上デナケレバ行ケマスマイ」ト述フ)

○議長(公爵中島信行君) 唯今村田君ノ御質問ガゴザイマシタガ此鐵道

○國務大臣(伯爵松方正義君) 唯今村田君ノ御質問ガゴザイマシタガ此鐵道ノ補助ニ於キマシテハ大體此鐵道ハ是非私設ニセヌケレバナラヌト云フコト

ニ附イテハ何レモ論ガ定シテ居ルヤウデアリマス、然ルニ民設ニスルカ、官設ニスルカト云フ間ノ論端ニナシテ居リマス、民設ニスルニ附イテハドレ程

又利益トスル所ガアルカト言ヘバ最前政府委員ヨリ陳述致シマシタ通ニ先づ速ニ募集ヲ致シテ著手ニナルト云フコトガ一箇年早ク出來ルト云フノ利益ガ

一ツアリマス、マ一ツハ追々臺灣ノ住民等モ此株ヲ持ツヤウニナリ、又内地

ノ人モ其鐵道ノ關係ヨリ致シテ彼ノ地ニ始終往來スルノ馴染ガ附イテ來テ彼

ノ地ノ殖產ナリ商業上ニナリ互ニ經濟上ノ關係ヨリ致シテ早ク彼ノ地ノ隆盛

ニ向フコトニ大變ナ利益ガアルヂヤラウト云フ是ノ利益モ少カラヌコトデヤ

ラウト思フ、又之ヲ政府デスルカ、成ル程政府デスルノモ別段差障リハアリ

マスマイ、併ナガラ諸君モ御承知ノ通ニ今財政上ノ都合ニ於キマシテモ公債

ヲ募集スルノハ隨分多額ニ上ボリマシテ此多額ナ公債ヲ募集スルノモ隨分

ハ手輕ク參ラヌ有様デアツテソレ故ニ昨年決定ニナシテ居ル鐵道ノ入費ノ公債

ノ額モ最初豫算ヲ提出シマストキハ減額スルヤウナコトモアリ又ハ電話機ノ

経費モ減シ凡ソ二百万圓ト云フヤウナ公債ノ募集ヲ減額シテ政府ハ提出致シ

マレタル位デアリマシタガ是ハ衆議院デ是非昨年最初決定致シタ通ニ變ラヌ

ヤウニ仕事ヲ進メルコトヲ請求ニナリマシテ成ル程昨年決定致シテ居ルコト

デモアリマスカラ政府モソレニ同意ヲ致シタヤウナ次第デアル、ト云フヤウ

ナ譯デ今日隨分此公債ヲ募集シマスルニモ少カラヌ額ニ及シテ居ルコトデア

リマスカラ政府デ致シテ公債ヲ募テ致シタナラバ出來サウナモノデヤラウ

ト言フテ口ニ申シマスレバ易イヤウデゴザイマスケレドモ中ミ六千萬トカ又

ハ來年ハ幾千萬トカ當年ヨリ増シマスルコトハアリマスマイガ兔角來年モ幾分カ公債モ募ラヌケレバナラヌ財政ノコトデアリマスカラ隨分財政モヅカ

シイ故ニ民設ニ致シタ方ガ今邊ノ事モ便利ガ宜シト、又最前申シマシタ通

ニ土地住民ト内地ノ人民ノ此鐵道ナドニ關係が多クナツテ彼ノ地ノ商業ナリ

殖產ナリ進歩スルヤウニゴザイマシタナラバ是モ少カラヌ利益ノ事デアリマ

セウカラ民設ニ致シタ方ガ宜シイデアラウ、又民事上ニ附キマシテモ何ゾ

此會社ト夫ミノ規約ガアツテ命令ガゴザイマシタナラバ決シテ差支ヘルコト

デモアルマイ、又此鐵道ハ早クスルガ宜イカ、遲クスルガ宜イカト早

クスル方ガ宜シイ、如何トナレバ諸君モ略々御承知ゴザイマセウガ夏分ニ

ナルト基隆ノ方ノ港デナケレバ外ニ良イ港ガナイ、又冬分ニナルト南ノ方ノ

打狗デナイト外ノ港デハ仕方ガナイト云フヤウニ港モ甚ダ夏ト冬トハ大キナ

便不便ノ異リモゴザイマシテ實ニ其距離ヲ隔ツルコトモ少カラヌ間モアルコトデゴザイマスカラ……

○男爵中島信行君 定足數ガ足ラヌヤウデアリマスガマダ分リマセヌカ

○議長(公爵近衛篤齊君) 今部室ニ居リマス

○國務大臣(伯爵松方正義君) 此鐵道ハ成ルタケ速ニ出來ル方ガ第一軍隊ノ

經費モ減シ又ハ行政上ノ便利モ宜イ、又ハ人民ノ交通ニモ申スマデモナク便

利ヲ得テ彼は大變ニ交通ノ便ガ宜シト、其上早クセヌケレバナラヌト云フハ此地ハ日本始テ得マシタ所ノ土地デアリマスカラ段々呼シテ居リマス

レヌヤウニ速ニ是ダケノ事ハ早ク著手ニモナシテサウシテ諸般ノ事が運ビノ

宣イヤウニ致ス所ノ一番是ハ臺灣ニ取シテハ大事ナ事業デアラウ、先ヅ外ノ

事ヨリモ此鐵道ノ事ハ一番早ク進メヌケレバナラヌコトデアルト云フコトヲ

政府モ認メマシテソレニ附イテハ政府デスルレバ遲レル、即チ一年モ遲レル、

民設ニスルト直グニ夫ミノ運ビガ著クデアラウト云フコトモアリ旁々以テ民

設ノ方ガ宜シト云フコトヲ認メマシテ此議案ヲ提出シタ次第デアリマス

○男爵尾崎三良君 先刻質問ヲ致シマシタガソレニ附イテ御答辯ガアリマシ

タケレドモ一向其要領ヲ得ナイ、併ナガラモウ強テ此御答ヲ聞カウト思ヒ

マセヌガ詰リ先年ハ國有ガ必要デアルト云フ今ノ總理大臣即チ先年ノ總理

大臣デアツタノガ其說ハ御變リニナシト我ミハ考ヘル、尤モ今ノ御說ニ據

リマスレバ成ルベク早クセニヤナラヌ、就イテハ政府デヤレバ遲レル人民デ

ヤレバ早ク出來ル、是モ一向分ラヌ論ト考ヘル、我ミハマダ日本ノ政府ヲ信

ズルコトガ厚イ故ニ人民ヨリモ却シテ政府ノ方ガ拂リガ早イト思フ成ル程今

年ノ議會ハ後レタニ依シテ此議案ニ提出スルガタメニ一年位ハ後レマセウガ

其レヨリノ拂リハ人民ニ任セルヨリモ政府ニ任セタ方ガ拂リガ早イト我ミハ

シヤウト云フ場合ニ至シテ之ヲ五箇年ニ割レバ三百萬圓、アレバ宣シイノ

デアルガソレガムヅカシイト云フコトハ私共ニハ合點ガ行カヌノデアルガ併

ナガラソレガムヅカシイト仰セラルレバ其議案ヲ主張ナサル譯ニハ行キマス

マイガ、ソレハ意見ノ達フモノト見テ私ハ此案ニハ徹頭徹尾不同意デアリマ

○三浦安君 議長定足數ハ何アリマスカ

○議長(公爵近衛篤脣君) 唯今調べテ居リマス

○三浦安君 隆ニ御調べテ願ヒマス不規則ナ議決ニナツテハ相濟ミマセヌ

○議長(公爵近衛篤脣君) 不論デゴザイマス

○前田正名君 今日支那ニ向シテノ方針ハ國民ハ國民ノ營利的ノモノト共コ

スルノガ日本ノ方針トシテ宜シサゴザイマス、アノ近所ノ國ノ人達ハ國家

ト云フコトヲ知ラズ彼等ノ國家ハ即チ此金袋アルノデゴザイマス、マ少シ

眼ヲ遠方ニ照シテ御覽ニナツタナレバ共ニ營利ト云フコトヲ今計ラレテ居ル

所デアリマス、銀行ト云ロ鐵道ト云ヒ紡績ト云ヒ其他常ニ日本國ニ在シテハ

國家ノ鐵道ハ必要デゴザイマセウケレドモ臺灣ニ向ヒマシテハ利子ガ高イ公

債ノ募リ方が面倒ダトカ云フコトデナク日本ノ方針トシテアノ土地ノ人ト日本ノ人民ト此營業ヲ共ニスルト云フヨリ今日ノ日本トシテ大切ナコトハナイト信シテ居リマス故ニ、無論是ハ日本ノ國民ガアノ土地ノ新日本人ト共ニ共ニ懷ヲ暖メル計畫ヲ執ルガ今日ノ日本ノ方針トシテ(聽取シ難シ)

(國務大臣伯爵松方正義君演壇ニ登ル)

○國務大臣(伯爵松方正義君) 尾崎君ノ御質問ニ御答シマス松方ハ鐵道ハ國

有ヲ先年論ジタヤナイカ、今日私設ヲ論ズルノハ何故カ……臺灣ハ其節ゴ

ザイマシタカ、臺灣ハ私ハ日清事件以來日本ノ領土ニナツタ考ヘマスガド

ウデス、臺灣ノ處分ハ其後生ジタノデハアリマセヌカ

○男爵尾崎三良君 今松方總理大臣ハ其節ハ臺灣ハナカツタニ依シテト云フ

御說デアリマシタガ臺灣トテモ日本國內ニ違ヒナイカラ國有民有ニ變リハナ

イト存ジマスガ

○議長(公爵近衛篤脣君) 意見デスカ

○男爵尾崎三良君 ソレカラ國家の營業……

○議長(公爵近衛篤脣君) 質問デスカ、意見デハゴザイマセヌカ

○男爵尾崎三良君 今質問ノ御答ガアリマシタニ附イテ……ソレハ各々御意

見デアリマスケレドモ私ハサウ云フヤウナ國家的精神ヲ國家的精神ノナイ國

ヘ持シテ行シテ政府カラ事業ヲ補給シテヤルナレバ國家的精神ガ附クデアラ

ウト……私共サウ云フコトハ決シテ考ヘナイソシナコトハ何モナラナイ

○男爵西五辻文伸君 定足數ハゴザイマスカ

○議長(公爵近衛篤脣君) 丁度ゴザイマス、明治二十年度各特別會計歲入歲出追加豫算案特追第五號全部ヲ問題ニ供シマス

○男爵西五辻文伸君 定足數ハゴザイマスカ

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス以下之ニ倣フ)

各特別會計豫算

明治三十年度大藏省所管特別資金歲出豫算追加額拓殖務省所管臺灣總督府

歲出

大藏省所管

特別資金

第一款 特別資金支出 金拾七萬六千貳百五拾圓  
第一項 歲入臨時部 総額 八千貳百五拾圓

第一款 特別資金支出 金拾七萬六千貳百五拾圓  
第一項 歲入臨時部 総額 八千貳百五拾圓

拓殖務省所管

臺灣總督府

第一項

補充金 金拾七萬六千貳百五拾圓

第一項

補充金 金拾七萬六千貳百五拾圓

歲入

臨時部

第六款 鐵道補助費 金拾七萬六千貳百五拾圓

第一項 臺灣鐵道會社補助 金拾七萬六千貳百五拾圓

○議長(公爵近衛篤脣君) 御發議ガナケレバ採決致シマス

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤脣君) 本案全部ヲ採決致シマス、本案全部ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵近衛篤脣君) 過半數ト認メマス次ハ豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件特追第五號所屬、是モ全部ヲ問題ニ供シマス朝讀ハ省略致シマス

臺灣鐵道會社ニ對シ左ノ方法ニ依リ補助金下付ノ契約ヲ結フコトヲ得

一全線ヲ基隆臺中間臺中嘉義間打狗間及安平支線ノ三工區ニ分ツ

一資本金額ヲ千五百萬圓トシ必要ニ應シ増減ス

一全線工事落成ハ契約締結ノ日ヨリ滿五箇年トス

一補助金ハ資本拂込額ニ對シ其拂込ノ翌月ヨリ年六分ノ割合ヲ以テ支給

一補助年限ハ每工區運輸營業開始後滿十二箇年間トス

一會社ニ於テ契約ニ違背スルトキハ既給ノ補助金ハ直チニ還付セシム

(異議ナシト呼フ者アリ)

明治三十年度歲入歲出追加額ヲ各拾七萬六千貳百五拾圓ト定ム其款項ノ金額ハ別冊歲入歲出豫算ニ據ルヘシ

第九款 債金繕入 金拾七萬六千貳百五拾圓

第一項 債金繕入 金拾七萬六千貳百五拾圓

歲出臨時部 拓殖務省所管

第十二款 臺灣經費補充金 金拾七萬六千貳百五拾圓

第一項 臺灣經費補充金 金拾七萬六千貳百五拾圓

○議長(公爵近衛篤脣君) 御異議ガナケレバ原案可決ト認メマス、次ハ第十  
八古墳墓保護ニ關スル建議案外山正一君發議會議特別委員長報告

凡ワ忠臣元勳及學術技藝ヲ以テ國ニ竭シ民ニ益シ其功業赫々タル者ハ其生前ニ於テ之ヲ厚遇スヘキハ勿論死後ニ於テモ亦厚ク之ヲ葬祭シ以テ永ク其功德ヲ彰表セサルヘカラス維新ノ功臣元勳及南朝勤王諸臣等ノ如キ朝廷其葬儀ヲ厚クシ其祭典ヲ壯ニスルハ能ク其道ヲ盡スモノト云フヘキナリ然ルニ其朝獎ノ及ハサル所ニシテ有德者有功者或ハ學術技藝等ノ世ニ卓絶スル者ノ墳墓物換リ星移ルニ隨ヒ或ハ荒廢シ或ハ埋滅シテ其所在ヲモ知ル能ハ

サルモノ少シトセス豈慨歎セサルヲ得シヤ今日子孫ノ現存スル者之ヲ保護スルハ固ヨリ當然ナリト雖其子孫ノ斷滅セルモノニアリテハ國家其保護ヲ與フルニ於テ客ナルヘカラス政府ハ宜シク適當ナル方法ヲ設ケ荒廢埋滅ノ恐ナカラシメ以テ其保護ノ道ヲ完クセラレントヲ希望ス仍テ茲ニ之ヲ建議ス

## 議ス

○外山正一君 委員長モ副委員長モ見エマセヌ安場君ガアスコニ御出デゴザイマスカラ安場君カラ御報告ガアルヤウニ御願ヒ申シタイ

○男爵安場保和君 建議者タル外山君カラナサルヤウニ致シタイ

○外山正一君 ソレデハ簡單ニ是ヨリ申上ゲマス原案デハ安場君方ノ御意見ガゴザイマシタガ此修正案ノ通ニナリマスレバ御異議ハナイト云フコトデ委員全會一致デ可決ニナリマシタ譯デゴザイマス

○議長(公爵近衛篤齊君) 格別御異議ガナケレバ此建議案可決ト認メテ宣シウゴザイマスカ

## 〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤齊君) 然ラバ可決ニ相成リマシタ、次ハ製鹽調查所設置ニ關スル建議案村田保君發議會議……

## 製鹽調查所設置ニ關スル建議

鹽ハ人生一日モ缺クヘカラサルノ食品ナルノミナラス百般ノ農工業亦必須ノ原料タルハ勿論本邦ハ四面環海ノ地ニシテ海鹽ノ產ニ富ミ其業ノ盛衰ハ國家經濟上ニ至大ノ關係ヲ有セリ然ルニ現在ノ製鹽法タル遠ク古來ノ習慣ニ依リ未タ甚々更改シタルノ迹アルヲ見ス隨テ其鹽質ハ外鹽ニ比シ甚タ粗惡ニシテ製產費却テ多シ顧フニ鹽質ノ粗惡ハ衛生上厭フヘク製產費ノ冗多ナルハ經濟上忽ニス可ラサル所ナリ特ニ外鹽ノ輸入ハ追年遞加シ昨年ノ如キニ至テハ頗ニ著大ノ增額ヲ現セリ是時ニ際シ我カ製鹽ノ改良ヲ圖リ且ツ製費ヲ減スルコトヲ務メ外鹽ノ輸入ヲ防クヘキ策ヲ講セサレハ我製鹽業ハ終ニ不測ノ大害ニ陥ルアラムコトヲ恐ル故ニ政府ハ斯業ニ就キ精細ノ調査ヲ遂ケ改良ノ模範ヲ示シテ國家ノ利益ヲ擁護スルコト最モ今日ノ急務ナラム因テ本院ハ政府ニ於テ速ニ適當ノ設計ニ從ヒ製鹽調查所ヲ新設シ内外國ニ於ケル鹽業ノ實況ヲ調査シ改良ノ方法ヲ試驗シ人民ノ模範ヲ示スノ舉ニ出テムコトヲ望ム茲ニ之ヲ建議ス

(此時退席スル者多シ)

○議長(公爵近衛篤齊君) 定足數カ缺ケマシテゴザイマスルカラ是テ散會ヲ致シマス、是テ本年ノ議會ハ終リマス

午後九時五十九分散會

